



ウッドマーク森林認証 公開レポート

森林管理者／所有者 山梨県
森林名 山梨県県有林
地域及び国 日本、本州
審査に用いられた規準: 日本適合ウッドマーク一般規準&チェックリスト V2.0(2010年10月改訂)

認証番号 SA-FM/COC-001842
認証発行日 2013/3/12
認証有効期限 2018/3/11

	審査日	レポート 完成日	ウッドマーク審査員	レポート確認	レポート承認
更新審査	2012年 10月15日-17日	2013年 2月13日	汐見崇史 岩岡正博 小嶋睦雄	ジョン・ロジャース	ハナ・ターナー
第1回年次監査					
第2回年次監査					
第3回年次監査					
第4回年次監査					

本レポートの主要部分は請求に応じて公開されます。

Woodmark • South Plaza • Malborough St • Bristol • BS1 3NX • United Kingdom
Telephone (+44) (0) 117 914 2435 • Fax (+44) (0) 117 314 5001
Email wm@soilassociation.org ● www/soilassociation.org/forestry

Soil Association Certification Ltd • Company Registration No. 726903
A wholly-owned subsidiary of the Soil Association Charity No. 20686

1 概要および基本情報

1.1 認証機関

ソイルアソシエーション ウッドマーク

1.1.1 認証登録番号

SA-FM/COC-001842

1.2 森林管理者／所有者の情報

1.2.1 会社名

山梨県

1.2.2 連絡担当者

山梨県森林環境部県有林課 吉原 穂裕美 氏

1.2.3 住所

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

1.2.4 国名

日本

1.2.5 電話

055-223-1654

1.2.6 ファックス

055-223-1679

1.2.7 電子メール

kenyurin@pref.yamanashi.lg.jp

1.2.8 ウェブページアドレス

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kenyuurin/index.html>

1.2.9 正式な代表者による申請情報

林務長 深沢侑企彦氏

1.3 認証の範囲

1.3.1 認証の種類

単独

1.3.2 認証範囲の森林名

山梨県県有林

1.3.3 森林管理体の数

1

1.3.4 国名

日本

1.3.5 地域

山梨県全域

1.3.6 緯度

北緯35度09分54秒～35度58分07秒

1.3.7 経度

東経138度11分00秒～139度08分16秒

1.3.8 半球

北半球

1.3.9 森林ゾーンまたは生物群系

暖温帯(200m)～寒帯(3,400m)

1.3.10

FSC認定管理区分	面積 (ha)	FSC認定管理料 (US\$/ha)
小規模および管理の軽度な森林		0.0001
自然林の保全	106,000	0.0001
コミュニティーフォレストリー(地域林業)		0.001
熱帯林		0.002
寒帯林		0.003
温帯林		0.004
植林地(上記以外、インフラ等含む)	37,000	0.01

1.3.11 FSC認定管理料 (US\$)

\$390.60

(1.3.10による計算額に10ドルを足した額)

1.4 森林管理

1.4.1 事業体の区分

県

借地管理

該当しない

所有権

県

1.4.2 全面積(ha)

143,000 ha

1.4.3 森林の種類

人工林、二次林混交

1.4.4 森林構成

高標高域: 針葉樹優占

低標高域: 広葉樹優占

1.4.5 植林樹種の区分

固有種

- 1.4.6 主な樹種 付属文書3参照
- 1.4.7 年間可能伐採量(m³/年) 371,236 m³
 実際の年間生産量(m³/年) 主伐41,563 m³
 利用間伐17,112 m³
- 1.4.8 製品区分 立木、丸太
- 1.4.9 販売場所 立木現場または原木市場
- 1.4.10 従業員数(男性/女性それぞれの人数) 男性47人、女性14人(常勤県有林課職員)
- 1.4.11 請負者/地域社会/他の労働者(男性/女性それぞれの人数) 59社 常勤523人
(登録:107社)
- 1.4.12 パイロットプロジェクト いいえ
- 1.4.13 SLIMF－小面積 いいえ
- 1.4.14 SLIMF－低頻度 いいえ

1.4.15 森林管理事業体の区分	事業体数	面積
100ha以下		
100 ha – 1000 ha		
1000 ha – 10,000 ha		
10,000ha以上	1	143,000 ha
合計	1	143,000 ha

1.4.16 所有または管理している森林のうち、認証の範囲に含まれていない森林の面積

森林名	面積	理由
山梨県県有林	15,246 ha	チェックリスト1.6.2参照

2.0 改善要求事項の一覧

番号	基準	不適合事項	等級	改善要求	期限	所見	状態	解除日
2009年第2回年次監査								
2009.1	4.2.4	<p>現地での請負業者に対するヒアリングでは、安全装備に関する県の指導はある程度行き渡ってきており、その重要性の周知は進んでいることが認められた。</p> <p>引き続き請負業者による使用状況を確認しながら、作業種、現場に応じた安全装備となるよう検討し、現場レベルでの安全装備装着率の向上を図ることが必要である。</p>	観察事項	<p>請負業者によるILOのガイドラインに従った安全装備の使用状況の確認を行い、作業種、現場に応じた安全装備の基準に沿った装備の推進を図ること。</p>		<p>2010年次監査：県森林総合研究所において、2009年10月28日に林務職員、2010年1月22日に林務職員及び林業事業者を対象とした安全装備に関する研修を行い普及啓発を図った。また2010年2月に林災防山梨県支部の協力を得ながら、作業種、環境に応じた「安全装備確認表」を作成した。また2010年5月18日に、各林務環境事務所長を通じ、全請負業者を対象に「安全装備確認表」を基とした安全装備の装着状況調査を実施した。その結果、特に脚、耳、目の安全装備の装着率が低かった。現地での請負業者へのインタビューでも、安全装備は全ての作業者が装着しているわけではない状況が観察された。引き続き安全装備装着率の向上を図ることが必要である。</p> <p>2011年次監査：県森林総合研究所において2010年11月5日に林務職員、林業事業者(請負業者)を対象とした労働災害防止に関する研修が行われた。また昨年に引き続き、請負業者の安全装備使用状況を調査した。その結果、安全ズボンの装着率は13%向上し44%となった。現場での安全作業の確認のために、年に2回林業・木材製造業労働災害防止協会により行われるパトロールに県職員が同行している。現在の県の調査票ではチェーンソー、下刈り機を使用する際の安全靴装着は謳われているが、現場でのインタビューでは、安全ズボンの装着が徹底できていない状況が観察された。</p> <p>2012更新審査：2012年1月24日に県森林総合研究所において林務職員と林業事業者を対象とした「労働災害の現状と対策」研修を実施した。2つの森林組合と10の林業事業者が参加した。昨年に引き続き、請負業者の安全装備使用状況を調査した。安全ズボンの装着率は昨年より11ポイント低下し、33%となった。イヤーマフについても昨年より8ポイント低下し、33%となった。国内法で既定されている安全装備は100%満たしているが、ILOに基づく安全装備の普及をさせるために、県として発注条件にどの程度ILOのガイドラインを入れ込めるのか現在検討している。ILOで求めている安全装備の普及が進まない原因のひとつは、急傾斜地や猛暑の中ではILOの求める装備が現実的に合わないという現状がある。そこで、まずはILOのガイドラインを参考にしながらも、林災防等や請負業者と協力しながら、山梨県としての最適な安全装備ガイドラインを制定するべきである。長期に渡り状況が改善されないため観察事項を解除し、軽微な不適合事項とする。(2012.2参照)</p>	解除 (2012.2参照)	2012年 10月17日
2010年第3回年次監査								
2010.2	6.5.2	<p>以前開設された林道・作業道において、側溝や横断溝が詰まるなどして降雨時の排水処理がうまくならず、縦侵食が起きている場所が観察された。林道整備の選択と集中の結果、特に使用頻度の低い林道で見られた。</p>	観察事項	<p>林道・作業道改修時に、簡易な横断溝を設けるなどして排水処理を適切に行い、降雨時の林道の浸食を防止すること。</p>		<p>2011年次監査：林道等の管理は各林務環境事務所所治山林道課の施設管理担当が所管している。補修、改修は維持修繕委託業務により実施している。</p> <p>2011年4月14日に実施した県有林課担当合同会議において、各林務環境事務所県有林課職員に対して、走行上危険な箇所を発見した場合、施設管理担当に対応依頼を行うように指示がされた。</p> <p>現場審査では最大勾配21度の最大傾斜方向に直線区間が長い作業路において縦の深い侵食(雨裂)が起こっていた。今後は森林作業道となり、このような作業道の開設はないが、この作業路についても新しい森林作業道規定に基づき、再点検及び改良することが推奨される。</p> <p>2012更新審査：簡易作業路についてはこれまで縦断勾配の規定がなかったが、平成23年度より運用を開始した新たな森林作業道作設指針では、縦断勾配を最大14度と定め、現在開設している路線は、この基準に従っている。なお、既設の作業道においても急勾配箇所は必要に応じ追加で排水処理の改修を行っている。今回の現場審査で確認をした限りでは搬出路に適切に排水処理を施していた。</p>	解除	2012年 10月17日

2011年第4回年次監査

観察事項 2011.1	6.6.1 8.2.3	2001年に富士山シラベ林にて大発生したトウヘツリハマギの発生予察調査を継続して行い、10年間の幼虫・成虫発生頭数の推移を把握し、今後の発生の可能性について研究が進められている。発生から10年目に当たり、周期的大発生の可能性等を観察・分析している。 また地域によりシカの密度は異なっているが、確実にシカの個体数が増加し、その食害が顕著となりつつある。シカの食害対策については現在有効な手立てがないことから、忌避剤・テープ巻き・柵などの対処療法が一般的である。これは、全国的な問題であるので、隣接県や国と協力・連動し、その解決に向けた取り組みを始めなければならない。	観察事項	県内市町村、森林総合研究所等と協力してシカの個体数推定と調整(捕獲)、食害防止について適切な対策が講じられるような仕組みの検討を開始すべきである。	2012更新審査:山梨県で2012年3月に第2期山梨県特定鳥獣(ニホンジカ)保護管理計画を策定し、その中で推定された生息数に対し、毎年度調整計画数を定め、捕獲等を実施している。昨年度は計画通り、1万4千頭程度捕獲した。県で調整計画を作成するにあたり、近隣都県との協議会での話し合い結果や、環境省主導の広域的管理計画を考慮している。 また森林総合研究所において、県有林内の生息密度調査を実施しており、2011年に密度分布図を作成した。推定頭数には1万3千頭程度から6万頭程度までと幅があるため、今年度からニホンジカ影響確認調査を実施し、推定数の精度を上げていくこととなった。 またシカの林業被害の増加を懸念し、県議会内に検討会が設けられ、独自の政策提案を行なうべく、現地調査が始まった。	解除	2012年 10月17日
観察事項 2011.2	8.2.8	請負業者により労働条件、所有林業機械、資格、スキル等が異なる。現場審査でも、労働条件の不一致、作業者の考えの違い、また非効率な作業等を観察した。全県での統一的な作業の実施には、請負事業者の労働条件や作業能力等のレベル向上と均等化を目指さなくてはならない。	観察事項	県全体の林業作業のスキルアップ、生産性向上、安全性向上のために、まずそれぞれの請負業者の労働条件や有資格者一覧、作業者の経験年数等を調査し、請負事業者の能力等を客観的に把握することが必要である。また、請負事業者を統合した現場研修や、他地域の優れた事例等効率的な作業システムに関する技術情報を収集し、現場での普及が推奨される。	2012更新審査:請負事業者の有資格者数、機械保有台数、従業員の経験年数、社会保険加入状況、給料体系等は雇用管理状況調査によって把握している。県事業の指名業者は、県出納局管理課に登録され、かつ雇用管理状況調査を提出した者の中から選定している。来年度からは電子入札システムに切り替わるので指名条件に研修会参加状況も加味できるようにすることも検討している。 林業技術の定着を図るため新たな技術情報の提供や必要な研修の開催と共に県発注の事業箇所において監督員による技術情報の提供や直接指導についても引き続き行っている。なお、認定林業事業主制度に基づき、自ら雇用管理の改善と事業の合理化に取り組む認定がされた事業者に対し、機械化の推進や生産性の向上について、山梨県林業労働センターが技術等、支援を行っている。各事業者においても県有林造林推進協議会や素材生産事業者協議会等の協議会の中でお互いに情報交換をしている。今年度は事業者主体で林業機械のメーカーによる新しい林業機械のデモンストラーションが行われ、県有林もフィールドを提供した。県としても各種研修については事業者に通知をしている。	解除	2012年 10月17日

2012年更新審査

2012.1	4.2.2		観察事項		林災防がリスクアセスメントをテーマにした研修を行っている。取り組みは定着してきており、事業者は作業前にリスクアセスメントを実施している。 一方、現地での事業者へのインタビューにより、刈払機の日あたり稼働時間や連続稼働時間が国の指針を超過している場合があることが伺われた。また前回審査以降に刈払機による労災適用事故が発生した。そこで刈払機による事故や振動障害の現状を調べ、請負業者へ注意喚起を促すことが推奨される。	新規	
2012.2	4.2	指標4.2.4:2012年1月24日に県森林総合研究所において林務職員と林業事業者を対象とした「労働災害の現状と対策」研修を実施した。2つの森林組合と10の林業事業者が参加した。昨年に引き続き、請負業者の安全装備使用状況を調査した。安全ズボンの装着率は昨年より11ポイント低下し、33%となった。イヤーマフについても昨年より8ポイント低下し、33%となった。国内法で既定されている安全装備は100%満たしているが、ILOに基づく安全装備の普及をさせるために、県として発注条件にどの程度ILOのガイドラインを入れ込めるのか現在検討している。ILOで求めている安全装備の普及が進まない原因のひとつは、急傾斜地や猛暑の中ではILOの求める装備が現実的に合わないという現状がある。そこで、まずはILOのガイドラインを参考にしながら、林災防等や請負業者と協力しながら、山梨県としての最適な安全装備を規定するべきである。	軽微	森林管理は、労働者やその家族の健康や安全に関する全ての関連法律や関連規則を満たさなければならない。	次回の年次監査まで。	新規	

2012.3	6.6b	指標6.6.7:マツ枯れの倒木をの処理のためFSCが使用を禁止しているフェニトロチオン(MEP)が含まれているヤシマパークサイドF油剤を緊急使用した。使用してから30日以内にFSCに使用の理由の報告はされなかった。しかし現在は使用していない。「県有林施業における農薬使用要領」の中で該当薬品は使用を禁止しているが、マツ枯れ木処理のために緊急的に使用された。今後、FSC禁止薬品の使用が行われないう、県職員および請負業者への教育訓練を行い、十分認識をしてもらう必要がある。	軽微	世界保健機構で規定されているタイプ1A、1B及び塩素系炭化水素農薬(chlorinated hydrocarbon pesticides)、残留性が高く有毒であるとともに、その誘導物質(derivatives)が生物的に活性化し続け使用目的をはるかに超えて食物連鎖の過程で蓄積する農薬、国際条約により禁止されている農薬は、使用が禁止されなければならない。	次回の年次監査まで。	2012更新審査:今回FSC禁止薬品を使用した林務環境事務所では「県有林施業における農薬使用要領」の認識が完全でなく、県有林課との協議をせずに緊急のためということでFSC禁止薬品が使用された。県有林課では再発防止のために各林務環境事務所に対して、県有林施業における農薬使用要領徹底の通知を発行するとともに、今回禁止薬品使用があった林業事務所には直接指導を行った。適切な対応がとられたため条件を解除する。	解除	2012年10月17日
2012.4	6.6.13		観察事項			水に流れ込むところでは化学薬品を使用しないことになっている。一般的に植物性のチェーンソーオイルの方が環境影響が小さいといわれている。そこで、特に沢沿いでは植物性チェーンソーオイルの使用を標準とすることの検討をすることが望ましい。	新規	
2012.5	7.3.2		観察事項			県森林総研で毎年研修事業を行っている。職員も参加できる研修もある。これら研修の開催、参加記録はまとめられており、2011年度にも複数回実施されていた。しかし、これらの研修に参加をしていない請負業者も見受けられた。現場審査では間伐後の立木間隔のバランスが悪い選木が見受けられた。請負業者が各々の必要に応じ、各種研修に確実に参加するような対策を施すことが望ましい。	新規	
2012.6	8.3	指標8.3.3:FSC認証材出荷証明を出している。2012年2月10日に発行された山梨県県有林認証材証明にはFSC100%と認証番号が含まれていなかった。FSC認証材出荷証明にはFSC100%と認証番号を記載しなければならない。	軽微	監査および認証を行なう機関が各々の林産物の原産地点からの追跡―“Chain-of-Custody”(COC)と言われる―を実施するための書類が森林管理者により提示されなければならない。	次回の年次監査まで。		新規	

3 認証審査の過程

3.1 審査日

更新審査日

2012年10月15日-17日

審査を実施するための人日数

6人日

3.2 審査チーム

審査チームは以下のとおり構成された。

1) 汐見崇史(主任審査員)

汐見崇史は、FSC森林認証審査の主任審査員として参加した。株式会社アミタ環境認証研究所に所属し、同社の森林認証事業の主任審査員兼コーディネーターである。東京大学で森林科学を専攻し農学修士号を取得している。

2) 岩岡 正博

岩岡正博博士は東京農工大学大学院農学研究院の准教授である。東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程を修了して農学修士を取得し、同研究科にて博士(農学)の学位を取得した。東京大学農学部助手、同大学院農学生命科学研究科助手、東京農工大学農学部助手を経て現職。森林利用学、森林利用システム学分野において、林業作業の機械化やエネルギー評価、木質バイオエネルギー生産、林業から見た森林認証制度に関する研究に携っている。

3) 小嶋睦雄 (オブザーバー)

小嶋睦雄は静岡大学農学部の教授である。1971年に九州大学大学院農学研究科修士課程を修了した。静岡大学農学部助手、助教授を経て、1992年に教授に昇任(当時、森林資源科学科)、同人間環境科学科を経て現在、共生バイオサイエンス学科人間環境科学講座、森林共生学研究室を主宰。また、岐阜大学教授大学院連合農学研究科併任し、浜松学院大学現代コミュニケーション学部の非常勤講師として科学と環境を講義。1983年農学博士(九州大学)。名古屋大学農学部、三重大学生物資源学部、九州大学大学院、高知大学、琉球大学の非常勤講師を歴任。経済と環境の共生の視点から政策論を研究し、森林認証制度論を研究テーマとして扱っており、FSC森林管理認証についても含蓄が深い。現在、静岡県環境審議会長、静岡県森林県民円卓会議運営委員、静岡及び天竜流域林業活性化協議会会長、静岡労働局林業雇用改善推進会議委員長などを務め、地域の環境、森林、林業施策の諮問案件の審議を主導している。

チームメンバーの履歴はウッドマークオフィスに保管されている。

3.2.1 報告書作成者

汐見崇史

3.3 レポートピアレビュー

該当しない。

3.4 認証の判断

英語レポートAnnex11参照

3.5 審査の進め方の根拠

現場審査では、地域、標高、樹種、管理方法などが異なる多様なサイトをこれまでの訪問現場と重ならないよう配慮して選択した。観察した場所には、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、収穫、搬出、獣害防除、防火線修理といった各管理段階にわたる管理現場と、林道状況、森林文化の森などが含まれている。また、実際に作業している請負者の安全装備・労働条件等に関するインタビューも行った。

3.6 審査した事項および場所の選択理由

2012/10/15

書類審査: 前回年次監査報告書の推奨事項の改善状況を確認

現地審査:

【117-I林班ろ4小班】作業道開設、利用間伐、獣害防除実施地。選木基準の確認。施業システムの確認。林況確認。管理者へのインタビュー。

【117-I林班ろ3小班】皆伐後の地拵え実施中の現場。県の発注仕様書確認。発注方法の確認。請負業者へのインタビュー。

2012/10/16

現地審査:

【84林班は2小班】保育間伐実施地。選木基準の確認。カツラ植林地の確認。

【85林班に1外小班】利用間伐(列状)実施中の現場。作業道の確認。間伐方法の選択基準確認。施業システムの確認。端材利用状況の確認。請負業者へのインタビュー。

【583林班い4外小班】皆伐後の地拵え、シカ柵設置中の現場。県の発注仕様書確認。発注方法の確認。請負業者へのインタビュー。

【山梨県森林組合連合会市場】FSC認証材の分別方法の確認。FSC材の委託販売方法確認。担当者へのインタビュー。

2012/10/17

書類審査: 一般規準及びチェックリストによる再確認

審査員の検証ミーティング、結果の発表、推奨事項等の議論、認証過程の次段階の説明

3.7 規準

当該森林はソイルアソシエーション・ウッドマークの一般規準およびチェックリスト(日本適合ウッドマーク一般規準&チェックリスト V2.0(2010年10月改訂))を用いて審査された。この規準およびチェックリストは日本語に訳され、利害関係者との協議を通して配布された。規準に対して重要な意見を受け取ることはなかった。修正された規準のコピーは要求すれば入手可能である。現在ワーキンググループが国内基準に対して取り組んでおり、将来はこの国内基準を用いてウッドマーク基準を改定する予定である。

基準のコピーはwww.soilassociation.org/forestryにて公開されている。

3.7.1 規準の適合/修正

修正はなかった。

3.8 利害関係者との協議

3.8.1 利害関係者との協議の過程の概要

51人の利害関係者と連絡を取った。

10人から返事を得られた。

アンケートは2012年8月28日に送付した。

3.8.2 審査中に協議を行った人々の氏名と所属

付属文書2を参照

3.8.3 利害関係者から聞かれた主要な森林管理の概要

肯定的な事項

市場に年間約1,000m³のFSC材が出荷されるため、市場では「FSC材入荷」とインターネットで外部へ情報発信をして、販売促進とイメージアップを図っている。
洪水や土砂災害の防止、良質な水の供給、木材生産などを通して地域社会に大いに貢献している。従業員の権利の尊重は当然されている。
従業員の安全衛生は十分留意されている。
県有林は森林環境教育の場として森林の利用を認めている。
管理計画を策定し持続可能な森林経営を行っている。
将来にわたり育てていく必要がある森林の経営・管理には山梨県が模範となり進めていくことが重要であり、その責務を果たしている。
森林土木事業を行う上で、県有林には大変な恩恵を受けている。
数年前から希少動物に関心を持ち、作業中もそれらの生息地は侵害しないように心がけている。
安全のための防護衣の着用、作業前の準備運動、朝礼時の綿密な打合せ、十分な休憩を意識している。

否定的な事項

行政は生態系をいつも問題にしなが、植林について過去の林相を問題にしない。今人里に何が起きているのか知るべきである。
現場の労働者は請負であるため、安全設備などに不十分な点がある。
苗木需要の低下から苗木生産組合の存続が危うくなってきている。伐期到来林分の伐採促進等、山作りを支える組織に考慮した指摘を望む。

その他の事項

急峻で標高差のある山梨県では古来より森林管理のあり方について「治山治水」を最重要視してきた。これは現在も、これからも普遍である。水源涵養、洪水防止、土砂災害防止を最重要視した森林管理であるべき。

「森林法」「森林林業基本法」に基づく森林計画制度等について遵守するのは当然である。
県の約3分の1を占める面積がFSC認証林であり、この中に各水系の元流域が全て含まれている。従って、この認証森林が健全に運営・経営がなされることは環境へも流域住民へも好影響を及ぼす。
公務員の労働権には制約がある。
県有林がグローバルスタンダードの視点からよりレベルの高い森林経営を行うようFSC認証の仕組みを活かしていくことを期待している。

3.9 所見

所見は、日本での使用に適合されたウッドマーク一般規準およびチェックリストを用いて、体系的に観察された記録である。チェックリストは付属書類1として添付されている。ソイルアソシエーション・ウッドマークの一般規準の履行は、FSCの原則と基準の全ての規準の評価に基づいている(1999年1月)。認証発行のためには、軽微な不適合のみが許容されると考えられる。重要な不適合には事前条件が発行される。軽微な不適合には条件が発行される。事前条件と条件は本レポートの2章に記載されている。長所はチェックリストの中で4点または5点がつけられた事項である。チェックリストで3点がつけられた規準は要求事項を満足しており、FSCの要求事項も満たしている。規準レベルでの弱点は、チェックリストで1点または2点がつけられたものであり、不適合事項と考えられる。これらの規準に対しては事前条件(得点1)または条件／観察事項(2点)が要求される。指標レベルで指摘された弱点は×がつけられている。

各不適合事項は、提示された改善要求事項(事前条件、条件、観察事項)の説明とともに、2章で詳しく述べられている。この章では条件を解除するために必要な行動についても詳細に述べられている。設定された条件については、設定された期限内に実行されなければならない、年次監査の際に評価され、報告される。年次監査の詳細については本レポートの6章を、また条件の解除については2章を参照。

3.10 課題

評価することが難しい事項、または矛盾する証拠が特定されたときには、この章で課題として議論され、以下のとおり結論を得る。

規準	課題
	なし

3.11 結果、結論および推奨事項

付属文書1規準及びチェックリストに記録された所見に基づき、また本レポート2章の改善要求事項を条件として、認証取得者の管理システムは、もし記述のとおり実施されれば、審査の範囲に含まれる全ての森林に対して、規準の全ての要求事項が満たされると判断される。そして、本レポート2章に詳細に記述されている改善要求事項を条件として、認証の範囲に含まれる全ての森林に対し、管理システムが継続的に実施されていることが、認証取得者によって示された。FSC認証は表紙に示された期間で発行される。また年次監査で満足のいく結果が出されることを条件に継続される。

4 管理の背景

4.1 背景—森林管理団体が行う法的、管理、および土地利用の背景の概要

管理の背景

日本の面積は約37.8百万haである。地質としては、太平洋側は地殻変動があり、火山活動が歴史的に続き、今日の土地利用を決定している。1億2千8百万の人口のほとんどは沿岸の都市部に居住し、その内陸の山間部を除いた面積は全体の約18%に該当する。森林が内陸の山間部を覆い、面積でいうと2,510万ha、国土面積の約66%に該当する。

日本国内の森林の構成は、約784万ha(31%)が国有林、約280万ha(11%)が公有林(都道府県、市町村財産区)、約1444万ha(58%)が私有林になっている。私有林家の平均保有山林面積は2.6haであり、これら山林の管理においては、自治体や森林組合が大きな役割を担っている。

自治体や森林組合は民有林管理の中心的な役割を担い、その業務内容は管理する地域の管理計画策定、森林管理に関する相談、市町村から森林所有者への補助金交付の窓口機能、管理業務の遂行及び木材の販売活動など多岐に亘る。

2001年に改正された森林・林業基本法は、森林の有する多面的機能の発揮、林業の持続的かつ健全な発展を基本理念として、環境機能と林業の進展を目指したものである。また、森林組合法(1960年制定、2001年改正)は、森林所有者の協同組織の発達を促進すること、森林所有者の経済的社会的地位の向上、森林の保続培養および森林生産力の増進を図ることを目的としている。

森林所有者は、以上のような法律に基づき、森林経営計画、つまり森林施業に関する5か年の計画(伐採・造林・保育等)作成することによって、市町村の長または知事の認定を得ることに優遇措置が講じられる。この制度は、計画的な施業を実施することで森林資源内容が改善されるとともに、林業経営基盤が確立され所得や資金計画も有利となる。森林経営計画が対象とする森林は林班面積の半分以上を集約して団地的なまとまりをもった森林、もしくは森林所有者が単独で100ha以上の森林を保有する場合に限られる。森林経営計画を立案することによって、間伐及び間伐木の搬出に対する直接支払補助、山林所得税の2割控除などの特例が得られ、また植栽、保育等の補助金がアップし、制度資金などの融資枠の拡大が受けられるなどの特典がある。

このほか、森林管理区域に適用される法律としては、自然公園法、自然環境保全法、林業種苗法、森林病虫等防除法、砂防法などがあり、森林施業時に順守すべき法律として機能している。

全国の森林のうち1,165万haが保安林として指定されている。(内訳としては水源かん養保安林が70%、土砂流出防備保安林20%、その他10%程度である。)これらの指定区域においても伐採は許可されているが、搬出の技術やその後の再造林の計画、また伐採可能量については制限がある。保安林として指定することによって、多様な保護活動が可能になり、実際にこれら指定域における育林は限られている。

環境省の自然公園制度では日本を代表するような、すぐれた自然の風景地を国立公園とし、またそれに準ずる地域については国定公園に指定し、都道府県を代表するすぐれた風景地については都道府県立自然公園として指定している。国立公園については環境省の指定で、現在28公園、207万ha(国土面積の5.5%)があり、国定公園については全国55公園、134万haになる。都道府県が条例によって指定し、自ら管理を行う都道府県立自然公園は、現在309公園、195万haが指定を受けている。3つの指定地域全体で国土の14%に相当する。

県有林の成り立ちは次章に記すとおり、明治40年及び43年の大水害が県下全域に大きな被害を及ぼしたことから、県議会では「御料地無償還付ニ関スル意見書」を国に提出し、入会御料地の無償下付を要望した。その結果、明治44年3月11日、見込面積16万4千ヘクタールに及ぶ入会御料地が御下賜された。県は直ちに恩賜県有財産模範林として、県土保全を旨とし、その管理経営にあたることとなった。このように、山梨県周辺部の山麓から山岳域にかけてが県有林となり、森林法をはじめとする各種法規定に基づき県当局が森林管理に当たっている。

5 森林

5.1 管理の一般的背景

5.1.1 管理の区分と設立年

現在の山梨県有林は、県議会の要望により、明治44年3月11日、見込面積16万4千ヘクタールにも及ぶ広大な入会御料地が御下賜されたことに始まる。

5.1.2 土地、森林の所有権および森林管理団体

土地の所有は山梨県であり、山梨県森林環境部県有林課が管理を行っている。

5.2 保有権

5.2.1 森林所有者／管理者の保有権

土地の所有は山梨県であり、恩賜県有財産模範林という登記が登記簿上でなされている。一部貸付地がある。

5.2.2 第3者の保有権及び使用权

従来からの入会慣行を各地域の保護団体に認めており、希望する限り、永世、毎年、草木の払い下げをしている。山梨県恩賜県有財産管理条例、山梨県恩賜県有財産土地利用条例などで定めている。保護団体は巡視等の義務を負っているが、その対価として毎年交付金が支払われている。

また、山梨県には、日本百名山のうち富士山をはじめとした10の山があるなど、登山利用が活発な地域であり、多くの登山客が訪れている。12箇所の森林文化の森や3箇所の森林公園など森林利用も活発である。

5.2.3 森林所有者／管理者の他の活動や管理地域

山梨県森林環境部には県有林課のほかにもどり自然課、森林整備課、林業振興課、治山林道課などの課があり、野生鳥獣の管理、森林ボランティアの支援、私有林の経営管理の支援、県産材の利用推進、保安林や林道の管理、治山事業などを行っている。

5.2.4 土地利用の歴史

山梨県の山林原野は、地域住民の生活・生業用資材として県民の暮らしに大きな役割を果たしてきたが、県有林の基となった山林については、1868年の明治維新の地租改正に伴う山林原野土地官民有区分をきっかけに、「官民有区分未定時代」「官有地時代」「官林時代」「御料林時代」と目まぐるしい所有形態の変化を経た。この間、国、県、地域住民間の意見の相違から、山梨県の山林は、無秩序な伐採、野火、水害等により極度に荒廃した。

特に、明治40年及び43年の大水害は、県下全域に大きな被害を及ぼし、県議会では「御料地無償還付ニ関スル意見書」を国に提出し、入会御料地の無償下付を要望した。

その結果、明治44年3月11日、見込面積16万4千ヘクタールに及ぶ入会御料地が御下賜された。県は直ちに恩賜県有財産模範林として、県土保全を旨とし、その管理経営にあたることとした。

そしてこれまで、時代の要請にこたえながら森林管理を行ってきた。当初は天然更新を基調とする択伐施業が主体だったが、昭和30年代に拡大造林を積極的に推進し、現在の広大な人工林を形成した。昭和50年代から、社会的要請を受け、木材の安定供給以外にも、林地保全や保健休養などの公益的機能の発揮を目的とする管理を導入した。2011年からの第2次管理計画では、「多様な森林機能の充実強化」と「持続可能な森林経営の推進」を経営の基本方針とし、管理を行っている。

5.3 森林管理の概要

5.3.1 管理組織の構成

山梨県森林環境部県有林課が管理を行っている。従来は県の地域振興局・林務環境部ごとに事業区を設けて管理経営を行っていたが、平成18年の県出先機関の組織再編にあわせ、6事業区を林務環境事務所単位の4事業区に統合し、現在は、本庁と、4つの林務環境事務所で管理を行っている。また、県下には160の保護団体(財産区、市町村、組合)があり、火災の予防や盗伐などの加害行為の防止等の保護活動を行っている。造林施業は事前に登録された請負者(2012年現在107社)による入札で施業が実施されている。

5.3.2 管理システムの概要(非SLIMF / マルチサイトのみ)

5.3.6参照

5.3.3 全管理地域および主な区分

県有林は、県下27市町村のうち22市町村と、ほぼ山梨県内全域に分布している。県土面積44万6,537ヘクタールの35.4%、県森林面積34万7,576ヘクタールの45.5%にあたる158,246ヘクタールを占めている。そのうち、貸地等を除く143,000ヘクタールが、本認証の対象地である。

県有林は、おおむね私有林やその他公有林の上部に位置しており、富士山をはじめとするわが国を代表する山々を有するとともに、県内の主要河川は、その大部分がこれら山岳地帯に分布する県有林に源流を発している。また、多くの観光客が訪れる景勝地も多数存在する。したがって、県有林は治山治水上はもとより、自然環境保全、景観保全上からも重要な役割を担っている。

県有林は大きく中北、峡東、峡南、富士・東部の4つの事業区に分けられ管理されている。また、林班数、小班数はそれぞれ978、30,798であり、平均面積はそれぞれ161.81ha、5.14haである。

5.3.4 林分構成および森林製品

山梨県の標高は最低200mから最高3,400mと、暖帯上部から寒帯上部に渡っているため、林相は多様である。すなわち、丘陵帯(暖温帯、標高600メートル以下)の常緑広葉樹林(シラカシ林)、山地帯(冷温帯、標高600～1,800メートル)の落葉広葉樹林(ブナ林)、常緑針葉樹林(ウラジロモミ・コメツガ林)、亜高山帯(亜寒帯、標高1,800メートル～2,400メートル)の常緑針葉樹林(シラベ・オオシラビソ林)、高山帯(寒帯)の高山低木群落および森林限界以上の草本群落などである。

人工林について見ると、カラマツが全面積の46%を占め最も多く、ヒノキ20%、アカマツ15%、シラベ8%、広葉樹6%、スギ3%の順となっている。カラマツは県有林の全域にわたって広く植栽されており、一部風衝地を除いて一般的に成長は良好である。アカマツ、ヒノキは丘陵帯および山地帯下部を主体に、シラベはおおむね亜高山帯に植栽されている。林齢は、戦後の拡大造林政策に沿って造林した8齢級から11齢級に集中しており、伐期を迎えつつある森林が増加している。

林産物はほとんどが立木または丸太での販売による木材だが、従来からの入会慣行が認められている各地域の保護団体には、草本やキノコを含む草木の払い下げをしている。

5.3.5 管理目的

県有林の管理にあたっては、管理の基本理念、県有林を取り巻く社会情勢を踏まえ、多様な森林機能の充実強化と木材生産の調和が取れた県有林の管理を推進することとし、次の2点を基本方針としている。

○多様な森林機能の充実強化 —それぞれの森林の持つ機能に応じた森づくりの推進と魅力の発信—

それぞれの森林に適した維持、造成を行い、県土の保全、水源かん養、環境保全などの多面的機能の充実強化を図るとともに、低炭素社会実現に資する管理や多様な森林利用の推進など県有林の魅力を発信できる森づくりを推進します。

○持続可能な森林経営の推進 —木材の持続的生産と経営の効率化—

循環型社会構築に寄与するため、環境負荷が少なく再生産可能な資源である木材を持続的に生産し、自然環境の保全に配慮しながら効率的な県有林経営を推進します。

また、計画の基本方針に基づき、管理目標と社会的な要請に応じた次の3項目について、特に重点をおいて県有林の管理にあたることとしている。

(1) 公益的機能の維持増進

- ア 山地災害の未然防止や良質な水の安定供給
- イ 二酸化炭素の吸収源としての機能の発揮
- ウ 県民福祉の向上に寄与する県有林の有効活用

(2) 持続的・効率的な林業経営の確立

- ア 林業経営の基盤づくりの推進
- イ 県有林材の安定供給

(3) 自然環境の保全

- ア 動植物等を考慮した生態系の保全
- イ 観光など様々な資源として県有林の価値を高める

5.3.6 林業及び森林管理システム

5.3.6a 概要

県有林では、地種、法令の制限度合い、作業種および伐期齢、標高、景観の配慮により、施業方法を定める作業団により小班を設定しており、それぞれの作業団の施業指針にしたがって管理を行っている。作業団および作業団に順ずる単位は全部で34種類ある。

主な木材生産の場となる制限林地一般用材林作業団、普通林地一般用材林作業団においては、生産目標を柱適寸材(10.5cm角以上)、集成材利用適寸材(10.5cm角以上)、広葉樹家具・木工用材(丸太径30cm以上)とし、以下のような施業体系のもと施業を行っている。

樹種	利用末口 径級(cm)	利用径級 (cm)	伐期齢 (主伐の時期)	保続計算上の伐期齢		植栽本数基準 (本)
				地位(上)	地位(中)	
スギ	18	22	30～	30	45	3,000
ヒノキ	18	22	40～	40	70	3,000
アカマツ	18	24	35～	35	55	4,000
カラマツ	18	24	35～	35	50	2,300
シラベ	20	24	45～	45	55	3,000
モミ外針葉樹	20	24	40～	40	65	3,000
広葉樹	30	36	60～	60	110	3,000～6,000

5.3.6b 更新

人工植栽による更新:37000 ha

天然更新:106000 ha

5.3.7 基本的な収穫技術

収穫は、県有林林産物入札参加資格者による入札で、販売されている。請負者により保有する機械が異なり、収穫技術も異なるが、基本的にはチェーンソーによる伐倒が行われ、ウィンチやスイングヤーダーによるワイヤーを使用した牽引での集材、林道から離れた場所では森林作業道を使い、フォワーダーや林内作業車による運材、チェーンソーやプロセッサによる造材が行われ、トラックで出荷される。

5.4 持続的収穫

5.4.1 収穫予想の根拠となる仮定

収穫予想表を用い材積を計算している。収穫予想表は平成15年3月に更新した県有林独自のものである。

5.4.2 収穫予想の根拠となるデータ

県有林の森林簿を基に、上記の収穫予想表を使用して短中長期的な収穫計画を立てている。

5.4.3 量、種に関する年間収穫の理論

標準伐採量および標準更新面積は、収穫量が将来にわたり保続し、かつ、更新面積に著しい増減がないよう配慮して保続計算により算出している。保続計算は施業方法の類似している作業団を包括して行う。人工林については、利用径級以上のものを伐採対象とする。現在の標準伐採量は $55,000\text{m}^3/\text{年}$ と計算されており、年間成長量 $371,236\text{m}^3/\text{年}$ を下回り、森林収穫の保続には影響はない。

5.4.4 過去の生産

平成14年度 27,008 m^3

平成15年度 32,208 m^3

平成16年度 31,367 m^3

平成17年度 47,165 m^3

平成18年度 51,106 m^3

平成19年度 41,583 m^3

平成20年度 42,702 m^3

平成21年度 54,268 m^3

平成22年度 53,663 m^3

5.4.5 現在の生産

平成23年度 主伐41,563 m^3 および利用間伐17,112 m^3

5.4.6 計画されている生産

上記標準伐採量に基づいた量での伐採が行われる予定。単年度での増減はあるが、中期的には標準伐採量を超えない伐採量となる計画。

5.5 環境及び生物多様性

5.5.1 生物多様性にとって重要な場所の概要

山梨県は、県中央部に甲府盆地が位置し、その周囲が日本有数の山岳地となっており、県有林の所在する地域は盆地上里山から標高3,000mを越える。甲府盆地は標高200mであり、周囲の山岳は、1,500メートル級から3,000メートル級の山々からなる。その間に県有林が存する。山梨県有林水源地から発する多くの河川は県内で合流し、静岡県(富士川)や神奈川県(相模川)、東京都(多摩川)など、下流部の関東平野等の重要な水源地帯となっている。

気候型は、日本列島の内陸部に位置していることから、甲府盆地の「盆地気候」と山岳地域の「山岳気候」に区分される。すなわち、海岸地域とは異なり、標高差による気温の地域差が大きく、気温の日較差、年較差が大きい内陸気候の気候特性を示しており、平均気温は甲府において冬季で-2.7℃～夏季で22.4℃、河口湖において-6.7℃～17.6℃と地域・標高により違いが見られる。

年降水量は盆地で少なく約1,000mmだが、富士五湖地方や富士川中流域の多雨地域では、2,000mm以上に達するところもある。県内全般に風は弱く、盆地や八ヶ岳山ろくは全国的に見ても多照地域で、概して空気は乾燥している。

地質は、県下全域に亘るため、多様であり、多くは富士山・八ヶ岳の火成岩類を主体とするが、第三紀層や河岸段丘礫層などが広範囲に分布する。特に、富士山麓には、864年の貞観大噴火による広大な溶岩台地が広がっており、青木ヶ原樹海と呼ばれるわが国でも珍しい独特の自然林が広がっている。

植物は、地形、地質が複雑で気温も変化に富んでいるため、種類数が豊富で群落組成にも特徴を持つ。特に、標高差が大きいため、垂直分布の変化が顕著で、暖帯から寒帯にかけてのさまざまな植物を見ることができる。富士山麓のツガ・ヒノキ林、アカマツ林、シラビソ林、ブナ林等は特異で、各地にシオジ林やサワラ林などの多様な地形に応じた自然林が散在する。また、南アルプスの北岳周辺は高山植物の宝庫で、北岳固有、または南アルプス固有の植物が見られる。

豊富な植物を反映して、動物相も多様である。獣類は本州で生息するもののほとんどが見られ、鳥類も平地から高山帯まで生息する多種のものが観察される。また、富士川本川及び釜無川、笛吹川等河川数が多いため淡水産の魚類も多い。

5.5.2 保護価値の高い森林 - 存在する保護価値の高い森林についての記述

9.1.1 参照

5.5.2a 保護価値の高い森林および保護区の面積

保護価値の高い森林面積: 295.48ha

保護区面積: 19,000ha

5.5.3 化学薬品使用記録 - 過去に使用された化学薬品の量および使用の理由

2011年度は以下を忌避剤として使用した。

コニファー: 2,567リットル

ヤシマレント: 971kg

ヤシマNCS: 630リットル

ラウンドアップ: 15リットル

ヤシマバークサイドF: 38リットル

5.6 社会及び地域社会

山梨県の人口は85万7千7百人(H23年10月時点)であり、多くが中心の甲府盆地に集中する。山梨県は果樹生産が盛んである。特にモモやブドウが有名であり、3月のモモの花の時期には多くの人が訪れ、ワインの製造も盛んである。また、一般機械、電気機械、輸送用機械、精密機械等の機械器具製造業が山梨県の主産業となっており、ネクタイ地や紳士服裏地の織物業、宝飾産業等の地場産業も盛んである。また、数多くの著名な温泉地があり、多くの温泉客が訪れている。

四方を2,500m級から3,000m級の山々に囲まれており、富士山をはじめとした著名な山が多く、たくさん登山客が訪れている。また、富士山周辺の富士五湖周辺は標高約1,000mの地にあり、避暑地としても名高く、夏には多くの人が高原の気候を楽しんでいる。このように、山、河川、湖、温泉、歴史的遺跡など豊かな自然・文化資産の存在と首都圏に近いという地理的条件に恵まれ、わが国でも有数の観光誘致の基盤を形成しており、四季を彩る森の存在がここでは重要な役割を果たしている。

5.7 モニタリング活動の概要

森林生態系のモニタリングについては、平成9年度から10年間、山梨県北部に位置し、秩父多摩甲斐国立公園に含まれる瑞牆山一帯のモデル地域(北杜市須玉町の塩川ダム上流域)で行われた。生態系の多様性、種の多様性、木材生産面積、伐採量、病虫害等の影響、大気汚染物質被害、水質の変化、炭素蓄積量と炭素収支、生産および消費、レクリエーションおよび観光、雇用及び地域社会ニーズなど、多くの指標がモニタリングされた。モニタリング結果はまとめられ、各都道府県、研究機関に送付されている。

また、県有林の巡視は、県有林関係者による他、自然保護の観点から設置されている山岳レンジャー、富士山レンジャーも巡視を行っている。県職員も定期的な巡視を行っている。成長量に関しては、定点における成熟林調査、標準地調査が行われており、森林簿の更新が適宜図られている。収穫予想表は平成15年3月に更新されている。

5年に一度の森林計画策定時には、県内各機関に聞き取り調査を行い、また県民意識調査をはじめとした県民に対する各種アンケートにおいて、県有林に対する県民の意識を調査している。各種森林調査や、森林作業員に対する教育訓練においては、山梨県森林総合研究所が重要な役割を果たしている。県有林との結びつきは密接であり、行政からの試験研究要望を森林総研に上げ、研究推進会議で研究内容を決定している。約9割は行政からの要望に基づき研究を行っている。

5.8 その他の活動

5.8.1 管理地域内で行われている林業以外の活動の概要

登山や富士五湖周辺のレクリエーション活動が活発である。青木ヶ原樹海においては、エコツアーが活発であり、県も含めたエコツアー協議会を設置し、エコツアーのガイドラインを作成している。また、試験、研究等には入山許可を得れば県有林に入ることは認められている。

5.8.2 影響

森林管理への影響は基本的にない。

5.9 製品の追跡、識別

5.9.1 評価された森林からの、認証、非認証製品が混入するリスクが高い地域

立木での販売または市場での販売による。山土場で集材した際に、他の山からの材と混在するリスクがある。

5.9.2 管理システム 原料の流れを管理するためのシステムと文書

県有林FSC認証ラベル取り扱い要領が作成されている。送り状やFSC認証材出荷証明の様式が作成されている。

5.9.3 認証森林製品の識別

立木で販売する際には、図面で明示するとともに、境界木にはマーキングをすることで現地においても境界を明らかにしている。

市場で販売する際には、伐採から市場までの搬送を請負者に委託するが、伐採は他の森林と同時にせず、山土場にも他の森林の材を集積させない。また、原木市場で集積された丸太には、FSCラベリングバンドを使用し、他の出材エリアと識別している。

5.9.4 森林・COCの認証対象が終わる点

立木での販売または市場での販売である。

5.9.5 森林管理者による2次加工

山梨県は加工を行っていない。

5.10 認証の範囲に含まれていない森林の範囲または過程

1.4.24参照

5.11 地図

付属文書5参照

ANNEX 1 GENERIC CHECKLIST

付属文書1 一般チェックリスト

NB - this checklist should be used in conjunction with the verifiers and guidance in the Woodmark

Generic Standard

記号の説明

- RA 更新審査 (Re-Assessment)
- S1 第1回年次監査 (Surveillance 1)
- S2 第2回年次監査 (Surveillance 2)
- S3 第3回年次監査 (Surveillance 3)
- S4 第4回年次監査 (Surveillance 4)

Adapted Standard version: 適合規格バージョン:
2.0
Region/Country: 地域/国:
Japan 日本
Adapted Standard date: 適合日:
October 2010 2010年10月
Summary of changes since the previous audit: 前回審査以降の規格変更概要:
No modification was made. 修正はなかった。

ADDITIONAL REQUIREMENTS	
補足的な要求事項	

A	SECTION A: FSC TRADEMARK USE FSC-STD-50-001 Requirements for use of the use of the FSC trademarks by certificate holders	no score
	セクションA: FSCトレードマーク FSC-STD-50-001 認証取得者によるFSCトレードマークの使用に関する要求事項	採点対象外
A.1	On product trademark use 認証製品用トレードマーク使用	n/a
A.1.1	Have all on product trademark designs been approved by Woodmark? <i>List the on-product label approvals by product group e.g. label for use as log tag approved 5.5.09</i> 全てのトレードマークデザインはウッドマーク/アマタ環境認証研究所により承認されているか。 製品グループごとの製品ラベル承認記録を記載すること。例: 2009年5月5日に承認された丸太タグ用のラベル。	
RA	全てのトレードマークデザインはAIEC/ウッドマークにより承認されていた。トレードマーク使用記録はすべて一覧として提出された。2011年1月24日承認の県有林材出荷用ビニールバンド等。 All the trademark designs had been approved by AIEC/Woodmark. A record of the use of the trademarks was submitted as a list. The list included the use of vinyl bands for the shipment of timber harvested in prefectural forests, which was approved on January 24th, 2011.	✓
S1		
S2		
S3		
S4		

A.2	Promotional trademark use 広告宣伝用トレードマーク使用	n/a
A.2.1	Certificate holders promoting FSC certified forests shall indicate the certified forest area as defined by the scope of the FSC certificate. FSC認証林の広告宣伝をする認証取得者は認証範囲に含まれる森林を示さなければならない。	
RA	山梨県では貸地を除いた県有林が認証されている。広告宣伝用のトレードマークを使用する際には常に認証範囲が明らかになっていた。 All the forests owned by Yamanashi Prefecture except land to let are certified. The scope of certification was shown clearly whenever the trademark for advertisement was used.	✓
S1		
S2		
S3		
S4		

A.2.2		Have all promotional trademark designs been approved by Woodmark? <i>List the promotional trademark approvals e.g. website approved 15.4.09, invoice template approved 4.2.09</i>	
		全てのトレードマークデザインはウッドマーク/アマタ環境認証研究所により承認されているか。製品グループごとの広告宣伝用トレードマークの承認記録を記載すること。例:2009年4月15日に承認された請求書の様式。	
	RA	全てのトレードマークデザインはAIEC/ウッドマークにより承認されていた。トレードマーク使用記録はすべて一覧として提出された。2011年11月28日承認の広報誌等。 All the trademark designs had been approved by AIEC/Woodmark. A record of the use of trademarks was submitted as a list. The list included the use of the trademark on their promotional magazine which was approved on 28th Nov 2011.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

FSC ref 規格番号	Criteria/Norm 基準	Score 得点	CAR 改善要求
-----------------	---------------------	-------------	-------------

SCORING SUMMARY 得点の集計		
FSC PRINCIPLE #1: COMPLIANCE WITH LAWS AND FSC PRINCIPLES Forest management shall respect all applicable laws of the country in which they occur, and international treaties and agreements to which the country is a signatory, and comply with all FSC Principles and Criteria.		4.4
FSC原則#1: 法律とFSCの原則の順守 森林管理は、日本の全ての法律及び日本が調印した全ての国際条約や合意を順守する。また、「FSCの原則と規準」にも従う。		
FSC PRINCIPLE #2: TENURE AND USE RIGHTS AND RESPONSIBILITIES - Long-term tenure and use rights to the land and forest resources shall be clearly defined, documented and legally established.		3.8
FSC原則#2: 保有権、使用権および責務 土地や森林資源に関する、長期にわたる保有や使用の権利は、明確に規定されるとともに文書化され、また法的に確立されること。		
FSC PRINCIPLE #3: INDIGENOUS PEOPLES' RIGHTS - The legal and customary rights of indigenous peoples to own, use and manage their lands, territories, and resources shall be recognised and respected.		NA
FSC原則#3: 先住民の権利 先住民が、彼らの土地やテリトリー、資源を所有、利用、そして管理する法的及び慣習的権利が認められ、尊重されること。		
FSC PRINCIPLE #4: COMMUNITY RELATIONS AND WORKER'S RIGHTS Forest management operations shall maintain or enhance the long-term social and economic well-being of forest workers and local communities.		3.6
FSC原則#4: 地域社会との関係と労働者の権利 森林管理は、林業に従事するものと地域社会が、長期にわたり社会的、そして経済的に十分な便益を得られる状態を継続、あるいは高めるものであること。		
FSC PRINCIPLE #5: BENEFITS FROM THE FOREST Forest management operations shall encourage the efficient use of the forest's multiple products and services to ensure economic viability and a wide range of environmental and social benefits.		3.4
FSC原則#5: 森林のもたらす便益 森林管理は、経済的な継続性と、環境や社会が享受しているさまざまな便益とを確保できるよう、森林から得られる多様な生産物やサービスの効果的な利用を促進するものであること。		
PRINCIPLE #6: ENVIRONMENTAL IMPACT Forest management shall conserve biological diversity and its associated values, water resources, soils, and unique and fragile ecosystems and landscapes, and, by so doing, maintain the ecological functions and the integrity of the forest.		3.9
FSC原則#6: 環境への影響 森林管理は、生物の多様性とそれに付随する価値、水資源、土壌、そしてかけがえのない、しかも壊れやすい生態系や景観を保全し、生態学的な機能や森林の健全さを維持するものであること。		

FSC PRINCIPLE #7: MANAGEMENT PLAN A management plan -- appropriate to the scale and intensity of the operations -- shall be written, implemented, and kept up to date. The long term objectives of management, and the means of achieving them, shall be clearly stated.	3.8
FSC原則 #7：管理計画 森林において実施される事業の規模と内容に応じた適切な管理計画が文書化され、それに沿って事業が実施され、また、常に更新されること。また、長期的な見地に立った管理目標、目標達成のための手段が明確に提示されること。	
FSC PRINCIPLE #8: MONITORING AND ASSESSMENT Monitoring shall be conducted -- appropriate to the scale and intensity of forest management -- to assess the condition of the forest, yields of forest products, chain of custody, management activities and their social and environmental impacts.	4.0
FSC原則 #8：モニタリングと評価 森林管理の規模と内容に応じた適切なモニタリングが、森林の状態、林産物の生産量、生産・加工・流通各段階、管理作業およびそれらが社会や環境に与える影響を評価するために行われること。	
FSC PRINCIPLE #9: MAINTENANCE OF HIGH CONSERVATION VALUE FORESTS Management activities in high conservation value forests shall maintain or enhance the attributes that define such forests. Decisions regarding high conservation value forests shall always be considered in the context of a precautionary approach.	4.0
FSC原則 #9：保護価値の高い森林（HCVF）の保存 保護価値の高い森林の管理は、その森林の特質を維持、または高めるものでなければならない。保護価値の高い森林に関する決定は、常に慎重に行わなければならない。	
FSC PRINCIPLE #10: PLANTATIONS Plantations shall be planned and managed in accordance with Principles and Criteria 1 - 9, and Principle 10 and its Criteria. While plantations can provide an array of social and economic benefits, and can contribute to satisfying the world's needs for forest products, they should complement the management of, reduce pressures on, and promote the restoration and conservation of natural forests.	4.0
FSC原則 #10：植林 植林は、原則の1から9及び原則10とその規準とに従って計画および管理されるものとする。植林は、社会的、そして経済的便益を提供し、世界の林産物需要を満たすとともに、自然林の管理を補助し、自然林への利用圧を軽減し、その復元および保全を推進するものであること。	

1	FSC PRINCIPLE #1: COMPLIANCE WITH LAWS AND FSC PRINCIPLES Forest management shall respect all applicable laws of the country in which they occur, and international treaties and agreements to which the country is a signatory, and comply with all FSC Principles and Criteria.	4.4
	FSC原則 #1：法律とFSCの原則の順守 森林管理は、日本の全ての法律及び日本が調印した全ての国際条約や合意を順守する。また、「FSCの原則と規準」にも従う。	
1.1	Forest management shall respect all national and local laws and administrative requirements. FSC規準1.1：森林管理は、全ての国際法、国内法及び各自治体の条例や行政的要求事項を順守する。	5
1.1.1	There is no-evidence of outstanding claims of non-compliance with national and local laws and administrative requirements related to forest management. 森林管理に関連した国や地域の法律、行政上の要求事項に関して違反はない。	

	RA	以下の国内の主要法を認識し文書として保管している。 森林・林業基本法 森林法 森林組合法 森林病虫害等防除法 砂防法 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 自然環境保全体法 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 林道規定 労働安全衛生法 農薬取締法 種苗法 分取林特別措置法 租税特別措置法 また法指定区域の各種図面を有し、森林簿上でも記載している。 The major laws listed below are recognised and documents of them are kept. Basic Law for Forest and Forestry Forest Law Forestry Association law Forest Pest and Disease Control Law Erosion Control Law Wildlife Protection and Hunting Law Natural Environment Conservation Law the Law for the Conservation of Endangered Species of Wild Fauna and Flora Forest Road Regulation Labor Safety and Sanitation Law Agricultural Chemicals Regulation Law Seeds and Seedlings Law Profit-sharing Forest Special Measures Law Tax Special Measures Law Also, they have maps of designated area by laws, and those areas are recorded in the forest register.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.1.2		Forest managers demonstrate awareness of relevant codes of practice, guidelines or agreements.	
		森林管理者は、関連する行動規準、指針、合意等に対する認識を有している。	
	RA	十分に認識している。 Recognised adequately.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.1.3		There is no evidence of non-compliance with the spirit of any relevant codes of practice, guidelines or agreements.	
		関連する行動規準、指針、合意等の精神に従っていないという事実はない。	
	RA	従っている。 They comply with these.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.1.4		Management shall keep legal documents, and at least one person shall bear responsibility for managing and making changes to lists of laws.NS Japan 2007 Draft 8 1.1.3)	
		法関係の書類は保管され、少なくとも一人は法令集の管理や更新に責任をもつこと	
	RA	本庁で保管している。維持更新は担当の吉原氏を中心に県職員が行っている。 Legal documents are kept in the main office of the prefectural government. Prefectural government's employees led by Ms. Yoshihara maintain and revise the documents.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.1.5		Management shall make employees and workers aware of the relevant laws, etc.(NS Japan 2007 Draft 8 1.1.5) 関与する法令等については従業員・作業員への周知を図ること	
	RA	通知文、研修会等で周知している。 They inform employees and workers of the relevant laws, etc. at workshops, announcement, etc.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.2		All applicable and legally prescribed fees, royalties, taxes and other charges shall be paid. 関連する法的に規定された料金、ローヤリティ、税そして他の費用は、全て払わなければならない。	5
1.2.1		Forest managers can provide evidence that applicable fees, royalties, taxes and other applicable charges have been paid. 森林管理者は料金、特許権使用料、税金そのほかの該当する費用等の支払い証拠を提出することができる。	
	RA	消費税申告、職員への給料、請負業者への請負費用、恩賜林保護団体(財産区、市町村、組合)への交付金などの支払いは適正に行われている。 所在市町村交付金を市町村に支払っている。固定資産税に代わるものとしての意味合い。 Payment of fees such as consumption tax, salary for staff, contract fee for subcontractors, subsidy for Imperial-granted forest tenure group (financial ward, city, town and village, association) are done appropriately.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.3		In signatory countries, the provisions of all binding international agreements such as CITES, ILO Conventions, ITTA, and Convention on Biological Diversity, shall be respected. C I T E S (ワシントン条約)、I L O条約、I T T A(国際熱帯木材協定)、生物多様性条約等の国際的取り決めへの加盟国は、それらで、規定されているすべての事項に従わなければならない。	4
1.3.1		Forest managers implement appropriate controls to ensure that CITIES provisions are respected. 森林管理者はその地域のワシントン条約 (CITES) を認識し、その規定を順守するに相応しい活動を行っている。	
	RA	ワシントン条約記載種は取り扱っていないため該当しない Not applicable, as they do not handle any species on the CITES list.	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.3.2		Forest managers implement appropriate controls to ensure that ILO provisions appropriate to their region are respected. Implementation of the following ILO conventions is a minimum requirement for certification : 29, 87, 97, 98, 100, 105, 111, 131, 138, 141, 142, 143, 155, 169, 182, ILO Code of Practice on Safety and Health in Forest Work, Recommendation 135, Minimum Wage Fixing Recommendation, 1970. 森林管理者はその地域に該当するILO条約を認識し、その規定を順守するに相応しい活動を行っている。ILO条約29, 87, 97, 98, 100, 105, 111, 131, 138, 141, 142, 143, 155, 169, 182の実行は、認証の為の最低限の条件である。	
	RA	労働者の権利は国内法で定められており、遵守されている。 公務員の団体交渉権は法律で認められていない。 請負業者の団体交渉権行使の有無は確認していない。小規模事業者なので労働組合はないと思われる。 Worker's rights are required by law and protected. The right to bargain collectively of government workers is not permitted by law. The fact if workers of contracted companies enforce the right to bargain had not been confirmed. It seems workers unions are not formed because all contracted companies are small.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.3.3		No child labour is used, national minimum age provisions are adhered to. 児童労働は行われていない。	
-------	--	--	--

	RA	児童労働は行われていない。 No child labour is used.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.3.4		There is no forced labour or debt bondage. 強制労働や借金による拘束は行われていない。	
	RA	強制労働や借金による拘束は行われていない。 There is no forced labour or debt bondage.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.3.5		Forest managers implement appropriate controls to ensure that implications of ITTA provisions appropriate to their region are respected. 森林管理者はその地域のITTA (国際熱帯木材協定) を認識し、その規定を順守するに相応しい活動を行っている。	
	RA	日本はITTAに調印しているが、当地域では熱帯木材の取引はないため、該当しない Not applicable: although Japan has signed the ITTA, no tropical timber is handled in this region.	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.3.6		Forest managers implement appropriate controls to ensure that provisions of the Convention on Biological Diversity applicable in their region are respected. 森林管理者はその地域に該当する生物多様性条約を認識し、その規定を順守するに相応しい活動を行っている。	
	RA	国・県のレッドデータブックに従い、貴重な動植物の保護が図られている。 Rare plants and animals are protected in accordance with the red data book by national and prefectural government.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.3.7		Forest managers implement appropriate controls to ensure that other appropriate international agreements are respected. 他の国際協定も順守されている。	
	RA	その他特に該当する国際協定はない。 No other applicable international agreements to be noted.	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.4		Conflicts between laws, regulations and the FSC Principles and Criteria shall be evaluated for the purposes of certification, on a case by case basis, by the certifiers and the involved or affected parties. 法令と「FSCの原則と規準」とが整合しない場合は、認証の目的に沿って、認証機関及び関連組織により状況に応じた評価がされなければならない。	NA
1.4.1		Conflicts between laws, regulations and the FSC Principles and Criteria are identified and evaluated by the forest managers, and brought to the attention of the inspection team. 法律、規定と「FSCの原則と規準」の間の摩擦は森林管理者によって特定され、これは認証審査チームの承知事項でなければならない。	
	RA	公務員の団体交渉権は法律で認められていないが、労働者の権利は国内法(労働基準法)で守られている。 Although the right to bargain collectively of government workers is not permitted by law, worker's rights are protected by national law (Labor Standard Law).	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.5		Forest management areas should be protected from illegal harvesting, settlement and other unauthorised activities.	4
-----	--	---	---

		対象となる森林管理地域は、不法伐採や移住、またその他の無許可の行為から保護されなければならない。	
1.5.1		The forest management unit is protected from harvesting activities and other activities not controlled by forest managers or local people with use rights (e.g. settlement, illegal harvesting, poaching). 管理対象の山林は、森林管理者または使用权を持つ地元の人々の管理下でない収穫などの行為（植民、違法収穫、密猟など）から保護されている。	
	RA	保護団体による管理、森林保全巡視事業による巡視が行われている。 入山希望者には入山許可を発行している。 林道のモニターも行われている。 不法投棄監視パトロールを行っている。各市町村でも行っているところがある。 現地でも未許可の行為は観察されなかった。 Management by tenure group and patrol by forest conservation patrol work is conducted. Entry permission is issued to those who want to enter the forest. Forest roads are also monitored. Patrol to monitor illegal dumping is conducted. Some cities, towns and villages are also patrol. No unauthorised activity was observed on site.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.5.2		Systems to identify and prevent unauthorised activities are in place. 未許可の行為をモニタリング・阻止するシステムが存在する。	
	RA	保護団体による管理、森林保全巡視事業による巡視が行われている。 入山希望者には入山許可を発行している。 林道のモニターも行われている。 不法投棄監視パトロールを行っている。各市町村でも行っているところがある。 現地でも未許可の行為は観察されなかった。 Management by tenure group and patrol by forest conservation patrol work is conducted. Entry permission is issued to those who want to enter the forest. Forest roads are also monitored. Patrol to monitor illegal dumping is conducted. Some cities, towns and villages are also patrol. No unauthorised activity was observed on site.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.5.3		Managers have taken measures to stop illegal or unauthorised uses of the forest. 管理者は森林における違法または未許可の行為を阻止する対策を実行している。	
	RA	上記システムが実施されている。 The systems mentioned above are implemented.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.6		Forest managers shall demonstrate a long-term commitment to adhere to the FSC Principles and Criteria. 森林管理者は、「FSCの原則と規準」を長期にわたり厳守することを証明しなければならない。	4
1.6.1		Forest managers shall provide a documented statement declaring their long-term commitment to comply with FSC Principles and Criteria. 森林管理者は長期にわたってFSC原則と規準に従うこととする声明を出さなければならない。	
	RA	第2次県有林管理計画で謳っている。P49「FSC森林管理認証を活用した管理」 It is declared in the prefectural forest management plan p49 'Management utilising forest management certification'.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

1.6.2		Forest managers shall declare any areas under their control but not included within the scope of the certification evaluation. 森林管理者は管理下にあつて認証審査の範囲に含まれていない場所について示さなければならない。	
-------	--	--	--

	RA	他団体への貸付地等は管理下にならないため、15,246haの県有林が認証の範囲から除外されている。 15,246ha is excluded from the scope of the certification because these areas are lent to other organisations and out of their management.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2		FSC PRINCIPLE #2: TENURE AND USE RIGHTS AND RESPONSIBILITIES - Long-term tenure and use rights to the land and forest resources shall be clearly defined, documented and legally established.	3.8
		FSC原則 #2 : 保有権、使用権および責務 土地や森林資源に関する、長期にわたる保有や使用の権利は、明確に規定されるとともに文書化され、また法的に確立されること。	
2.1		Clear evidence of long-term forest use rights to the land (e.g. land title, customary rights, or lease agreements) shall be demonstrated.	4.5
		対象となる土地を長期にわたり森林として使用する権利（土地の所有権、慣習上の権利、賃貸契約など）が明確に証明されていなければならない。	
2.1.1		Legal ownership or tenure can be proved and is not subject to dispute.	
		法的所有権または保有権の証明が可能で、争議の対象になっていない。	
	RA	恩賜県有財産模範林という登記が登記簿上でなされている。 Prefectural forests are registered as Imperial-granted Prefctural Property Exemplary Forest.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.1.2		A map is available clearly showing legal boundaries.	
		法的な境界線を明確に表した地図がある。	
	RA	境界延長は2544kmある。 境界測量を1913年から1918年に行っている。 1958年から1989年に境界確認を行っている。コンクリートの境界標柱や自然石を目印とし、主要点には御影石の標識を設置している。 重要度に応じ2年、4年、または10年ごとに1回、境界保全巡視事業により巡視を行っている。 The total length of boundaries is 2544km. Boundary surveys were conducted from 1913 to 1918. Boundary confirmation was done from 1958 to 1989. Boundary pole and natural rocks are used as landmarks, and granite marks are set on the major points. In accordance with the importance, boundaries are confirmed once every two, four or ten years.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.1.3		Land is dedicated to long term forest management.	
		森林管理を行っている土地の長期的維持に努めている。	
	RA	長期的に維持する方針である。 林地を道路用地等、公共・公益利用に提供することがある。その際の売り払い代金を県有林基金とし、他の場所を買付けることにより、合計面積を減らさないようにしている。 There is a long maintenance policy. A part of forest is provided sometimes for public use such as road construction. At that time income goes into a fund which is used for purchasing of other land, so that total area is not decreased.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.1.4		Communities have clear, credible and officially recognised evidence, endorsed by the communities themselves, of collective ownership and control of the lands they customarily own or otherwise occupy and use.	
		地域社会は、採集の権利や、伝統的に土地の所有または占有、使用している土地の管理について、明確で、信頼性があり、公式に認められた証拠を所持しており、それは地域社会自身によって承認されている。	
	RA	該当しない。 Not applicable.	n/a
	S1		
	S2		

	S3		
	S4		

2.2		Local communities with legal or customary tenure or use rights shall maintain control, to the extent necessary to protect their rights or resources, over forest operations unless they delegate control with free and informed consent to other agencies.	3.5
		地域社会（住民）の法的、慣習的保有権あるいは使用権は、地域社会（住民）が森林施業を行う上で必要な権利や資源が確保される範囲で行使されるべきである。ただし、地域社会が、自由意志により、同意を行った上で、管理を他の機関に委託した場合を除く。	
2.2.1		All legal or customary tenure or use rights to the forest resource of all local communities are clearly documented and mapped by the forest managers.	
		地域社会の森林資源全ての法的又は慣習的保有権または使用権は、森林管理者によって明確に文書化・地図化されている。	
	RA	山梨県恩賜県有財産管理条例、山梨県恩賜県有財産土地利用条例などで定めている。従来からの入会慣行を各地域の保護団体に認めており、希望する限り、永世、毎年、草木の払い下げをしている。 It is regulated by Yamanashi prefecture Imperial-granted prefectural property management regulations and Yamanashi prefecture Imperial-granted prefectural property use regulations. The customary practice is permitted to tenure group in each area, and trees and plants are given to them every year, which will continue permanently if they wish.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.2.2		All legal or customary tenure or use rights to the forest resource of all local communities are recognised and respected in forest management planning and practice.	
		地域社会の森林資源全ての法的または慣習的保有権または使用権は、森林管理計画とその実践において認められ尊重されている。	
	RA	同上。尊重されている。 Same as above. Respected.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.2.3		Forest managers provide local communities control over forest operations to the extent necessary to protect their rights and resources.	
		地域社会の権利と森林資源を守るのに必要な範囲内において、地域社会は森林施業に携わっている。	
	RA	保護団体が巡視等の義務を負い、実施している。保護団体には交付金が支払われている。 Tenure groups are under obligation to patrol. Subsidy is paid to them.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.3		Appropriate mechanisms shall be employed to resolve disputes over tenure claims and use rights. The circumstances and status of any outstanding disputes will be explicitly considered in the certification evaluation. Disputes of substantial magnitude involving a significant number of interests will normally disqualify an operation from being certified.	3.5
		保有権に関する主張や使用権に関する論争を解決するため、適切な手段が講じられなければならない。認証評価の際には、あらゆる未解決論争についての詳細や状況が全て考慮に入れられる。重大な利害関係を含む重要な論争が未解決の場合、通常、管理に関する認証は不的確とされる。	
2.3.1		Mechanisms exist for resolution of disputes between the forest managers and the local community over tenure claims and use rights.	
		森林管理者と地域社会間の保有権・使用権の争議を解決するために相応しいシステムが存在する。	

	RA	口頭受理用紙で、口頭で受けた意見を正式に受け付けるシステムがある。 文書開示請求があれば条例に従い応じる。 クイックアンサー制度が2007年2月から始まり、県民からの質問や意見に対し1週間以内に回答する仕組みができています。 境界管理を行うことで争議を未然に防いでいる。 There is a system to accept oral opinion formally by using oral opinion acceptance sheet. If there is a requirement to make documents open, they will do so in accordance to the regulation. 'Quick Answer System' started from February 2007. Government staff answer to questions and opinions from citizens within one week. Disputes are prevented by managing boundaries.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.3.2		Mechanisms for dispute resolution are respected in the event of any dispute between local communities and forest managers regarding tenure claims and use rights.	
		地域社会と森林管理者との間の保有権・使用権の争議の際には、争議解決システムが尊重されている。	
	RA	上記システムが尊重されている。 The systems mentioned above are respected.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.3.3		Management policy and operational procedures exist which require that, in case of a dispute or disagreement between the local community and the forest managers concerning land rights, forestry operations which prejudice the future enjoyment of such rights by the community are halted until the dispute is resolved.	
		地域社会と森林管理者間の土地の権利に関する争議で、地域社会の将来的な権利を保証しない森林管理業務は、争議の解決をみるまでは停止されることを規定する管理指針や手順が存在する。	
	RA	境界確定は所有者立会いの下で行うために、この数十年は境界に関する争議はない。そのため争議があった際に森林施業を停止する事は文書化はされていない。ただし争議が合った場合は、解決するまで事業を発注しないことをインタビューで確認した。 There has been no boundary dispute for the past several decades, due to the fact that boundary demarcation is done with the land owners' witness. For this reason, suspension of the forestry operation in case of dispute is not documented. However, it was confirmed in the interview that in case of any dispute, the work is not to be ordered until the dispute is resolved.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.3.4		Forest managers provide access to forest resources for local communities without legal or customary land rights, where such access does not prejudice the achievement of management objectives.	
		森林管理の目標、目的を侵害しない範囲において、法的あるいは、慣習的権利を有さない地域社会に対しても、森林資源にアクセスできるよう、努力が図られている。	
	RA	登山が認められている。 Mountain climbing is permitted.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

2.3.5		There is no evidence of any unresolved dispute of substantial magnitude involving a significant number of interests regarding tenure and use rights	
		保有権・使用権に関する未解決の重大な争議は見当たらない。	
	RA	争議はない。 There is no dispute.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

3		FSC PRINCIPLE #3: INDIGENOUS PEOPLES' RIGHTS - The legal and customary rights of indigenous peoples to own, use and manage their lands, territories, and resources shall be recognised and respected.	NA	
		FSC原則#3：先住民の権利 先住民が、彼らの土地やテリトリー、資源を所有、利用、そして管理する法的及び慣習的権利が認められ、尊重されること。		
	RA	日本の先住民として知られているのはアイヌの人々であり、北海道ではこの問題が出てくるが、この地域とその周辺には先住民がいない。したがって原則3は該当しない。 In Japan Ainu people are known as indigenous people. Because they have lived in Hokkaido, there may be some issues in Hokkaido. However, there are no indigenous peoples in the vicinity of the management area, thus Principle 3 is not applicable.	n/a	
3.1		Indigenous peoples shall control forest management on their lands and territories unless they delegate control with free and informed consent to other agencies.		
		先住民の土地やテリトリーについては、先住民が森林管理の統御を行えるものとする。ただし、先住民が、自由意志により、情報に基づいた同意をしたうえで、管理を他の機関に委託している場合を除く。		
3.1.1		3.1.1 The identity, location and population of all indigenous and traditional peoples including migratory groups living in the vicinity of the management area are documented by the forest managers.		
		管理区域の付近に住む、移住性のグループを含む全ての先住民や伝統民の独自性、居住地、人口は森林管理者により文書化されている。		
3.1.2		All claims to lands, territories or customary rights within the management area are documented and/or clearly mapped.		
		管理区域内の土地、テリトリー、または慣習的権利に関する全ての要求事項は文書化され明確に地図化されている。		
3.1.3		3.1.3 The communities concerned have identified themselves as indigenous or tribal		
		関係する地域社会は自分自身を先住民または部族と認識している。		
3.1.4		Forest management operations do not take place in areas identified in norm 3.1.2 above, without clear evidence of the free and informed consent of the indigenous or traditional peoples claiming such land, territory or customary rights.		
		上の規準3.1.2で地図化される地域においては、その土地、テリトリーまたは慣習的権利を要求する先住民の、情報に基づいた自由意志による同意がないかぎり、いかなる種類の森林管理施業も行われない。		
3.2		Forest management shall not threaten or diminish, either directly or indirectly, the resources or tenure rights of indigenous peoples.		
		森林管理は、直接的あるいは間接的を問わず、先住民の使用資源を脅かしてはならないとともに縮小してはならない。		
3.2.1		Before a forestry operation under outside management commences near an indigenous people's lands, any potential shared boundaries of the community's lands shall be physically demarcated under the supervision of the community.		
		先住民の土地付近において、管理外の施業であっても、そのような作業が行われる前には、地域社会の有する潜在的な土地利用を調べ、地域社会の監視の下、物理的に明確な境界を定めなければならない。		
3.2.2		The forestry management operation shall document any potential threats, direct or indirect, to the resources or rights of such indigenous peoples (e.g. disturbance to water resources and wildlife).		
		森林施業が及ぼす、先住民の資源や権利への直接的・間接的な影響について文書化しなくてはならない（例：水源、野生生物の攪乱）。		
3.2.3		The forestry management operation shall have documented policies and procedures to prevent any encroachment, or direct or indirect threat to the resources or rights of such indigenous peoples.		
		森林管理が及ぼす、先住民の資源や権利への侵害や直接的・間接的な影響を防止するために、文書化された適切な方針と手順を所持しなくてはならない。		
3.2.4		Traditional access for subsistence uses and traditional activities is granted		
		先住民の土地の、またはその近くの、彼らが有する資源に対する不慮の損害に対しては、彼ら自身の地域社会が定めた基準によって補償されなくてはならない。		

3.3		Sites of special cultural, ecological, economic or religious significance to indigenous peoples shall be clearly identified in co-operation with such peoples, and recognised and protected by forest managers.		
		FSC規準3.3: 先住民にとり、文化的、生態的、経済的あるいは宗教的に重要な意味をもつ特別な土地に関しては、先住民との間で明確に確認されなければならない。また、森林管理者はこれを承認するとともに、保護しなければならない。		
3.3.1		Policies and procedures for the identification, recording and mapping of sites of archaeological, religious, historical or other cultural sensitivity prior to the commencement of forest management activities in the forest management area as a whole are documented and have been implemented.		
		森林管理を始める前までに、管理区内における考古学的、宗教的、歴史的、その他文化的に重要な土地の特定、記録、地図化に関する方針と手順は文書化され、実践されている。		
3.3.2		The policies and procedures include the involvement of Indigenous peoples in the identification of such areas.		
		方針と手続きには、そのような土地の確認に先住民が参加することも含まれている。		
3.3.3		Policies and procedures for the identification and protection of such sites during management operations (e.g. harvesting, road building, etc) are documented and implemented.		
		森林管理施業（例：収穫、林道建設など）が行われる間に実施される、そのような土地の特定と保護に関する方針と手順は文書化され実践されている。		
3.3.4		Policies and procedures for the appropriate protection or management of identified sites are documented and implemented.		
		特定された土地の適切な保護や管理に関する方針や手順は、文書化され実践される。		
3.3.5		All plans for the protection or management of such sites are subject to the full and informed consent of representatives of indigenous peoples.		
		そのような土地の保護や管理に関する全ての計画は、先住民の代表の、情報に基づいた十分な賛同を得なくてはならない。		
3.4		Indigenous peoples shall be compensated for the application of their traditional knowledge regarding the use of forest species or management systems in forest operations. This compensation shall be formally agreed upon with their free and informed consent before forest operations commence.		
		FSC規準3.4: 先住民は、彼等が持つ森林に生息する種の利用方法や、森林の管理方法に関する伝統的な知識が使用された場合には、それらについての代償を受けなければならない。この代償については、森林管理を開始する以前に、先住民の、自由意志による、情報に基づいた正式な同意を得なければならない。		
3.4.1		Managers have recorded known applications of traditional knowledge (e.g. regarding the use of forest species or management systems) in the forest operations.		
		管理者は森林施業への伝統的な知識の適用について全て記録している。（例：森林生物種の使用または管理システムに関して）		
3.4.2		Local communities have been informed of such applications, including the potential commercial benefits of such applications to the forest management enterprise.		
		地域社会は、そのような適用から生じる森林管理主体への潜在的な商業的利益を含めて全て、説明を受けている。		
3.4.3		Local communities are compensated for any such applications, in accordance with prior agreements.		
		地元社会は、事前合意にもとづき、そのような適用について十分に補償されている。		
4		FSC PRINCIPLE #4: COMMUNITY RELATIONS AND WORKER'S RIGHTS Forest management operations shall maintain or enhance the long-term social and economic well-being of forest workers and local communities.	3.6	
		FSC原則#4：地域社会との関係と労働者の権利 森林管理は、林業に従事するものと地域社会が、長期にわたり社会的、そして経済的に十分な便益を得られる状態を継続、あるいは高めるものであること。		
4.1		The communities within, or adjacent to, the forest management area should be given opportunities for employment, training, and other services.	4	
		森林管理区域内の地域社会、もしくは隣接する地域社会に、雇用、訓練そして他のサービスを受ける機会が与えられなければならない。		
4.1.1		Local and forest-dependent people have equal access to employment and training opportunities.		

		地元または森林に依存している人々には雇用や訓練の機会が等しく与えられなければならない。	
	RA	造林作業は、山梨県に登録されている県内業者が請負契約で行っている。その請負業者は59社(登録者数107)である。 山梨県森林総合研究所では毎年研修事業を実施している。2011年度は18回の研修が行われた。 Forestry operations are contracted to companies which are registered in Yamanashi prefecture. There are 58 companies (107 registered). Training sessions are made annually at the Yamanashi Forest Research Institute. In Fiscal Year 2011, there were 18 training sessions conducted.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.1.2		Appropriate to the size, type and location of the forest management enterprise, members of local communities are provided with access to basic services (e.g. health and education). All reasonable efforts, appropriate to the size, type and location of the forest management enterprise, are made to ensure that members of local communities have access to basic services (e.g. health and education).	
		森林管理主体の規模、種類、場所に相応な範囲で、地域社会の住民に健康や教育といった基本的なサービスを提供しなければならない。	
	RA	県民の森や森林文化の森で毎年ワークショップ等がある。またこのような森には遊歩道を設置、管理している。 Workshops, etc. are held every year in Kenmin-no-mori (citizen's forest) and the forest culture forest. Walk paths are established and managed at these forests.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.1.3		Workers are not discriminated in hiring, advancement, dismissal, remuneration and employment related social security	
		労働者は雇用、昇進、解雇に関する社会保障において差別されてはならない。	
	RA	請負業者へのインタビューで確認している限りでは差別は確認されなかった。 Discrimination has not been confirmed in interviews with commissioned companies.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.1.4		Wages or income of self-employed or contractors are at least as high as those in comparable occupations in the same region and in no case lower than the established minimum wage.	
		被雇用者または請負者の収入は同じ地域の同様の職業と比較して最低限同じでなければならない、また定められた最低賃金以下であってはならない。	
	RA	山梨県は自治体として法律を守る立場にあり、請負業者の収入は最低賃金以下ではなく、地域の標準的な収入である。請負業者への聞き取りでも確認された。 Because Yamanashi Prefecture is a government body, they are in the position of observing laws. Therefore income of subcontractors is not lower than the minimum wage and as high as standard income of the region. Confirmed in interviews with contractors.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.2		Forest management should meet or exceed all applicable laws and/or regulations covering health and safety of employees and their families.	3
		森林管理は、労働者やその家族の健康や安全に関する全ての関連法律や関連規則を満たさなければならない。	
4.2.1		Managers are familiar with relevant health and safety guidelines and regulations.	
		管理者は、該当する健康と安全規則を認識している。	
	RA	労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法などに従っている。 県職員は毎年FSCで求められる安全管理について研修を行っている。また日常的に林災防のパトロールへの同行をしている。 Complied with Labor standard law, Labor Safety and Sanitation Law, and Minimum Wage law. Every year the prefectures' employees conduct trainings on safety management required by FSC. Also, they accompany patrol by Rinsaihou (Forestry and Timber Manufacturing Safety & Health Association) on a daily basis.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.2.2		Managers have assessed the risk to workers of particular tasks and equipment, and take measures to reduce or eliminate such risks.	
		管理者は業務内容や使用する機器による従業員への危険度を査定し、それを軽減または除去するためにしかるべき処置を施している。	
	RA	<p>林災防がリスクアセスメントをテーマにした研修を行っている。取り組みは定着してきており、事業者は作業前にリスクアセスメントを実施している。</p> <p>一方、現地での事業者へのインタビューにより、刈払機の日あたり稼働時間や連続稼働時間が国の指針を超過している場合があることが伺われた。また前回審査以降に刈払機による労災適用事故が発生した。そこで刈払機による事故や振動障害の現状を調べ、請負業者へ注意喚起を促すことが推奨される。Rinsaibou (Forestry and Timber Manufacturing Safety & Health Association) offers a training program on risk assessment. Their efforts have been continued and entities that conduct forestry operation implement risk assessment before operation.</p> <p>However, it was noted from the on-site interview with the companies that there are cases where hours of brushcutter operation per day, or hours of continuous operation exceed the national guidelines. In addition, there has been a brushcutter accident since the last audit which is applicable to industrial injury. Thus, it is recommended to conduct surveys on brushcutter accidents and vibration hazard, and to warn the commissioned companies of these risks.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

観察事項
Obs2012.1

4.2.3		Safety training is carried out, relevant to the tasks of workers and the equipment used.	
		従業員の業務と使用する機器に見合った安全訓練が実行されている。	
	RA	<p>県森林総研で毎年研修事業を行っている。職員も参加できる研修もある。</p> <p>林業・木材製造業労働災害防止協会(林災防)による研修も行われている。</p> <p>これら研修の開催、参加記録はまとめられており、2011年度にも複数回実施されていた。</p> <p>Yamanashi Forest Research Institute is conducting training programs each year. There are some trainings in which the office staff can also participate in addition to forest workers.</p> <p>Trainings are also held by Rinsaibou (Forestry and Timber Manufacturing Safety & Health Association). The record of these trainings and the participation record are collected, and several trainings were conducted in 2011.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.2.4		Workers are provided with safety equipment, relevant to the tasks of workers and the equipment used.	
		従業員の業務と使用する機器に見合った安全装備が支給されている。	
	RA	<p>2012年1月24日に県森林総合研究所において林務職員と林業事業体を対象とした「労働災害の現状と対策」研修を実施した。2つの森林組合と10の林業事業体が参加した。昨年に引き続き、請負業者の安全装備使用状況を調査した。安全ズボンの装着率は昨年から11ポイント低下し、33%となった。イヤーマフについても昨年から8ポイント低下し、33%となった。国内法で既定されている安全装備は100%満たしているが、ILOに基づく安全装備の普及をさせるために、県として発注条件にどの程度ILOのガイドラインを入れ込めるのか現在検討している。ILOで求めている安全装備の普及が進まない原因のひとつは、急傾斜地や猛暑の中ではILOの求める装備が現実的に合わないという現状がある。そこで、まずはILOのガイドラインを参考にしながらも、林災防等や請負業者と協力しながら、山梨県としての最適な安全装備を規定するべきである。</p> <p>The training named "The current condition of labor accidents and countermeasures" was held on January 24th, 2012 in Yamanashi Forest Research Institute for forestry workers and forestry entities. 2 forestry associations and 10 forestry entities participated in it. Continuing from the previous year, a survey on the status of safety equipment usage in the commissioned companies was conducted. The rate of using safety trouser decreased by 11% from last year, resulting in 33%. The rate of using earmuffs also decreased by 8%, resulting in 33%. While the rate of using the safety equipments that are required by the domestic laws is 100% and satisfactory, to what extent ILO guidelines can be integrated into the prefecture's purchase conditions is currently under consideration. One of the reasons why the usage rate of safety equipments required by ILO does not improve is that they do not realistically match the work conditions in steep slopes or in extremely hot weather. Thus, firstly the optimum safety equipment guidelines of the prefecture should be stipulated in collaboration with Rinsaibou (Forestry and Timber Manufacturing Safety & Health Association) and the commissioned companies, etc, while using ILO guide</p>	×
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

条件
C2012.2

4.2.5		Managers take measures to ensure that workers use any safety equipment that is provided.	
		管理者は、従業員が支給された安全装備を確実に使用するよう対策を施している。	

	RA	現場の監督を行っているので、不備があれば指摘をしたり、責任者に注意をしたりする。 林災防とともにパトロールを行っている。 各林務環境事務所長を通じ、全請負業者を対象に「安全装備確認表」を基とした安全装備の装着状況調査を年に1度実施している。この結果をフィードバックし、請負業者へ指導をしている。 今後、事業者評価を行い、安全装備装着状況を評価に加えることも検討している。 Because prefecture staff supervise operations, they instruct workers and give caution to responsible persons if some inappropriate manner was observed. They patrol with Forestry and Timber Manufacturing Safety & Health Association.. They conduct survey to all contractors on the actual status of usage of safety equipment using the "safety equipment checklists" via chiefs of forest environmental offices. They reflect the results of the survey in their operation and give instructions to the commissioned companies. It is being considered to conduct an assessment of the commissioned companies, and to add the usage of safety equipment to the assessment	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.2.6		Managers implement an accident reporting system that includes all work related accidents and deaths of employees, their causes, corrective action taken to prevent similar accidents in future.	
		管理者は、仕事による従業員の事故と死亡、そしてその原因を記録し、将来において同様の事態を繰り返さないための予防処置を立て、それを実行している。	
	RA	平成23年度は県有林内で4件の労災適用事故が発生した。これらは県に事件等報告書で報告される。この中で原因特定、再発防止についても謳われている。重大な事故の場合は林災防から管内の業者に対して通知もされる。 In 2011, there have been 4 cases of accidents that are applicable to industrial injury. These accidents are reported in the accident report etc. to the prefecture. Determining of the cause and prevention of re-occurrence are written in this report. In case of grave accident, Rinsaihou (Forestry and Timber Manufacturing Safety & Health Association) notifies the commissioned companies within the jurisdiction.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.2.7		There is assured compensation benefits in case of accidents.	
		事故の場合は補償が出る。	
	RA	県の請負業者として登録されるためには労災加入は必須であるため、事故の場合は労災補償がおおり。 Companies are obliged to join the workers' compensation program to be registered as the prefecture's contractors. So Workers' accident compensation system will work.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.2.8		Health and safety measures comply with national minimum requirements.	
		全国的にみて安全衛生対策の最低限は守られている。	
	RA	守られている。 Complies.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.2.9		Where workers stay in camps, conditions for accommodation and nutrition comply at least with ILO Code of Practice on Safety and Health in Forestry	
		労働者がキャンプで生活している場合、居住環境や栄養状態は、ILOの林業における安全衛生の行動基準に最低限従わなければならない。	
	RA	該当しない。 Not applicable	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.2.10		Workers shall be provided with the time and opportunity for education and training. (NS Japan 2007 draft 8 4.2.6)	
		労働者の教育・訓練の場と機会を提供すること	

	RA	<p>県森林総研で毎年研修事業を行っている。職員も参加できる研修もある。 林業・木材製造業労働災害防止協会(林災防)による研修も行われている。 これら研修の開催、参加記録はまとめられており、2011年度にも複数回実施されていた。 Yamanashi Forest Research Institute is conducting training programs each year. There are some trainings in which the employees can also participate. Trainings are also held by Rinsaihou (Forestry and Timber Manufacturing Safety & Health Association). The record of these trainings and the participation record are collected, and several trainings were conducted in 2011.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.3		The rights of workers to organise and voluntarily negotiate with their employers shall be guaranteed as outlined in Conventions 87 and 98 of the International Labour Organisation (ILO).	3
		労働組合を組織し、雇用主との自発的な交渉を行う労働者の権利は、ILO条約第87、98で概説されているように、保証されなければならない。	
4.3.1		Employment conditions comply with International Labour Organisation convention 87 (see Annex 2) - This Convention relates to the rights of workers to: freedom of association and protection of the right to organise.	
		雇用状態はILO条約87(付録2参照)を順守している。この条約は従業員の結社の自由の権利と団結権の保護を求めるものである。	
	RA	<p>労働者の権利は国内法で定められており、遵守されている。 公務員の団体交渉権は法律で認められていない。 請負業者の団体交渉権行使の有無は確認していない。小規模事業者なので労働組合はないと思われる。 Worker's rights are required by law and protected. The right to bargain collectively of government workers is not permitted by law. The fact if workers of contracted companies enforce the right to bargain had not been confirmed. It seems workers unions are not formed because all contracted companies are small.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.3.2		Employment conditions comply with International Labour Organisation convention 98 (see Annex 2) - This Convention relates to the rights of workers to: organise and bargain collectively.	
		雇用状態はILO条約98(付録2参照)を順守している。この条約は従業員の団結権および団体交渉権を求めるものである。	
	RA	<p>労働者の権利は国内法で定められており、遵守されている。 公務員の団体交渉権は法律で認められていない。 請負業者の団体交渉権行使の有無は確認していない。小規模事業者なので労働組合はないと思われる。 Worker's rights are required by law and protected. The right to bargain collectively of government workers is not permitted by law. The fact if workers of contracted companies enforce the right to bargain had not been confirmed. It seems workers unions are not formed because all contracted companies are small.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.4		Management planning and operations shall incorporate the results of evaluations of social impact. Consultations shall be maintained with people and groups directly affected by management operations.	4
		管理計画や管理方法は、社会的な影響に関する評価結果に配慮がなされなければならない。森林管理により直接影響を受ける人々やグループとの協議は継続して行わなければならない。	

4.4.1		<p>There are systems in place that provide an evaluation of the social impact , appropriate to the size and intensity of their operations that:</p> <ul style="list-style-type: none"> - identifies affected groups - includes consultation with affected groups - identifies the main impacts of the operation on those groups - specifies measures to ameliorate identified negative impacts - provides for regular contact with affected groups to monitor effectiveness of measures. 	
		<p>管理者は森林管理の規模と集約度に即して、以下の項目を含めた社会的影響の評価を行っている：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 影響されるグループの特定 - そのグループとの協議 - そのグループに対する施業の主な影響の特定 - 悪影響を改善する手法の明確化 - 上記手法の効果を評価するための、そのグループへの定期的な連絡 	
	RA	<p>森林審議会、市町村、関係保護団体に聞き取りを行い、第2次管理計画を樹立した。このように管理計画樹立に伴う聞き取りは5年に一度行われている。また県という立場上様々な団体と毎年話し合う機会は豊富にある。</p> <p>The second-term management plan was developed after conducting hearings with the Forest Council, towns and municipalities, and relevant environmental organizations. Such hearing to develop the management plan is conducted once every 5 years. Also, there are plenty of opportunities for the prefecture to discuss with various organizations every year, due to its position.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.4.2		<p>Results of social impact evaluation are incorporated into management decisions.</p> <p>管理の意思決定には社会影響評価の結果が組み込まれる。</p>	
	RA	<p>関係者への聞き取りを行い、第2次管理計画を樹立した。</p> <p>The forest manager interviewed concerned parties before formulating the second prefectural forest operational plan.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.4.3		<p>Forest managers implement a system for ongoing consultation with local people and interest groups (both men and women).</p> <p>森林管理者は継続して地元の人々および関係ある団体(男性、女性とも)に聞き取りを行わなければならない。</p>	
	RA	<p>森林審議会、市町村、関係保護団体に聞き取りを行い、第2次管理計画を樹立した。このように管理計画樹立に伴う聞き取りは5年に一度行われている。また県という立場上様々な団体と毎年話し合う機会は豊富にある。聞き取り対象が特定の団体や性別に限定されることはない。</p> <p>The second-term management plan was developed after conducting hearings with the Forest Council, towns and municipalities, and relevant environmental organizations. Such hearing to develop the management plan is conducted once every 5 years. Also, there are plenty of opportunities for the prefecture to discuss with various organizations every year, due to its position. Consultation is not limited to certain groups or gender.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.5		<p>Appropriate mechanisms shall be employed for resolving grievances and for providing fair compensation in the case of loss or damage affecting the legal or customary rights, property, resources, or livelihoods of local peoples. Measures shall be taken to avoid such loss or damage.</p>	4
		<p>法的あるいは慣習的な権利、財産、資源、地域住民の所有する家畜などに対し損害を与えた場合における、苦情の処理及び公平な補償が行えるよう適切な方法が整備されていなければならない。このような損害を回避する手段がとられなければならない。</p>	
4.5.1		<p>Mechanisms for resolving grievances are documented and implemented.</p> <p>苦情を解決する適切なシステムは文書化され、実践されている。</p>	

	RA	口頭受理用紙で、口頭で受けた意見を正式に受け付けるシステムがある。 文書開示請求があれば条例に従い応じる。 クイックアンサー制度が2007年2月から始まり、県民からの質問や意見に対し1週間以内に回答する仕組みができています。 There is a system to accept oral opinion formally by using oral opinion acceptance sheet. If there is a requirement to make documents open, they will do so in accordance to the regulation. 'Quick Answer System' started from February 2007. Government staff answer to questions and opinions from citizens within one week.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.5.2		Mechanisms exist and are implemented for providing fair compensation to local people where their legal or customary rights, property, resources or livelihoods have been damaged.	
		地域の法的・習慣的権利、領地、資源または生計がダメージを受けた場合に、地域住民に公正な補償を行う適切なシステムが存在し、実践されている。	
	RA	必要なときは法律と県の仕組みに従って補償を行うことになっている。 If needed compensation will be made in accordance with the prefectural system and law.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.5.3		Inadvertent damage to indigenous and traditional resources on, or near, indigenous and traditional lands shall be compensated as agreed with the indigenous and traditional communities themselves.	
		先住民の、および伝統的な土地、またはその近くの土地に存在する資源に対して与えた回復できないダメージは、先住民または伝統的な地域社会が同意した方法により補償されなければならない。	
	RA	該当しない Not applicable	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

4.5.4		Mechanisms exist made to resolve conflicts through consultation aiming at achieving agreement or consent, avoiding damage to property, resources, rights, and livelihoods.	
		同意や承諾を得るため、また財産、資源、権利、生活へのダメージを避けるための、話し合いを通じた紛争解決の仕組みが存在する。	
	RA	必要なときは県の仕組みに従って補償を行うことになっている。県の仕組みではまず話し合いを行うこととなっている。 If needed compensation will be made in accordance with the prefectural system. Prefectural system is primarily focusing on resolving conflicts through consultation.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5		FSC PRINCIPLE # 5: BENEFITS FROM THE FOREST Forest management operations shall encourage the efficient use of the forest's multiple products and services to ensure economic viability and a wide range of environmental and social benefits.	3.4
		FSC原則#5：森林のもたらす便益 森林管理は、経済的な継続性と、環境や社会が享受しているさまざまな便益とを確保できるよう、森林から得られる多様な生産物やサービスの効果的な利用を促進するものであること。	
5.1		Forest management should strive toward economic viability, while taking into account the full environmental, social, and operational costs of production, and ensuring the investments necessary to maintain the ecological productivity of the forest.	3.5
		森林管理は、経済的に継続できるように努力されなければならない。またその一方で、生産にかかる全ての環境、社会そして管理費用に配慮するとともに、森林の生態系の生産性を維持するために必要な投資が確実に行われなければならない。	
5.1.1		There is a work plan and budget for the forest management enterprise showing expected costs and revenues for at least the current financial year.	
		少なくとも最近一年分の予想される収入と支出を示した森林管理主体の経営計画と予算がある。	

	RA	恩賜県有財産特別会計の予算書がある。 There is the budget for the special account of imperial-granted prefectural properties.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.1.2		The income predicted in the annual budget is consistent with the expected rate of harvest of forest products (see 5.6).	
		年間予算にて予想される収入は推定される森林産物の収穫と一致している（5.6参照）。	
	RA	一致している。 It is consistent.	
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		✓

5.1.3		The income predicted in the annual budget is consistent with product values comparable to regional or national norms,	
		年間予算にて予想される収入は、地域あるいは全国標準の材価と比較して妥当である。	
	RA	予算作成時の材価から計算している。 Calculated based on the current timber price	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.1.4		The annual budget incorporates stumpage, royalties or rents as required.	
		年間予算には立木価格、特許権使用料または賃貸料を組み込んでいる。	
	RA	貸地等の費用を組み込んでいる。 Costs such as ground rents are incorporated.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.1.5		The annual budget specifies any costs associated with implementation of the social and environmental commitments identified in Principles 4 and 6.	
		年間予算には原則4と6にある社会的、環境的配慮のための支出割当てが明確になっている。	
	RA	境界管理等保護管理費、林道災害復旧費、保護団体への交付金等の支出割当てが明確になっている。また文化の森管理費、獣害対策費用の支出割当ても明確である。 Baoundary protection and management fee, forest road disaster recovery fee, subsidies for tenure group, etc. they also clearly show the expenditure for administrating the forest culture forests and the expenditure for taking measures against animal damage.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.2		Forest management and marketing operations should encourage the optimal use and local processing of the forest's diversity of products.	3.5
		森林管理と林産物の流通は、森林がもたらす多様な生産物を最大限に活用するとともに、地域での生産物の加工を促すものでなければならない。	
5.2.1		Forest managers make a proportion of their production available to local enterprises, such as small-scale industries and processing operations. (see 5.4 below for related norms)	
		森林管理者はその産物の一定量を、小規模な工場や加工所などの地元の会社に、特にこれを阻む重要な理由がないかぎりにおいて提供する。（関連規準として以下の5.4を参照）	
	RA	立木販売の際には落札に参加できる業者は現在県内の業者のみである。 間伐材や一部丸太は県内市場で販売されている。 副産物は保護団体に提供されている。 When wood is sold as standing trees, only companies within Yamanashi Pref. can join the bidding. Thinned wood and a part of logs are sold at a local market. By-products are provided to tenure groups.	✓
	S1		
	S2		

	S3		
	S4		
5.3		Forest management should minimise waste associated with harvesting and on-site processing operations and avoid damage to other forest resources.	3
		森林管理は、伐採や現場での加工作業に伴う廃材を最小限に抑え、他の森林資源への損傷を避けるものでなければならない。	
5.3.1		There is no excessive damage to residual stands of trees during and after harvesting.	
		伐採中または伐採後に、残存木に過度なダメージを与えられていない。	
	RA	仕様書で求めている。請負業者が残存木に過度にダメージを与えたときには請負業者に買い取ってもらう場合もある。 現地でも問題は見られなかった。 Required in specifications. If a contractor causes severe damage to remaining trees, the contractor may have to buy the damaged trees. There was no problem on site.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.3.2		Timber is extracted and processed promptly after felling.	
		材木は伐倒のあとすぐに引き出され、加工されている。	
	RA	利用するものはすぐに引き出している。 Felled trees to be used are promptly carried out of the forest.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		✓

5.3.3		New on-site processing machinery is selected taking into account the need to minimise timber waste	
		新しい造材機は、廃材を最小限にする必要性を考慮して選択されている。	
	RA	落札業者により保有機械や作業システムは様々である。県からは入札条件に全幹集材を規定し、材の有効利用をするようにしている。 Forestry machines and operation systems differ among winning bidders. The prefecture stipulates tree-length logging as a bidding condition so as to promote effective use of timber.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.3.4		Efforts shall be made to add value to timber and other forest products. (NS Japan 2007 Draft 8 5.2.2)	
		木材や他の林産物の付加価値づけに努力していること	
	RA	現場でのインタビューでは全幹集材後の木材は、価値が高まるように太さ・曲がりを見ながら造材していた。これは仕様書にも規定している。 According to the workers interviewed at work sites, after conducting tree-length logging, they buck trees while judging the thickness and skew of trees so as to enhance the value of timber. This is specified in specification.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.3.5		During harvesting or transportation operations, forest ecosystems shall be maintained and soil fertility preserved through preserving forest floor plants and preventing soil damage. (NS Japan 2007 Draft 8 5.4.1)	
		伐採や運材作業において、林床植物の残存や土壌の攪乱防止など林内生態系の維持や土壌肥沃度の保持に配慮すること	
	RA	現場審査で確認をした限り、スイングヤード及びウィンチ集材作業地では林地のかく乱はなかった。皆伐地においても枝条残材は等高線上に並べるように仕様書に規定している。林地保全については立木販売の際の公売条件にも含まれている。 As far as the assessment team confirmed in the site inspection, the environment of yarding operation sites was not disturbed by Swing Yarder and Winch. It is also stipulated in the specification that the remaining branches should be laid in lines along with the contour lines. Protection of forest land is included in the conditions of public auction for sales of stand trees.	✓

	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.3.6		Waste material that cannot be used shall be left in the forest to ensure biodiversity and to prevent soil erosion, if necessary.NS Japan 2007 Draft 8 5.4.2	
		利用できない残材は、生物多様性の確保や土壌侵食防止上必要となる場合には作業現場に残しておくこと	
	RA	利用できない材は林地に残している。 Unusable timber is left in the forest.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.4		Forest management should strive to strengthen and diversify the local economy, avoiding dependence on a single forest product.	3.5
		森林管理は、地域経済の活性化と多様化に努め、特定の林産物だけに依存することを避けなければならない。	
5.4.1		Managers have information on the range of the forest's potential products and services, including 'lesser known' timber species, Non Timber Forest Products (NTFPs) and opportunities for forest recreation.	
		管理者は知名度の低い樹種、非木材林産物（NTFPs）、森林レクリエーション等を含めた、可能性のあるあらゆる製品やサービスについて情報を持っている。	
	RA	キノコ、ナナカマド、サカキ、タケ、その他林産物等を副産物として販売している。 すべての販売量は記録されている。 3つの森林公園、12箇所の森林文化の森がある。金川の森で一部施設使用料を徴収している。無料の体験ツアーも実施している。青木ヶ原樹海のエコツアーもある。 多くの登山客や観光客が訪れている。 富士山の森づくり事業では毎年1000人規模のボランティアを受け入れている。 Mushrooms, Japanese Rowan (Sorbus commixta), Cleyera japonica, bamboo and other forest products are sold as by-products. All the sales are recorded. The forest contains 3 forest parks, 12 cultural forests. In Kanegawa forest (Kanegawa-no-Mori), fee is partially charged for the use of the facility. There are also free experience tours, as well as eco-tours in Aokigahara Jukai (Aokigahara Sea of Trees). Many mountain climbers and tourists visit the forest. The Morizukuri Project (Forest Building Project) of Mount Fuji accepts about a thousand volunteers every year.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.4.2		Managers are aware of the role of these products and services in the local economy (whether as trade goods or for subsistence).	
		管理者はこれらの製品やサービスの地域経済での（商業上または生活上の）役割を認知している。	
	RA	キノコ、ナナカマド、サカキ、タケ、その他林産物等を副産物として販売している。 すべての販売量は記録されている。 3つの森林公園、12箇所の森林文化の森がある。金川の森で一部施設使用料を徴収している。無料の体験ツアーも実施している。青木ヶ原樹海のエコツアーもある。 多くの登山客や観光客が訪れている。 富士山の森づくり事業では毎年1000人規模のボランティアを受け入れている。 Mushrooms, Japanese Rowan (Sorbus commixta), Cleyera japonica, bamboo and other forest products are sold as by-products. All the sales are recorded. The forest contains 3 forest parks, 12 cultural forests. In Kanegawa forest (Kanegawa-no-Mori), fee is partially charged for the use of the facility. There are also free experience tours, as well as eco-tours in Aokigahara Jukai (Aokigahara Sea of Trees). Many mountain climbers and tourists visit the forest. The Morizukuri Project (Forest Building Project) of Mount Fuji accepts about a thousand volunteers every year.	✓
	S1		
	S2		
	S3		

	S4		
--	----	--	--

5.4.3		Managers have assessed the possibility of utilisation of forest services, lesser known species and NTFPs on their own account or by local enterprises.	
		管理者は自らまたは地域の企業による知名度の低い樹種や非木材林産物の利用の可能性について評価している。	
	RA	シラビソの梱包材を作っている業者がある。木工品を作るためにミズキを購入している業者もある。県有林内の広葉樹植栽の情報は把握しており、樹種ごと用途もまとめている。 There is a company which manufactures packaging materials made of Abies veitchii. There is also a company purchasing cornel for production of woodworks. The information of broad-leaf plantation within the prefectural forests is grasped, and the usage of respective tree species is documented.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.4.4		Managers encourage the utilisation of forest services, lesser known species and NTFPs by local enterprises where this does not jeopardise other management objectives.	
		管理者は地域の企業による知名度の低い樹種や非木材林産物の使用を、それが他の管理目標を危険に晒さない限り奨励している。	
	RA	県有林内に様々な広葉樹を植栽している。山菜などの副産物は保護責任のある地元へ払い下げられているが、他者に販売を拡大することは管理条例上難しい。 Many broadleaf trees are planted in prefectural forest. While by-products such as edible wild plants are sold to local communities with the responsibility of protection, it is difficult to expand the sales to others due to the limitations regarding the management regulations.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.5		Forest management operations shall recognise, maintain, and, where appropriate, enhance the value of forest services and resources such as watersheds and fisheries.	3.5
		森林施業は、森林のもたらす水資源や漁場などのサービス及び価値を認識し、維持し、必要に応じて高めていくものでなければならない。	
5.5.1		Forest managers have information on the down stream uses of water from the forest watershed. (see Criterion 6.5b for norms with respect to maintenance of water resources and fisheries)	
		森林管理者はその森林の流域の下流における水の使用状況の情報を有する。(水源と漁業の維持に配慮する規準として規準6.5bを参照)	
	RA	東京、神奈川、静岡の源流域であることを認識している。 下流に存在する漁協は把握している。 They are fully aware that Yamanashi is a headstream of Tokyo, Kanagawa and Shizuoka. The forest manager is familiar with fishery association operating in the river.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.5.2		Forest managers have information on the fisheries above, in and below the forest watershed. (see Criterion 6.5b for norms with respect to maintenance of water resources and fisheries)	
		森林管理者は漁業についてその森林の流域の上・中・下流での情報を有する。(水源と漁業の維持に配慮する規準として規準6.5bを参照)	
	RA	県の花き農水産課で内水面の漁業に関する情報は把握している。 The prefecture's Flower, Agriculture and Fishery Section grasps the information regarding inland fishery.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.5.3		Management plans and operations include maintenance and enhancement of watershed and fishery values identified.	
		森林計画と施業には特定された流域と漁業の価値の維持、向上が含まれている。	
	RA	管理計画の中で水資源の保護が目的のひとつとされ、実行されている。 Protection of water resources is one of the targets in the management plan, and is being implemented.	✓
	S1		

	S2		
	S3		
	S4		

5.5.4		Areas shall be opened to the general public for recreation and nature experience. NS Japan 2007 Draft 8 5.5.3	
		レクリエーションや自然体験の場として一般開放されていること	
	RA	県内に12の森林文化の森を設置している。県内に森林公園を3箇所設置している。その他富士山及び山麓のエコツアー等、非常に多くの自然体験の場を提供している。 The forest manager established 12 forest culture forests and 3 forest parks in the prefecture. In addition, they provide a great number of places to carry out nature experience programs including eco-tours to Mt. Fuji and the foot of the mountain.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.6		The rate of harvest of forest products shall not exceed levels which can be permanently sustained.	3.5
		林産物の収穫は、それが持続できなくなるレベルを越えて行われてはならない。	
5.6.1		The silvicultural system on which management is based is clearly stated.	
		管理の基礎たる施業システムは明確に示されている。	
	RA	第2次県有林管理計画を策定した。山梨県版システム収穫表を用いて優良材生産林・ヒノキの育林体系図を作成した。同収穫表は継続して精度を高めるよう、施業の際に樹高、直径、本数密度データを収集、反映している。 They formulated the second prefectural forest operational plan. They created systematic silvicultural charts for forests to produce high-quality hinoki timber based on the systematic yield table for Yamanashi Prefecture. In order to improve the accuracy of the yield table, they collect data of the tree height, diameter, and density when conducting forestry operation and reflect the data to the table.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.6.2		The expected level of harvesting on an annual basis, and in the long term (over more than one rotation) is clearly stated.	
		年間、そして長期（1伐期以上）の予想される収穫量のレベルは明確に示されている。	
	RA	第2次県有林管理計画において、保続総括表を作成し、今後50年間の収穫量が示されている。 The second prefectural forest operational plan includes a summary table for sustainable forest operation which shows expected yields over the next 50 years.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.6.3		The expected level of harvesting is clearly justified in terms of the permanently sustainable yield of the forest products on which the management plan is based.	
		永続的に維持できる林産物収穫という点において、管理計画の基礎となる予想される収穫量のレベルは明らかに正当である。	
	RA	第2次県有林管理計画では齢級別森林資源表において年間成長量が371,236m ³ と算出されている。今後10年間の計画収穫量は550,000m ³ (年間55,000m ³)であり、生産量は成長量を下回り永続的な収穫には問題ない。 The annual growth is calculated to be 371,236 m ³ in the forest resource table for respective age classes in the second prefectural forest operational plan. Because the planned yield for the next decade is 550,000 m ³ (55,000 m ³ /year), which is less than the growth volume, there is no problem with respect to the long-term harvest.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.6.4		All assumptions regarding regeneration, growth, abundance, quality and size distribution of the main commercial species are explicit, and in line with the best available data for the locality from relevant research and/or inventories.	
-------	--	---	--

		主要商業種の更新、成長、蓄積量、品質、サイズ分布等に関する提示条件は全て明確であり、地域での最も有効な調査・目録データと同様である。	
	RA	第2次県有林管理計画の年齢別森林資源表が4つの事業区ごとに作成されている。これは最新の森林簿のデータを基に作成している。県有林においては現在の森林簿には小班の測量データが入力されており、毎年更新しているため、正確である。 In the second prefectural forest operational plan, an age-class-specific forest resource table was created for each of the four subsections. The tables were created based on the data in the latest forest register. As for prefectural forests, the current forest register shows the survey data of small forest compartments. The data is accurate because it is updated every year.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

5.6.5		The expected level of harvesting in the long term does not exceed local or regional expectations of sustainable yield, taking into account any special silvicultural treatments that have been applied.	
		予想される長期の収穫量レベルは、これまで行われてきたいかなる特別な森林の取り扱いを考慮しても、地域の持続的な生産量を上回らない。	
	RA	成長量を上回る伐採はない。 The harvesting volume does not exceed growth volume.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6		PRINCIPLE #6: ENVIRONMENTAL IMPACT Forest management shall conserve biological diversity and its associated values, water resources, soils, and unique and fragile ecosystems and landscapes, and, by so doing, maintain the ecological functions and the integrity of the forest.	3.9
		FSC原則 #6：環境への影響 森林管理は、生物の多様性とそれに付随する価値、水資源、土壌、そしてかけがえのない、しかも壊れやすい生態系や景観を保全し、生態学的な機能や森林の健全さを維持するものであること。	
6.1		Assessment of environmental impacts shall be completed appropriate to the scale, intensity of forest management and the uniqueness of the affected resources and adequately integrated into management systems. Assessments shall include landscape level considerations as well as the impacts of on-site processing facilities. Environmental impacts shall be assessed prior to commencement of site-disturbing operations.	3.5
		環境へ与える影響の評価は、森林管理の規模や内容、影響を受ける資源の特異性に応じ徹底して行なわれなければならないとともに、管理システムの中に十分に組み込まれていなければならない。評価は、現場設置型（オンサイト）加工設備による影響から、景観レベルでの影響までを含めて、配慮なされなければならない。環境への影響は、作業開始前に評価されなければならない。	
6.1.1		A system is specified that ensures an assessment of environmental impact is made before commencement of any site-disturbing operations. The system: - is appropriate to the scale and intensity of the forest management - takes account of landscape level considerations - is appropriate to the uniqueness of the affected resources	
		林地を攪乱するいかなる作業が行われる前にも、適切な環境影響評価が行われるためのシステムが明記されている。そのシステムは、 - 森林管理の規模と強度にふさわしく、 - 景観レベルの配慮を行い、 - 影響を受ける資源の特殊性に見合うものである。	
	RA	環境影響評価要領を改定し、県有林環境調査要領として制定した。作業前に環境影響評価を行い、調査結果は県有林環境調査チェックシートとして記録している。 The environmental impact assessment guideline was revised, and then enacted as the YPF environment survey guideline. An environmental impact assessment is conducted prior to operations, and the survey results are recorded on the YPF environmental survey check sheet.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.1.2		There is a system to ensure that results of the assessment of impacts are taken account of in subsequent operations.	
		影響評価結果を将来施業へ反映するシステムがある。	

	RA	県有林環境調査の結果を施業に反映させている。今までに希少植物を発見して移植したことがある。 The results of YPF environmental survey have been incorporated into the operations. In the past there was a case when a rare plant was found and re-planted to other place.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2a		Safeguards shall exist which protect rare, threatened and endangered species and their habitats (e.g., nesting and feeding areas).	4
		希少種、危急種、絶滅危惧種及びその生息地（例えば、営巣地や採餌場など）を保護する手段がとられなければならない。	
6.2.1		The likely presence of rare, threatened and endangered species and their habitats (e.g. nesting and feeding areas) has been assessed on the basis of the best available information.	
		最も有効な情報に基づき、希少種、危急種、絶滅危惧種及びその生息域（例えば、営巣地や採餌場など）の存在の可能性が評価されている。	
	RA	2005年に山梨県レッドデータブックを作成。大きなメッシュで生息地を示している。 Yamanashi Prefecture Red Data Book was made in 2005. Habitats are indicated in larger mesh.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2.2		Areas containing or likely to contain such species or are identified and marked on maps.	
		貴重種がいる、またはいる可能性がある場所を特定し、地図化している。	
	RA	建設中の中部横断自動車道の県有林内を通るルートにおいて希少種が発見された。これは同等環境に移植をして活着状況を見ている。平成26年度から新しいGISを導入する予定であり、今後その中で地図化する。 A rare species was found in a route in the prefectural forest of Chubu Transversal Expressway which is now under construction. They replanted the rare species in the similar environment and have seen if the plants can take roots or not. They are going to install a new GIS from fiscal year 2014. They will map the species in the new GIS.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2.3		Procedures are documented and implemented to safeguard such species and their habitats.	
		貴重種とその生息域を保全するための効果的な方法が文書化され実践されている。	
	RA	環境影響評価要領を改定し、県有林環境調査要領として制定した。作業前に環境影響評価を行い、調査結果は県有林環境調査チェックシートとして記録している。請負業者に対しては希少種の研修を行っている。 The environmental impact assessment guideline was revised, and then enacted as the YPF environment survey guideline. An environmental impact assessment is conducted prior to operations, and the survey results are recorded on the YPF environmental survey check sheet. They provide training on rare species for the commissioned companies.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2b		Conservation zones and protection areas shall be established, appropriate to the scale and intensity of forest management and the uniqueness of the affected resources.	4.5
		保全区域及び自然保護区は、森林管理の規模や内容、影響を受ける資源の特異性に応じて設置されなければならない。	
6.2.4		Areas of special regional importance for biodiversity are identified on maps, and protected from harvesting and other site disturbance.	
		生物多様性について地域的に特に重要な場所は地図に明記され、収穫や他の林地の攪乱から守られている。	
	RA	自然環境保全図にまとめられている。 自然公園一覧、自然環境保全地区、自然記念物が載っている。 管内図にも記載されている。 They are identified on Natural Environment Conservation Map. Natural parks, natural environment conservation area, and natural monuments are mapped. They are also indicated in other forest maps.	✓
	S1		
	S2		

	S3		
	S4		

6.2.5		At least 10% of the forest area is designated as a conservation zone, identified on maps, and managed with biodiversity as a major objective.	
		少なくとも森林の10%は保全地帯とされ、地図に明記され、生物多様性を主要な目的として管理される。	
	RA	管理計画P44。第2次管理計画では、公益林の面積は104,854ha(73.3%)となっている。公益林は自然林の維持を主目的として管理される。 Management Plan p44. Public interest forest is 104,854 ha (73.3%) in the Second Management Plan. Public interest forest is managed to maintain natural forest as a main objective.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2.6		At least half of this area (i.e. 5% of the total forest area) is designated as a protected area, identified on maps, and is fully protected from commercial harvesting.	
		少なくともこの区域の半分（つまり、全森林の5%）は保護区とされ、地図に明記され、全ての商業的な収穫から保護される。	
	RA	厳正保存地域(19,000ha、約13.3%)が該当する。これは公益林に含まれる。 Strictly-protected area (19,000ha, approx.13.3%). It is included in public interest forest.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2.7		Selection of conservation zones and protected areas is justified in terms of their potential to maximise their contribution to the maintenance or enhancement of biodiversity	
		保全地帯と保護区の選定は、生物多様性の維持と向上への貢献を最大限にする可能性という点において正当である。	
	RA	多様な生態系を含む。 Includes diverse ecosystems.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2.8		The protected area includes examples of all existing ecosystems within the forest area.	
		保護区は森林に存在する全ての生態系の代表例を含む。	
	RA	山梨県全土の標高の低い地域から高い地域まで含んでいる。 Includes low, middle and high altitude area in whole Yamanashi prefecture	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2.9		The movement of key plant and animal species between reserved and harvested areas is encouraged by retaining corridors of uncut forest based on streamsid es with links up slopes and across ridges to connecting any large patches of forest which will not be harvested.	
		主要な生物種の保護区と施業区間の移動は、非伐採林地のコリドーの維持により促進されている。コリドーは溪流沿いに形成され、斜面から尾根を越えて伐採の対象とならない大きな林分に連絡している。	
	RA	バッファゾーンや保全地帯、保護区の繋がりがコリドーとして機能する。 Network of buffer zone, conservation area and protected area is work as corridors.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2c		Inappropriate hunting, fishing, trapping and collecting shall be controlled.	4
		不適切な狩猟、釣り、仕掛け罠、採集は取り締まらなければならない。	
6.2.10		Systems for controlling hunting, fishing, trapping and collecting of animals or plants are documented.	
		狩猟、漁業、罠猟、採集等の管理システムは文書化されている。	

	RA	山岳レンジャー、富士山レンジャー、巡視などで監視している。 森づくり推進課で狩猟を管理。鳥獣保護区が指定されている。パトロールも行っている。 漁業は花き農水産課で管理。水産技術センターもある。 Monitored by mountain rangers, Mount Fuji rangers and patrols. Hunting is controlled by Forest Development Promotion Section. Wildlife reserve is designated. Patrol is conducted. Fishery is managed by Flower, Agriculture and Fishery Section. There is a Fishery Technical Centre.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.2.11		Systems are in place to prevent hunting or trapping of protected species. あらゆる手法を活用し保護対象種の狩猟や罠猟を防止する。	
	RA	山岳レンジャー、富士山レンジャー、巡視などで監視している。 みどり自然課で狩猟を管理。鳥獣保護区が指定されている。パトロールも行っている。 漁業は花き農水産課で管理。水産技術センターもある。 Monitored by mountain rangers, Mount Fuji rangers and patrols. Hunting is controlled by Green Nature Section. Wildlife reserve is designated. Patrol is conducted. Fishery is managed by Flower, Agriculture and Fishery Section. There is a Fishery Technical Centre.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.3		Ecological functions and values shall be maintained intact, enhanced, or restored, including: a) Forest regeneration and succession. b) Genetic, species, and ecosystem diversity. c) Natural cycles that affect the productivity of the forest ecosystem.	3.5
		生態的機能や価値は、以下に記載するものを含め、現状が維持されるとともに高められ、あるいは復元されなければならない。 a) 森林の更新及び遷移 b) 遺伝的、樹種、及び生態系の多様性 c) 森林生態系の生産性に影響を与える自然循環	

6.3.1		The silvicultural system adopted is appropriate to the ecology of the forest. 採用されている施業システムは森林生態に対し適切である。	
	RA	計画書p67に森林区分別の施業方針が規定されている。資源循環林においても森林生態に配慮した施業指針が示されている。 The operation guideline for respective forest districts is stipulated in the page 67 of the Plan. Also the operation guideline is given for the resource circulation forests which takes into consideration of the forest habitat.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.3.2		Systems that use small clearfell areas, selective felling and create varied age class have been considered. 小さな皆伐区や択伐を用い、多齢層の林分構造へ誘導するシステムが検討されている。	
	RA	第2次県有林管理計画では10haの皆伐面積の上限としている。しかし実際の皆伐面積は概ね5ha以下である。針広混交林化する林分については皆伐面積の上限を2haとした。 The regulation of "less than 10 ha" is also stipulated in the second prefectural forest operational plan. However, in most cases, the area of clear cutting is less than 5 ha. The plan also stipulates that the clear-cutting area shall be less than 2 ha with respect to the forests to be converted to mixed forests of coniferous and broadleaf trees.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.3.3		Forestry operations must, if appropriate to the silvicultural system, aim for a mixture of compartments differing in size, shape, species, and date of planting and felling, in harmony with the landscape.	
		施業システムに対し適合すれば、林分規模、形、種構成、そして新植と伐採の時期などが異なった区画の混和を、景観との調和を保ちながら目指さなければならない。	

	RA	管理計画p282「ランドスケープ管理の概念」での管理について言及した。厳正保全地域に隣接する施業予定地では、緩衝帯を設ける等施業指針に従い施業を行う。図面とリストを準備している。 Landscape level management is mentioned in the management plan p282 'Landscape management'. Operations are conducted in accordance with the operational policy, e.g. buffer zone should be set in operational area adjacent to strictly-protected area. There is maps and lists.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.3.4		The scale of felling (e.g. coupe size) is commensurate with the natural dynamics of the forest type and the area under consideration (unless clearly justified silvicultural reasons are given).	
		伐区の規模は、その地域や林型のもつ自然の動的条件と合致している。（林学的に明快な理由がない場合）	
	RA	第2次県有林管理計画では10haの皆伐面積の上限としている。しかし実際の皆伐面積は概ね5ha以下である。針広混交林化する林分については皆伐面積の上限を2haとした。 The regulation of "less than 10 ha" is also stipulated in the second prefectural forest operational plan. However, in most cases, the area of clear cutting is less than 5 ha. The plan also stipulates that the clear-cutting area shall be less than 2 ha with respect to the forests to be converted to mixed forests of coniferous and broadleaf trees.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.3.5		Management of the forest area as a whole is designed to ensure that the full complement of naturally occurring tree species regenerates successfully in the forest area over the duration of the rotation.	
		森林管理区域は、全体として森林内の全ての樹種が伐期を通じて更新するよう設定されている。	
	RA	積極的に皆伐を行いながら更新をしている。 Regeneration is promoted by proactively conducting clear-cutting.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.3.6		Selective felling and thinning regimes are designed to maintain genotypic diversity.	
		択伐や間伐の方法は、遺伝子型の多様性を保つよう設定されている。	
	RA	特殊な樹種のみ収穫するような択伐・間伐は行っていない。苗木需給調整会議があり、山梨県種苗生産組合、森林組合の2系統から苗木を供給している。種子は県内産。 The forest manager is not thinning or harvesting any specific species. They hold meetings to adjust the demand and supply of nursery trees. Two strains of nursery trees are supplied from Yamanashi Prefecture Seeds and Seedlings Productive Cooperation and forestry associations. They use seeds produced in the prefecture.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.3.7		Biodiversity is routinely maintained by the retention of marginal habitats e.g. streamside vegetation, vegetation on rocky outcrops, swamps and heaths.	
		生物多様性は河川・溪流沿いの植物や岩角地、沼地、荒地の植物など、脆弱で微妙な生息地の保護によって常に維持されている。	
	RA	河川沿いは保護地帯とされる。 その他貴重な生態系の場所は保護されている。 Areas along watercourses are designated as protected area. Other areas of rare ecosystems are protected.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.3.8		Standing and fallen dead wood habitats are retained.	
		倒木・枯損木などの動物生息地は、その地域の自然状況に応じて保たれる。	
	RA	保護地域では倒木・枯損木は残されている。 Fallen and dead trees are retained in protected area.	✓
	S1		

	S2		
	S3		
	S4		

6.4		Representative samples of existing ecosystems within the landscape shall be protected in their natural state and recorded on maps, appropriate to the scale and intensity of operations and the uniqueness of the affected resources.	4.5
		その景観に含まれる現存の代表的な生態系は、森林管理の規模や内容、影響を受ける資源の特異性に応じ、自然のままの状態で保全されるとともに、地図上に示されなければならない。	
6.4.1		Representative samples of existing ecosystems within the landscape shall be protected in their natural state and recorded on maps, appropriate to the scale and intensity of operations and the uniqueness of the affected resources. (See also 6.2.8)	
		その景観に含まれる現存の代表的な生態系は、森林管理の規模や内容、影響を受ける資源の特異性に応じ、自然のままの状態で保全されるとともに、地図上に示されなければならない。(6.2.8も参照)	
	RA	自然環境保全図にまとめられている。 自然公園一覧、自然環境保全地区、自然記念物が載っている。 管内図にも記載されている。 They are identified on Natural Environment Conservation Map. Natural parks, natural environment conservation area, and natural monuments are mapped. They are also indicated in other forest maps.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5a		Written guidelines shall be prepared and implemented to: control erosion; minimise damage during road construction, and all other mechanical disturbances;	4
		侵蝕の抑制、林道建設、そして他の全ての機械による被害を最小限のものとするガイドラインが文書化され、実行されなければならない。	
6.5.1		There is written guidance or policies and procedures for new road building, road maintenance and other mechanical disturbance.	
		新しい林道の建設と改修には文書化された方針と手順がある。	
	RA	林道規定、森林作業道規定が作成されている。 They have set regulations on forest roads and forest work roads.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5.2		Guidance, Policies and procedures include the following norms for the design and building of new roads: - New roads are planned in advance on topographical maps showing existing streams - Roads are fitted to the topography so that a minimum of alterations to the natural features will occur - Wherever possible roads are located on natural benches, ridges and flatter slopes - Road construction in steep, narrow valleys, slip-prone or other unstable areas, natural drainage channels and streambanks is minimised - Roads are not be aligned through environmentally sensitive areas - Embankments and cuttings are stabilised to resist erosion - Drains and culverts are designed to minimise erosion	
		新しい林道の設計と建設に関する方針と手順には、次の事項が含まれている: - 河川溪流が明記された地形図を使い、前もって新しい林道を計画する。 - 林道は地形に合わせて自然の改変を最小限に抑える。 - できる限りにおいて、林道は平坦地や緩斜面に設定する。 ・ 傾斜の強い狭い谷や滑りやすい不安定な地形、自然の排水路や溪流沿いの地域での林道建設を最小限にする。 - 環境的に脆弱な地域には林道を設定しない。 - 盛土や法面は浸食を防ぐよう安定させる。 - 排水溝や暗渠は浸食を最小限にするよう設定する	

RA	<p>林道規定に従っている。</p> <p>簡易作業路についてはこれまで縦断勾配の規定がなかったが、平成23年度より運用を開始した新たな森林作業道作設指針では、縦断勾配を最大14度と定め、現在開設している路線は、この基準に従っている。なお、既設の作業道においても急勾配箇所は必要に応じ追加で排水処理の改修を行っている。今回の現場審査で確認をした限りでは搬出路に適切に排水処理を施していた。</p> <p>Follow the forest road regulations</p> <p>Until recently there was no rules regarding longitudinal gradient for simple work road. But the new guideline for the construction of forest work road, which has been in operation since 2011, limits the maximum longitudinal gradient to be 14 degrees. The road lines currently under construction comply this standard. For the existing work roads, additional renovation of wastewater drainage is conducted where necessary in the areas of steep slope. As far as it was checked during the on-site inspection of this audit, wastewater was properly disposed out to the discharge route</p>	✓
S1		
S2		
S3		
S4		

6.5.3	<p>Machinery operators receive adequate training and are aware of the requirements with respect to prevention of erosion.</p> <p>機械操作者は十分な訓練を受け土壌侵食の保護に関する要求事項を理解している。</p>	
RA	<p>請負業者が林道を建設する。資格を保有している。</p> <p>安全衛生面や計画通り実施しているかどうかの研修、また現地確認を行っている。</p> <p>設計・監督は県で行い、それに沿って業者が施工する。県では施工後の検査も行っている。</p> <p>Qualified subcontractors construct forest roads.</p> <p>Training on health and safety and for implementing plans are held, and confirmed on site.</p> <p>The prefecture designs roads and supervise subcontractors, and subcontractors build the roads as designed. In addition, the prefecture carries out inspections after construction.</p>	✓
S1		
S2		
S3		
S4		

6.5b	<p>Written guidelines shall be prepared and implemented to: protect water resources.</p> <p>水資源の保全のためのガイドラインが文書化され、実行されなければならない。</p>	4
------	---	---

6.5.4	<p>Policies and procedures for the design and building of new roads include the following norms with respect to protection of water resources, which are implemented:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Stream crossings are planned before operations begin and shown on relevant maps - The number of stream crossings is minimised - Stream crossings are at right angles to the stream - Valley bottom roads and tracks are kept as far back from the stream as possible - Culverts are designed so they do not obstruct the migration of fish, create fast water velocities or stream beds unsuitable for fish - Drains do not drain into natural watercourses. Where this is unavoidable, regularly emptied silt traps are installed. 	
	<p>新しい林道の設計と建設に関する方針と手順には、水資源の保護に関する次の事項が含まれ、順守実践されている:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 河川・溪流との交差は作業前に計画され地図に明記される。 - 河川・溪流との交差は最小限に抑える。 - 河川・溪流に対して直角に交差する。 - 谷間の林道と小道は、河川・溪流からできるだけ離れている。 - 魚の移動を妨げず、魚に不適当な河床や速い流れを形成しないような水路を設定する。 <p>排水は自然の河川・溪流に直接流れこまない。これが適用不可能であれば、定期的に採泥される沈砂池を設置する。</p>	
RA	<p>全国統一の林道技術基準に従っており、この中に幅広く含まれている。現地では問題となるような林道、作業道は観察されなかった。</p> <p>The prefectural forest complies with the nationally unified technological standard of forest roads, which widely covers these norms. During the on-site inspection, no problematic forest roads or work roads were observed.</p>	✓
S1		
S2		
S3		
S4		

6.5.5	<p>New roads are not constructed in streambeds. Existing roads in streambeds are closed and replacements are constructed.</p> <p>新しい林道は河床に建設されていない。河床にすでに作られた林道は閉鎖され、代わりが建設される。</p>	
RA	<p>河床に建設された林道は見られなかった。</p> <p>There was no forest road observed constructed in streambeds.</p>	✓
S1		

	S2		
	S3		
	S4		

6.5.6		Buffer zones in which harvesting does not take place are established around all permanent watercourses.	
		収穫を行わない緩衝地帯を全ての恒常的な河川・溪流沿いに作っている。	
	RA	尾根、溪流・沢筋沿いには保護樹帯を片側概ね25m設け保護することとしている。特に優先すべき場所を指定し、図面とリストにしている。 It is planned to establish about 25m of buffer zones in each side of areas along ridges, rivers and watercourses. Prioritised area is designated, and those areas are mapped and listed. Same as above.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5.7		There is no evidence of siltation or other damage to water sources.	
		沈泥などの水資源への影響は見られない。	
	RA	見られなかった。 Not observed.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5c		6.5c Written guidelines shall be prepared and implemented to: minimise forest damage during harvesting,	4
		伐採時の森林損傷を最小限化するガイドラインが文書化され、実行されなければならない。	

6.5.8		There are written policies and procedures to minimise forest damage during harvesting and extraction.	
		収穫と搬出の際の森林へのダメージを最小限に抑える方針と手順が明記されている。	
	RA	仕様書に基づいて行っている。また公売条件にも含めている。必要に応じて作業道に碎石を敷いている。 The operation is conducted according to the specifications. These are also included in the conditions of public auction. When necessary, crushed-stone is laid out on the work roads.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5.9		Policies and procedures include the following norms, which are implemented: - Protected areas are physically demarcated, at least temporarily, before any forest operations start on near by land - Harvesting machinery must not enter streams except at designated and designed stream crossings - Lop and top shall not be pushed into streams - Extraction is stopped when soils are saturated - The use of brash mats is specified, where appropriate	
6.5.9		方針と手順には次の事項が含まれ、実践されている： 保護区には、その近隣で森林作業が始まる前に、少なくとも一時的に、物理的な線引きがなされる。 - 収穫機械は、決められた渡り場以外で河川・溪流に進入してはならない。 - 小枝と端材は河川・溪流に入れてはならない。 - 土壌が流れ出したら搬出は中止する。 - 枝葉チップ敷きは適切な場で行う。	
	RA	場所に応じて仕様書を定めている。現場では問題がなかった。検査のときに河川の中に枝葉があったら上げさせる。 Specifications are made for each operation. There was no problem on site. If branches and leaves are found during inspection, workers shall pick up them.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5.10		Harvesting techniques are designed to minimise erosion and run off.	
		収穫技術は浸食や土砂崩壊を最低限に抑えるようになっている。	

	RA	仕様書で求めている。 現地でも問題は見られなかった。 事前に成熟林調査を行い、土砂崩壊の恐れがあるところは皆伐を行わない運用としている。 Required in specifications. There was no problem on site. Based on the results of a matured forest survey that will be conducted prior to harvesting, clear cutting will not be conducted in the sites where there is a risk of mudslide.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5.11		Harvesting and extraction methods are designed to minimise damage to residual trees and regeneration.	
		収穫と搬出の方法は、残存木と更新苗へのダメージを最低限に抑えるようになっている。	
	RA	仕様書で求めている。 現地でも問題は見られなかった。 Required in specifications. There was no problem on site.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5.12		New harvesting and extraction machinery is selected taking into account the need to minimise damage to soils, residual trees and regeneration.	
		土壌や残存木、更新苗へのダメージを最小限に抑える収穫・搬出機械が選ばれている。	
	RA	落札業者により保有機械や作業システムは様々である。県からは入札条件に全幹集材を規定し、材の有効利用をするようにしている。 Forestry machines and operation systems differ among winning bidders. The prefecture stipulates tree-length logging as a bidding condition so as to promote effective use of timber.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.5.13		Workers receive appropriate training in harvesting and extraction methods.	
		従業員は適切な収穫と搬出方法の訓練を受けている。	
	RA	後継者育成、技術向上の研修を県森林総研で実施している。インタビューで、有資格者が作業にあたり、後継者育成、技術向上の研修を県森林総研で実施している。インタビューで、有資格者が作業にあたり、後継者育成、技術向上の研修を県森林総研で実施している。インタビューで、有資格者が作業にあたり、後継者育成、技術向上の研修を県森林総研で実施している。 Training on new workers and technic improvement is held by Yamanashi Forest Research Institute. It was confirmed in the interview that only qualified workers conduct operation.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6a		Management systems shall promote the development and adoption of environmentally friendly non-chemical methods of pest management and strive to avoid the use of chemical pesticides.	3
		管理システムは、環境に配慮した非化学的な病虫害への対処方法を開発し取り入れていくとともに、化学的農薬の使用を避けるよう努めなければならない。	
6.6.1		Documented pest, disease and weed control strategies are available.	
		害虫、樹病、雑草に対する文書化された管理戦略がある。	
	RA	「県有林施業における農薬使用要領」を定めている。 マツクイムシ対策、忌避剤(ヤシマレント)、除草剤(ラウンドアップ)等 シラベの虫害に対しては薬剤は使用していない。 山梨県で2012年3月に第2期山梨県特定鳥獣(ニホンジカ)保護管理計画を策定し、その中で推定された生息数に対し、毎年度調整計画数を定め、捕獲等を実施している。昨年度は計画通り、1万4千頭程度捕獲した。県で調整計画を作成するにあたり、近隣都県との協議会での話し合い結果や、環境省主導の広域的な管理計画を考慮している。 また森林総合研究所において、県有林内の生息密度調査を実施しており、2011年に密度分布図を作成した。推定頭数には1万3千頭程度から6万頭程度までと幅があるため、今年度からニホンジカ影響確認調査を実施し、推定数の精度を上げていくこととなった。 またシカの林業被害の増加を懸念し、県議会内に検討会が設けられ、独自の政策提案を行なうべく、現地調査が始まった。	✓

	<p>‘Procedure on use of agricultural chemicals in the prefectural forest’ is made. It includes measures to pine wilt disease, repellent (such as Yashima-Rent), and herbicide (such as Roundup).</p> <p>No chemical is used for insect damage to Shirabe (<i>Abies veitchii</i>).</p> <p>The second plan for protection and management of specified wildlife (Sika Deer (<i>Cervus nippon</i>)) of Yamanashi prefecture was created in March 2012. Each fiscal year, the planned adjustment number against the population estimated in the above plan is decided, and capture is implemented. Last year, approximately 14,000 deer were captured in accordance with the plan. To develop the adjustment plan, the prefecture is taking consideration of the result of consultation with neighboring prefectures in consultative meetings as well as the larger-area management plan led by Environment Ministry. Also at the Forest Research Institute, the habitat density survey is conducted within the prefectural forests and the density distribution map was created in 2011. The estimated population ranges widely from 13,000 to 60,000. Thus it was decided to conduct the survey to check the impact of Sika Deer starting this year.</p>	
	S1	
	S2	
	S3	
	S4	

6.6.2	<p>6.6.2 Procedures are in place to record all use of synthetic chemicals by the forest management enterprise</p> <p>Records of chemical use include:</p> <p>a) Name of the product</p> <p>b) Location of the site treated;</p> <p>c) Area of the site treated;</p> <p>d) Method of application;</p> <p>e) Date chemical use started;</p> <p>f) Date chemical use finished;</p> <p>g) Total quantity of the chemical used;</p>	
6.6.2	<p>森林管理主体によるすべての合成化学薬品の使用を記録するための手順が整備されている。化学薬品使用記録は以下を含む：</p> <p>a)製品名</p> <p>b)散布された場所の位置</p> <p>c)散布された場所の面積</p> <p>d)散布の方法</p> <p>e)化学薬品使用の始まった日時</p> <p>f)使用の終了した日時</p> <p>g)合計使用量</p>	
	<p><i>Note to auditors: record quantity of all chemicals used in the past year together with justification of use.</i></p>	
	<p>RA 忌避剤 コニファー(ジラム水和剤)、ヤシマレント(チウラム塗布剤)</p> <p>除草剤 ラウンドアップ(グリホサートイソプロピルアミン塩液剤) マツクイムシ防除薬剤 ヤシマNCSを使用。 使用量などはすべて記録されている。 Following chemicals are used and records are kept.</p> <p>Repellent Conifer (hydrated ziram), Yashima Rent (Thiuram embrocation)</p> <p>Herbicide Roundup (glyphosate-isopropylammonium liquid)</p> <p>Chemical for pine wilt disease Yashima NCS</p>	✓
	S1	
	S2	
	S3	
	S4	

6.6.3	<p>Chemicals are only used when absolutely necessary to achieve defined management aims.</p> <p>化学薬品は、定められた管理目標を達成するために必要な場合にのみ使用される。</p>	
	<p>RA 使用について検討を行い、必要な場合にのみ使用する。 Use of chemical is considered, and used only when necessary.</p>	✓
	S1	
	S2	
	S3	
	S4	

6.6.4		Synthetic chemicals are only used where there is no known non-chemical alternative not entailing excessive cost.	
		合成化学薬品は、他に非常に高価でない非化学薬品の代替物がない場合にのみ使用される。	
	RA	「県有林施業における農薬使用要領」を定めている。極力化学薬品の使用を避ける手順である。 Procedure on use of agricultural chemicals in the prefectural forest' is made. The procedure is to avoid use of chemicals as much as possible.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6.5		A procedure is in place to record the most appropriate non-chemical alternative that was considered and rejected prior to use of the synthetic chemical, together with the justification for use of the chemical rather than the non-chemical alternative.	
		合成化学薬品の使用の前に考慮され、却下された、最適な非化学薬品の代替物を記録し、同時に非化学薬品の代替物ではなく化学薬品を使用することの正当な理由を記録するための、手順が整備されている。	
	RA	「県有林施業における農薬使用要領」を定めている。極力化学薬品の使用を避ける手順である。 Procedure on use of agricultural chemicals in the prefectural forest' is made. The procedure is to avoid use of chemicals as much as possible.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6.6		Chemicals are used only in minimum effective quantities, with strict observation of controls and regulations.	
		薬品は最小有効量しか使用されず、その管理と規則についてはきびしく監視される。	
	RA	同上。シカ柵や防除バンドなどの物理的防除方法も併用している。 Same as above. Physical pest control means, such as deer fences and bands to prevent decortication, are also used.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6b		World Health Organisation Type 1A and 1B and chlorinated hydrocarbon pesticides; pesticides that are persistent, toxic or whose derivatives remain biologically active and accumulate in the food chain beyond their intended use; as well as any pesticides banned by international agreement, shall be prohibited.	3
		世界保健機構で規定されているタイプ1A、1B及び塩素系炭化水素農薬(chlorinated hydrocarbon pesticides)、残留性が高く有毒であるとともに、その誘導物質(derivatives)が生物的に活性化し続け使用目的をはるかに超えて食物連鎖の過程で蓄積する農薬、国際条約により禁止されている農薬は、使用が禁止されなければならない。	

6.6.7		The use or storage of these chemicals on certified units is prohibited.	
		認証林地においてこれらの化学薬品を使用または保存することを禁止する。	
	RA	マツ枯れの倒木をの処理のためFSCが使用を禁止しているフェニトロチオン(MEP)が含まれているヤシマパークサイドF油剤を緊急使用した。使用してから30日以内にFSCに使用の理由の報告はされなかった。しかし現在は使用していない。「県有林施業における農薬使用要領」の中で該当薬品は使用を禁止しているが、マツ枯れ木処理のために緊急的に使用された。今回FSC禁止薬品を使用した林務環境事務所では「県有林施業における農薬使用要領」の認識が完全でなく、県有林課との協議をせずに緊急のためということでFSC禁止薬品が使用された。県有林課では再発防止のために各林務環境事務所に対して、県有林施業における農薬使用要領徹底の通知を発行するとともに、今回禁止薬品使用があった林業事務所には直接指導を行った。適切な対応がとられたため条件を解除する。 Yashimabirkside F oil agent, agrochemical which contains Fenitrothion (MEP) whose usage is prohibited by FSC, was used as an emergency measure in order to handle the fallen trees of dried pines. The reason for using the chemical was not reported to FSC within 30 days of usage. Meanwhile the chemical not is currently used. This chemical is prohibited under "The Guidelines of Using Pesticides for Operation in the Prefectural Forests", but it was used for handling the dried pine trees in an emergency manner. It is necessary to conduct educational trainings to the prefecture's employees and the commissioned companies to raise enough awareness so that the FSC-banned chemicals are not used from now on. The forest environmental office which used the FSC-banned chemical was not thoroughly aware of "The Since appropriate measures were taken, the condition is closed.	✓
	S1		
	S2		

	S3		
	S4		

6.6.8		The use or storage of seed and seedling dressings based on mercurial, organophosphate and organochlorine compounds (including Gamma HCH, Lindane and BHC), or other long-lasting chemicals which can accumulate in food chains or the ecosystem is prohibited.	
		種・苗木に以下の化学薬品を使用または保存することを禁止する：水銀系、有機リン系、有機塩素系化合物（Gamma HCH, Lindane, BHCを含む）、または他の長期的に残存し食物連鎖や生態系に蓄積する化学薬品。	
	RA	種苗は生産していない。 Seedlings are not grown by them.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6.9		Chemicals classified as Highly Hazardous by FSC shall not be used unless derogation has been approved by FSC. See Annex 6 to this standard.	
		FSCによって高い有害性があると分類された化学物質はFSCによる特別承認がない限り使用してはならない。本規準の付録6を参照。	
	RA	マツ枯れの倒木をの処理のためFSCが使用を禁止しているフェニトロチオン(MEP)が含まれているヤシマパークサイドF油剤を緊急使用した。使用してから30日以内にFSCに使用の理由の報告はされなかった。しかし現在は使用していない。「県有林施業における農薬使用要領」の中で該当薬品は使用を禁止しているが、マツ枯れ木処理のために緊急的に使用された。 今回FSC禁止薬品を使用した林務環境事務所では「県有林施業における農薬使用要領」の認識が完全でなく、県有林課との協議をせずに緊急のためということでFSC禁止薬品が使用された。県有林課では再発防止のために各林務環境事務所に対して、県有林施業における農薬使用要領違反の通知を発行し、今回禁止薬品使用があった林業事務所には直接指導をした。 適切な対応がとられたため条件を解除する。 Yashimabirkside F oil agent, agrochemical which contains Fenitrothion (MEP) whose usage is prohibited by FSC, was used as an emergency measure in order to handle the fallen trees of dried pines. The reason for using the chemical was not reported to FSC within 30 days of usage. Meanwhile the chemical not is currently used. This chemical is prohibited under "The Guidelines of Using Pesticides for Operation in the Prefectural Forests", but it was used for handling the dried pine trees in an emergency manner. It is necessary to conduct educational trainings to the prefecture's employees and the commissioned companies to raise enough awareness so that the FSC-banned chemicals are not used from now on.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6c		If chemicals are used, proper equipment and training shall be provided to minimise health and environmental risks.	3.5
		化学物質を使用する際は、健康と環境に及ぼすリスクを最小限に留めるため、適切な設備と訓練とが整備されていなければならない。	
6.6.10		Training and relevant equipment are provided to all operators.	
		全ての作業者に適切な機材と訓練が施される。	
	RA	請負業者への仕様書で指示する。 Indicated by contract specifications to subcontractors	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6.11		Fuel tanks and stores are located so that spillages from damage, defects or refuelling shall not enter watercourses.	
		燃料タンクや倉庫は、事故や不具合、補給などで河川・溪流に流れ込まないように配置する。	
	RA	山地での燃料などの保管はない。仕様書でも明記されている。 There is no storage of fuels and other chemicals in forest. Also specified in specifications.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6.12		All equipment for the transport, storage and application of chemicals shall be maintained in a safe and leakproof condition.	
		薬品の運搬、保管、使用のための機器類は、全て安全で漏れない状態に保たれる。	

	RA	仕様書で謳っている。 Required in the specifications.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6.13		Application of chemicals within 10m of watercourses and 30m around reservoirs and lakes is prohibited.	
		河川・溪流の10m以内と貯水所と湖の30m以内での化学薬品の使用は禁止する。	
	RA	水に流れ込むところでは化学薬品を使用しないことになっている。現場視察で確認。一般的に植物性のチェーンソーオイルの方が環境影響が小さいといわれている。そこで、特に沢沿いでは植物性チェーンソーオイルの使用を標準とすることの検討をすることが望ましい。 Use of chemicals is not allowed in the areas where they would flow into the water. Confirmed in field visits. Generally, vegetable chainsaw oil is considered less harmful to environment. Thus it is desirable to consider standardizing the use of vegetal chainsaw oil, especially along the streams.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

観察事項
Obs2012.4

6.6.14		Application if heavy rain is expected, during wet weather, on frozen snow-covered ground or ground that has baked dry during a drought is prohibited.	
		豪雨が予想される時に冬期の凍てついた雪面または乾期で干上がった地面の上での使用は禁止する。	
	RA	雨が降ることが予想されるときには使用しない。仕様書でも明記されている。 Do not use chemicals when rain is expected. Also specified in specifications.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.6.15		Soaking of seedlings treated with chemicals in drains or watercourses prior to planting is prohibited.	
		植林前に化学薬品で処理された苗木を排水溝や河川・溪流に浸すことは禁止する。	
	RA	苗木の薬品処理は禁止している。仕様書でも明記されている。 Chemical treatment for seedlings are prohibited. Also specified in specifications.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.7		Chemicals, containers, liquid and solid non-organic wastes including fuel and oil shall be disposed of in an environmentally appropriate manner at off-site locations.	4
		化学薬品、容器、燃料や油を含む液体、固体の非有機廃棄物は、環境に配慮した適切な方法で管理地域以外の場所に処理されなければならない。	
6.7.1		Off-site locations have been identified for the disposal of chemicals, containers, liquid and solid non-organic waste in an environmentally appropriate manner.	
		化学薬品や容器、固体・液体の非有機廃物を環境的に適切な方法で廃棄するための林地外の場所が定められている。	
	RA	廃棄物は持ち帰り適正に処理する。 Wastes are taken back and disposed appropriately.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.7.2		There is a system in place for taking waste to the appropriate locations for disposal.	
		廃棄物を適切な廃棄場所に持って行くシステムが整備されている。	
	RA	同上。見つけ次第拾って持ち帰るよう指導している。不法投棄が見られたときには別途対応する。 Same as above. Workers are instructed to pick up and take garbage back home every time they found one. When illegally-dumped waste is found, they take measures separately.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.7.3		Disposal does not take place in watercourses or lakes or by burying.	
		廃棄物を河川・溪流や湖へ投棄したり、林地に埋めない。	
	RA	行っていない。現地では確認されなかった。 Not conducted. Not observed on site.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.7.4		There is no evidence of waste left in the forest.	
		森林内での廃棄物残留は見られない。	
	RA	現地では確認されなかった。 Not observed on site.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.8		Use of biological control agents shall be documented, minimised, monitored and strictly controlled in accordance with national laws and internationally accepted scientific protocols. Use of genetically modified organisms shall be prohibited.	NA
		生物的防除を利用する場合は、その方法が文書化されるとともに、その利用は最小限に留められ、モニタリングされなければならないとともに、国内法及び国際的に認められた科学的取り決めに従い厳しく管理されなければならない。なお、遺伝子学的に生命体を変化させることは禁止されなければならない。	
6.8.1		6.8.1 There is a procedure in place for the documentation and monitoring of all use of biological control agents.	
		全ての生物的防除の使用に関する文書化とモニタリングの手順が整備されている。	
	RA	生物的防除の使用はない。 No use of biological control agents	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.8.2		Biological control agents are used only when absolutely necessary to achieve defined management aims as part of integrated pest management system (use of naturally occurring organisms is permitted).	
		生物的防除は、統合害虫管理システムの一部として、定められた管理目標を達成するために必要な場合のみ使用される（自然に発生する生物の使用は許される）。	
	RA	生物的防除の使用はない。 No use of biological control agents	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.8.3		There is no use of genetically modified organisms by the forest management enterprise.	
		森林管理主体による遺伝子組み換え生物の使用はない。	
	RA	遺伝子組み換え生物の使用はない。 No use of GMO	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.9		The use of exotic species shall be carefully controlled and actively monitored to avoid adverse ecological impacts.	3
		外来種の利用は、生態系への悪影響を避けるため、慎重に管理され、頻繁にモニタリングされなければならない。	
6.9.1		All use of exotic species is documented and justified.	
		すべての外来種の使用は文書化され正当な理由付けがされる。	
	RA	林道法面の外来種使用は継続しており、モニタリングも継続している。森林総研で林道法面緑化の試験研究を行っている。 They continue both the use of exotic species on forest road slopes and the survey to monitor them. The forest research institute is conducting experimental research on forest slope planting.	✓
	S1		

	S2		
	S3		
	S4		

6.9.2		Exotic species used are monitored to evaluate potential adverse ecological impacts. 使用されている外来種は生態系に与える潜在的影響を評価するためモニタリングされている。	
	RA	乙女高原のモニタリングを継続している。外部には拡大していない。 They continue to conduct monitoring in Otome Highland. Exotic species have not appeared outside of the highland.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.9.3		In the event that adverse ecological impacts are identified control actions are implemented. 生態系に対する影響が認められたときには、管理対策が実施されている。	
	RA	現在のところ外来種による森林生態系への影響は認められていない。 Currently there is no ecological impact on forest caused by exotic species.	n/a
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.9.4		The use of exotic grasses on hillsides lining forest roads shall be avoided. NS Japan 2007 Draft 林道法面の外来牧草等の使用を回避していること	
	RA	林道法面の外来種使用は継続しているが、モニタリングも継続している。 They continue both the use of exotic species on forest road slopes and the survey to monitor them.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

6.10		Forest conversion to plantations or non-forest land uses shall not occur, except in circumstances where conversion: a) entails a very limited portion of the forest management unit; and b) does not occur on high conservation value forest areas; and c) will enable clear, substantial, additional, secure, long term conservation benefits across the forest management unit.	5
6.10		森林を他の土地利用へ転換させてはならない。但し、下記の場合を除く： a) 森林管理区域のごく限られた範囲で行われかつ、 b) 保護価値の高い森林区域が対象とならず、かつ c) 転換することによって、森林管理区域における明確かつ重大な長期的保護の公益がもたらされる場合。	
6.10.1		Forest conversion to plantations or non-forest land uses shall not occur, except in circumstances where conversion: a) entails a very limited portion of the forest management unit; and b) does not occur on high conservation value forest areas; and c) will enable clear, substantial, additional, secure, long-term conservation benefits across the forest management unit.	
		森林を他の土地利用へ転換させてはならない。但し、下記の場合を除く： a) 森林管理区域のごく限られた範囲で行われ、かつ b) 保護価値の高い森林区域が対象とならず、かつ c) 転換することによって、森林管理区域における明確かつ重大な長期的保護の公益がもたらされる場合	
	RA	a), c)に該当する、ごく一部の場所を道路拡幅やダム建設などの公益、公共事業用に売却しているが、そのほかは森林の他の土地利用への転換はない。 A small part of forest applicable to a) and c) is sold for public use such as road widening and dam construction. However other forest area is not converted to other land use.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7		FSC PRINCIPLE #7: MANAGEMENT PLAN A management plan -- appropriate to the scale and intensity of the operations -- shall be written, implemented, and kept up to date. The long term objectives of management, and the means of achieving them, shall be clearly stated.	3.8
		FSC原則 #7：管理計画 森林において実施される事業の規模と内容に応じた適切な管理計画が文書化され、それに沿って事業が実施され、また、常に更新されること。また、長期的な見地に立った管理目標、目標達成のための手段が明確に提示されること。	
7.1a		The management plan and supporting documents shall provide: Management objectives. 管理計画及びそれに付随する文書では、管理目的について触れなければならない。	5
7.1.1		There is a clear statement of the objectives of forest management 森林管理の目的が明示されている。	
	RA	第2次県有林管理計画p39に管理方針を記載。 The second prefectural forest management plan p39 'Management policy'	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1b(i)		The management plan and supporting documents shall provide a description of the forest resources to be managed and environmental limitations. 管理計画及びそれに付随する文書では、管理対象となる森林資源、環境に関する制限について触れなければならない。	4.5
7.1.2		There is a clear description of the area under management control. 管理下にある地区の明確な説明がある。	
	RA	第2次県有林管理計画P25 「3 県有林の現況」 The second prefectural forest management plan p25 '3 Current outline of the prefectural forest'	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.3		There is a description of the physical aspects of the management area (e.g. topography, soils, geology, and water resources), appropriate to the scale and intensity of the forest and management programme. 管理の規模と強度に相応した、管理区域の外的要素の説明がある（例：地形、土壌、地質、水資源等）。	
	RA	第2次県有林管理計画P25 「3 県有林の現況」 The second prefectural forest management plan p25 '3 Current outline of the prefectural forest'	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.4		There is a clear description of any areas under management control, which are excluded from harvesting, for whatever reasons. 管理下にて、いかなる理由でも収穫から除外される地区の明快な説明がある。	
	RA	厳正保存地域が管理計画書に記載されている。 The areas of strict conservation are clearly described in the management plan.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.5		Areas that have been harvested in the past are known, and are marked as such on maps. 過去に収穫の行われた地区は認知されていて、地図に明記されている。	
	RA	造林台帳に記載されており、GISにより地図化は可能。 Registered in the afforestation register. It can be mapped by GIS.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.6		There is an evaluation of the timber resource (inventory), sufficient in detail and rigour to justify the planned harvesting for the full rotation, and to demonstrate convincingly that yields will be permanently sustainable in successive rotations. (see also Criterion 5.6) 詳細かつ伐期を通じた植林計画に忠実な木材資源（目録）の評価があり、以後の収穫が永続的に維持できることを説得するものである。（規準5.6も参照）	
-------	--	---	--

	RA	森林簿 毎年、調査を実施した場所のデータは更新を行う。 Forest register Data of the area where survey is conducted is revised every year.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1b(ii)		The management plan and supporting documents shall provide a description of land use and ownership status, socio-economic conditions, and a profile of adjacent lands.	4.5
		管理計画及びその支持文書では、土地利用と所有状況、社会経済的状況、隣接地の概略について触れなければならない。	
7.1.7		There is a description of the land use and ownership status.	
		土地利用と所有に関する説明がある。	
	RA	第2次県有林管理計画P1 「1 県有林計画の沿革」 The second prefectural forest management plan p1 '1 History of the prefectural forest'	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.8		There is a description of the socio-economic context for management.	
		管理の社会経済的側面の記述がある。	
	RA	第2次県有林管理計画P7 「2-1 社会の動向」 [2-1 Current Trend in the Society], p.7 of The Second Prefectural Forest Management Plan	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.9		There is a description of adjacent land use.	
		隣接する土地の利用に関する記述がある。	
	RA	山梨県全体の地図があり、隣地の土地利用は明確である。 There is a map of whole Yamanashi prefecture, and the adjacent land use is clear.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1c		The management plan and supporting documents shall provide a description of the silvicultural and/or other management system, based on the ecology of the forest in question and information gathered through resource inventories	3.5
		管理計画及びその支持文書では、当該森林の生態及び自然資源調査により収集された情報に基づき、育林あるいは他の管理システムについて触れなければならない。	
7.1.10		The silvicultural system on which management is based is clearly stated and justified in terms of the ecology of the forest.	
		管理の基礎となる施業システムは明確に示され、森林生態的に見ても正しい。	
	RA	計画書p67に森林区分別の施業方針が規定されている。資源循環林においても森林生態に配慮した施業指針が示されている。 The operation guideline for respective forest districts is stipulated in the page 67 of the Plan. Also the operation guideline is given for the resource circulation forests which takes into consideration of the forest habitat.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.11		The management prescriptions and procedures required to implement the silvicultural system are clearly stated, as, for example: - identification and marking of trees to be retained for future extraction, as seed sources, or to maintain biodiversity; - selection criteria of trees for felling; - method of marking trees or area selected for felling - method of ensuring regeneration;	
--------	--	---	--

		<p>施業システムの実践に必要とされる管理の規定と手順は明確に示されている。例えば：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 種子源や生物多様性の維持を目的とした樹木の識別とマーキング - 伐木の選定の基準 - 選定された伐木・場所のマーキング手法 - 更新を確実にする方法 	
	RA	<p>仕様書や計画書で明示している。 伐採後は更新を確実にを行う。 間伐時には標準地をとり伐採対象木、本数を確認。面積に応じてプロット数を決定。 It is specified by contract specifications and plans. It is ensured that regeneration is done after harvesting. Before thinning operation, a standard plot survey is conducted to confirm trees to be felled and the number of them. The number of plots is determined depending on the area.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1d		<p>The management plan and supporting documents shall provide rationale for rate of annual harvest and species selection 管理計画及びその支持文書では、年間伐採量及び樹種選択の理論的根拠について触れなければならない。</p>	3.5
7.1.12		<p>The management plan and supporting documents shall provide rationale for rate of annual harvest and species selection. 管理計画及びその支持文書では、年間伐採量及び樹種選択の理論的根拠について触れなければならない。</p>	
	RA	<p>5.6参照。 See 5.6</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1e		<p>The management plan and supporting documents shall provide provisions for monitoring of forest growth and dynamics. 管理計画及びその支持文書では、森林の成長及び動態に関するモニタリングを行うにあたっての規定について触れなければならない。</p>	4
7.1.13		<p>Procedures for monitoring forest regeneration and growth are documented and implemented. 森林更新と生長に関するモニタリングの手順は文書化され、実践される。</p>	
	RA	<p>成熟林調査、標準地調査、間伐予定林分の事前調査を行っている。 Matured forest survey, standard plot survey and survey of pre-thinning forest is conducted.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1f		<p>The management plan and supporting documents shall provide: Environmental safeguards based on environmental assessments. 管理計画及びその支持文書では、環境評価に基づく保護方法について触れなければならない。</p>	4
7.1.14		<p>The need for fire management and control has been evaluated and is documented. 火災予防管理と消火の必要性について正しく評価され文書化される。</p>	
	RA	<p>県有林火災防止策実施要領により管理される。 It is controlled under the Summary of Operations of Fire Prevention in the Prefectural Forest.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.15		<p>Environmental safeguards based on environmental assessments are implemented. 環境影響評価に基づく環境保護手法が実施されている。</p>	
	RA	<p>県有林環境調査が実施されている。 The YPF environmental survey has been conducted.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.g		The management plan and supporting documents shall provide: Plans for the identification and protection of rare, threatened and endangered species.	4
		管理計画及びその支持文書では、希少種、危急種及び絶滅危惧種の特定と保護に関する計画について触れなければならない。	
7.1.16		The management plan and supporting documents shall provide plans for the identification and protection of rare threatened and endangered species.	
		管理計画及びその支持文書では、希少種、危急種及び絶滅危惧種の特定と保護に関する計画について触れなければならない。	
	RA	6.2a参照 See 6.2a	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1h		The management plan and supporting documents shall provide: Maps describing the forest resource base including protected areas, planned management activities and land ownership.	4
		管理計画及びその支持文書では、保護地域、管理計画、土地所有形態を含む森林資源に関する基本情報が記載された地図について触れなければならない。	
7.1.17		There are maps showing the forest resource base including protected areas.	
		保護区を含んだ森林資源基盤の地図がある。	
	RA	事業図で示されている。 Mapped by project map.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.18		There are maps showing land ownership. are accessible, clear and usable.	
		土地所有を示す地図があり、利用可能で、明確かつ有効である。	
	RA	同上 Same as above	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.1.19		There are maps showing planned management in the short term (5-10 years) and longer term (20 years or more).	
		管理計画を短期(5年から10年)、中期(20年以上)で表している地図がある。	
	RA	2012年4月からの市町村森林整備計画の中でゾーニングが示されている。このゾーニングは第2次県有林管理計画と整合している。 Zoning is shown within the Municipal Forest Maintenance Plan which started in April 2012. This zoning matches the Second Prefectural Forest Management Plan.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.2		The management plan shall be periodically revised to incorporate the results of monitoring or new scientific and technical information, as well as to respond to changing environmental, social and economic circumstances.	4
		管理計画は、環境、社会、経済状況の変化に対応するとともに、モニタリング結果、あるいは最新の科学的知見・技術情報に配慮し、定期的に改訂されなければならない。	
7.2.1		There is a system in place for the regular revision and updating of the management plan.	
		管理計画の定期的な見直しと更新のシステムが整備されている。	
	RA	管理計画は5年ごとに更新されている。 The management plan is revised every 5 years.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.2.2		Managers are aware of relevant research being undertaken or planned in the area, e.g. concerning forest management, timber production and biology/ecology.	
-------	--	---	--

		森林管理、木材生産、生物学・生態学など関連する調査・研究がその地域においてなされている、または計画されていることを認知している。	
	RA	<p>県森林総合研究所により調査研究が行われている。試験研究部と普及指導部がある。試験研究要望を県森林総研に上げ、研究推進会議で研究内容を決定している。約9割は行政からの要望に基づき研究を行っている。県有林の中で行われている調査・研究については全て把握している。</p> <p>Researches and surveys are conducted by Yamanashi Forest Research Institute. There are Research and Study Dept. and Promotion and Instruction Dept. Yamanashi prefecture requests researches to the Yamanashi Forest Research Institute, and Yamanashi Forest Research Institute decide what researches should do at the research promotion meeting. 90% of researches are based on the requests from the prefecture and local government. All surveys and studies done in the prefectural forest are recognised.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4	-	

7.2.3		There is evidence that significant findings of such research, as well as the results of monitoring by the forest management enterprise, are incorporated into updated policies, plans and procedures.	
		これらの研究や森林管理主体によるモニタリングの重要な成果が、更新された方針や計画、手順に組み込まれていることが確認できる。	
	RA	<p>第2次県有林管理計画を策定するにあたり、実施していたモニタリング結果を受け、今後のモニタリング計画を修正した。また経済林から公益林への切り替えや獣害対策について、県森林総研の調査研究結果を反映している。</p> <p>The plan for future monitoring was modified given the result of the monitoring conducted to develop Second Prefectural Forest Management Plan. Also, the result of research by Yamanashi Forest Research Institute was reflected into switching of economic forests to common welfare forests, and measures against animal damage.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.3		Forest workers shall receive adequate training and supervision to ensure proper implementation of the management plan.	3
		林業従事者は、管理計画を確実に実行するにあたり、適切な訓練と指導を受けなければならない。	
7.3.1		Managers and supervisors should have an appropriate qualification sufficient to enable them to plan and organise forest operations and other elements of the management plan	
		管理者および監督者は、森林活動および管理計画の他の要素を計画、実施するのに必要な適切な必要要件を有していなければならない。	
	RA	<p>県職員はプランナー研修、フォレスター研修等を受講している。</p> <p>The prefecture's employees participate in the trainings such as planner training, forester training etc.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.3.2		All workers receive training relevant to their tasks and responsibilities.	
		全ての労働者はその任務と責任に相応しい訓練を受ける。	
	RA	<p>県森林総研で毎年研修事業を行っている。職員も参加できる研修もある。これら研修の開催、参加記録はまとめられており、2011年度にも複数回実施されていた。しかし、これらの研修に参加をしていない請負業者も見受けられた。現場審査では間伐後の立木間隔のバランスが悪い選木が見受けられた。請負業者が各々の必要に応じ、各種研修に確実に参加するような対策を施すことが望ましい。</p> <p>Yamanashi Forest Research Institute is conducting training programs each year. There are some trainings in which the office staff can also participate in addition to forest workers. The record of these trainings and the participation record are collected, and several trainings were conducted in 2011. However, some commissioned companies have not participated in these trainings. At the on-site inspection, it was observed that poor selection of trees resulted in unbalanced spacing of standing trees after thinning. It is desirable to take some measures to ensure that all the commissioned companies participate in respective types of training as much as possible.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

観察事項
Obs2012.5

7.3.3		There are records of training provided to forest workers.	
		森林労働者に施された訓練の記録がある。	
	RA	県森林総研で毎年研修事業を行っている。職員も参加できる研修もある。これら研修の開催、参加記録はまとめられており、2011年度にも複数回実施されていた。受講者リストが保管されている。 Yamanashi Forest Research Institute is conducting training programs each year. There are some trainings in which the employees can also participate. The record of these trainings and the participation record are collected, and several trainings were conducted in 2011. List of attendants is kept.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.3.4		Appropriate to the scale and intensity of the operation there is a policy for training, qualifications, and recruitment that includes skill and experience the basis for recruitment, placement, training and advancement of staff at all levels	
		管理の規模や頻度に応じた、すべてのスタッフの雇用、配置、訓練および昇進の基礎となる技術および経験を含む、訓練、必要要件および雇用の方針がある。	
	RA	必要とされる研修計画を立てて実施している。また、県職員に対しても、人材育成システム制度があり、職員研修所では職名に応じたスキルアップ研修もある。そのほか森林総研の研修、林野庁の行う担当者の研修もあり、参加している。 Necessary training plan is developed and implemented. In addition, there is a human resource development system for the prefecture staff, and skill-up workshops are held for each job title at Personnel Training Institute. Furthermore, staff participate workshops by Forestry and Forest Products Research Institute and Forestry Agency.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

7.4		While respecting the confidentiality of information, forest managers shall make publicly available a summary of the primary elements of the management plan, including those listed in Criterion 7.1 above	4
		情報の秘密性を尊重する一方、森林管理者は、規準7.1で挙げたような事項を含む管理計画についての基本的事項の概要を公開しなければならない。	
7.4.1		A summary of management activities is available to all interested parties, within the accepted norms of commercial confidentiality. [N.B. A summary of the main elements of the management plan listed in Criterion 7.1 above will be included in Soil Association's public summary of the evaluation, if a certificate is awarded]	
		管理活動の要約は、許容される商業的機密の範囲内において、関心を示す者には入手可能である。[注：規準7.1にある管理計画の概要は、ウッドマークの公開審査概要報告書に、認証された際に公開される。]	
	RA	ホームページで公表している。 管理計画P296で管理計画樹立の経緯を示しており、公開までの手順が定められている。 The summary of the management plan is made public on webpage. How to develop and made public the management plan is specified in the management plan p296.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8		FSC PRINCIPLE #8: MONITORING AND ASSESSMENT Monitoring shall be conducted -- appropriate to the scale and intensity of forest management -- to assess the condition of the forest, yields of forest products, chain of custody, management activities and their social and environmental impacts.	4.0
		FSC原則#8：モニタリングと評価 森林管理の規模と内容に応じた適切なモニタリングが、森林の状態、林産物の生産量、生産・加工・流通各段階、管理作業およびそれらが社会や環境に与える影響を評価するために行われること。	
8.1		The frequency and intensity of monitoring should be determined by the scale and intensity of forest management operations as well as the relative complexity and fragility of the affected environment. Monitoring procedures should be consistent and replicable over time to allow comparison of results and assessment of change.	4

		モニタリングの頻度とその内容は、影響を受ける環境の相対的な複雑性や脆弱性ととも、森林施業の規模と内容に配慮して決定されるものとする。モニタリング方法は、結果が比較でき、変化が評価できるように、首尾一貫しているとともに反復できるものでなければならない。	
8.1.1		There is a system for monitoring the impacts of forest operations on the site.	
		森林施業が土地に与える影響をモニタリングする効果的なシステムが存在する。	
	RA	管理計画p50 各種モニタリング。個々のモニタリング手法は別文書で整備されている。 Management plan p50 'Montoring' Each monitoring method is specified in separate document.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.1.2		The frequency and expense of monitoring is appropriate to the scale and intensity of forest management operations as well as the relative complexity and fragility of the affected environment.	
		モニタリングの頻度や出費は森林管理の規模と強度に相応しく、影響される環境の複雑さと繊細さにも見合っている。	
	RA	見合っている。 Appropriate	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.1.3		Procedures are consistent and replicable over time to allow comparison and assessment of change.	
		変化を比較・評価できるように、手順は長期にわたって一貫し、反復可能である。	
	RA	反復可能である。 Replicable	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.1.4		Monitoring records are maintained in a well-ordered, up-to-date and accessible form.	
		モニタリング記録は整理、更新され、照査可能な形態で保管されている。	
	RA	記録が保管されている。 Records are kept.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.2a		Forest management should include the research and data collection needed to monitor: Yield of all forest products harvested.	4.5
		収穫された全ての林産物の生産量のモニタリングに必要な調査とデータ収集が行われている。	

8.2.1		Yields of all forest products harvested are recorded.	
		すべての林産物の収穫量は記録される。	
	RA	記録されている。 Recorded	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.2b		Forest management should include the research and data collection needed to monitor: Growth rates, regeneration and condition of the forest.	4.5
		森林の成長、更新及び森林の状態のモニタリングに必要な調査とデータ収集が行われている。	

8.2.2		Where standard growth models or information on regeneration of commercial species is not known, there is a programme in place to collect detailed information for future management.	
		商業樹種の標準成長モデルや更新の情報がない場合には、将来の管理のために詳しい情報を得るためのプログラムが整備されている。	

	RA	<p>主要樹種毎に標準成長モデルがある。個々の林分の収穫予想の精度を高めるため、県森林総合研究所と東京大学の共同研究により、山梨県版システム収穫表を作成中である。現在、システムの精度を高めるため必要なデータの収集作業を行っている。</p> <p>Standard growth model for commercial trees is in place. In order to raise the accuracy of yield prediction for each forest stand, the prefectural forest research institute and Tokyo University are undertaking a joint study to make a systematic yield table for Yamanashi Prefecture. Now they are collecting data necessary to raise the accuracy of the system.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.2.3		<p>The condition of the forest (presence of pests, diseases, evidence of soil compaction, erosion etc) is regularly monitored and reviewed.</p> <p>森林の状態（害虫、樹病の存在、土壌固化、侵食の形跡など）は定期的にモニタリングされ見直されている。</p>	
	RA	<p>山岳レンジャー等で巡視を行っている。 請負業者からの随時の報告がある。 環境影響調査でも確認。 山梨県で2012年3月に第2期山梨県特定鳥獣(ニホンジカ)保護管理計画を策定し、その中で推定された生息数に対し、毎年度調整計画数を定め、捕獲等を実施している。昨年度は計画通り、1万4千頭程度捕獲した。県で調整計画を作成するにあたり、近隣都県との協議会での話し合い結果や、環境省主導の広域的な管理計画を考慮している。 また森林総合研究所において、県有林内の生息密度調査を実施しており、2011年に密度分布図を作成した。推定頭数には1万3千頭程度から6万頭程度までと幅があるため、今年度からニホンジカ影響確認調査を実施し、推定数の精度を上げていくこととなった。 またシカの林業被害の増加を懸念し、県議会内に検討会が設けられ、独自の政策提案を行なうべく、現地調査が始まった。 Mountain ranger etc. monitor. Occasional report from subcontractor Confirmed by environmental impact survey also. The second plan for protection and management of specified wildlife (Sika Deer (Cervus nippon)) of Yamanashi prefecture was created in March 2012. Each fiscal year, the planned adjustment number against the population estimated in the above plan is decided, and capture is implemented. Last year, approximately 13,000 deer were captured in accordance with the plan. To develop the adjustment plan, the prefecture is taking consideration of the result of consultation with neighboring prefectures in consultative meetings as well as the larger-area management plan led by Environment Ministry. Also at the Forest</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.2c		<p>Forest management should include the research and data collection needed to monitor: The composition and observed changes in the flora and fauna.</p> <p>動植物の構成状態と観測された変化のモニタリングに必要な調査とデータ収集が行われている。</p>	4
8.2.4		<p>Conservation areas (see 6.2) are regularly monitored to ensure that there is no evidence of deterioration or disturbance.</p> <p>保全地帯（6.2参照）は定期的にモニタリングされて、自然崩壊や人為干渉がないか確かめられている。</p>	
	RA	<p>森林巡視、山岳レンジャー等が巡視を行っている。 Forest patrol, Mountain ranger etc. monitor.</p>	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.2.5		<p>Forest managers provide for monitoring of the effects of forestry operations on plant and animal species, including aquatic habitats (names, abundance, distribution, habitat requirements, biology, ecology, behaviour), commensurate with the extent and intensity of the forest management, and the rarity and fragility of the forest ecosystem and known species within it..</p>	
		<p>森林管理者は、森林管理の規模と強度、また森林生態系やその中の種の希少性・繊細さに応じて、水生生物も含む動植物（種名、発生量、分布、生息条件、生物学的・生態学的特徴、行動様式）への森林施業の影響を適切にモニタリングしている。</p>	
	RA	<p>県森林総研によりさまざまな調査研究が行われている。 Many researches and surveys are conducted by Yamanashi Forest Research Institute.</p>	✓
	S1		
	S2		

	S3		
	S4		

8.2d		Forest management should include the research and data collection needed to monitor: Environmental and social impacts of harvesting and other operations.	4
		収穫及び他の作業により生じる環境と社会への影響のモニタリングに必要な調査とデータ収集が行われている。	
8.2.6		There are meetings with representatives of local communities, at which any concerns regarding the social or environmental impacts of operations are recorded.	
		地域社会の代表者との定期的な会合がおこなわれ、影響（社会的・環境的）に関する関心事項が記録されている。	
	RA	森林審議会、市町村、関係保護団体に聞き取りを行い、第2次管理計画を樹立した。このように管理計画樹立に伴う聞き取りは5年に一度行われている。また県という立場上様々な団体と毎年話し合う機会は豊富にある。 The second-term management plan was developed after conducting hearings with the Forest Council, towns and municipalities, and relevant environmental organizations. Such hearing to develop the management plan is conducted once every 5 years. Also, there are plenty of opportunities for the prefecture to discuss with various organizations every year, due to its position.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.2.7		Monitoring programmes are designed, documented and implemented to collect data related to environmental impacts. Such data might relate to: water quality, seasonal water flow, fish populations, wildlife populations.	
		地域社会からの関心事項に関する情報を収集するためのモニタリングプログラムが策定され、文書化され、実践される。情報例：水質、季節的な水流、魚類個体数、野生生物の個体数など。	
	RA	河川の水質調査は県の別部署、または国で行われている。水道の水質調査も行われている。県の別部署で、特定鳥獣保護管理計画でシカの個体数のモニタリングが行われている。 Water quality survey of rivers is conducted by another department of the prefecture and national government. Water quality survey of water system is also conducted. The number of deer is monitored in the specific animals and birds protection and control plan.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.2e		Forest management should include the research and data collection needed to monitor: Costs, productivity, and efficiency of forest management.	4
		森林管理にかかる費用、森林管理の生産性その効率性をモニタリングするために必要な調査とデータ収集が行われている。	
8.2.8		There are clear accounts for the forest enterprise.	
		明確な森林管理主体の計算書がある。	
	RA	計算書があり、必要な費用が組み込まれている。 請負事業体の有資格者数、機械保有台数、従業員の経験年数、社会保険加入状況、給料体系等は雇用管理状況調査によって把握している。県事業の指名業者は、県出納局管理課に登録され、かつ雇用管理状況調査を提出した者の中から選定している。来年度からは電子入札システムに切り替わるので指名条件に研修会参加状況も加味できるようにすることも検討している。 林業技術の定着を図るため新たな技術情報の提供や必要な研修の開催と共に県発注の事業箇所において監督員による技術情報の提供や直接指導についても引き続き行っている。なお、認定林業事業主制度に基づき、自ら雇用管理の改善と事業の合理化に取り組む認定がされた事業体に対し、機械化の推進や生産性の向上について、山梨県林業労働センターが技術等、支援を行っている。各事業体においても県有林造林推進協議会や素材生産事業者協議会等の協議会の中でお互いに情報交換をしている。今年度は事業体主体で林業機械のメーカーによる新しい林業機械のデモンストレーションが行われ、県有林もフィールドを提供した。県としても各種研修については事業体に通知をしている。	✓

	<p>There is a budget and necessary fees are incorporated.</p> <p>The number of licensed workers and machineries, the number of years of workers' experience, status of social insurance and salary system are grasped by the survey on employment conditions. The nominated companies for the prefecture's work are limited to those which attain a certain level in satisfying these criteria. The bidding system is going to be switched to an electric one, and thus it is being considered to add the participation in trainings as one of the conditions for nomination.</p> <p>There is continuous provision of new technical information and necessary trainings to establish forestry technologies, as well as provision of technical information and direct instruction by supervisors in the area of work ordered by the prefecture.</p> <p>Also, Yamanashi Prefectural Forestry Labor Center is providing technologies and support for promotion of mechanization and productivity enhancement to the certified companies working to improve the employment management and rationalization of business, based on the system of certified forestry business owners. Also respective companies are mutually exchanging information through the Council for</p>	
	S1	
	S2	
	S3	
	S4	

8.3		Documentation shall be provided by the forest manager to enable monitoring and certifying organisations to trace each forest product from its origin, a process known as the "chain of custody."	3
		監査および認証を行なう機関が各々の林産物の原産地点からの追跡—“Chain-of-Custody”(COC)と言われる—を実施するための書類が森林管理者により提示されなければならない。	
8.3.1		Forest products that are to sold as certified are readily identifiable as originating from the evaluated forest. This may be achieved through physical marking of the timber, a system of paper control, daily or weekly production records, or a combination of these and similar techniques.	
		認証品として販売される林産物は、審査された森林から産出されたものであるということが容易に識別できる。これは木材への物理的なマーキング、書類管理システム、毎日・毎週の加工記録、またこれらの組み合わせやこれらに類似した方法で実施される。	
	RA	県有林FSC認証ラベル取り扱い要領 丸太一式にはFSCラベリングバンドを使用する。 Procedure for treatment of FSC certified label in the prefectural forest When logs are bundled, FSC labelling band is used.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.3.2		The forest management enterprise maintains control of the chain of custody of the timber up to the point of sale.	
		森林管理主体は販売時点までの木材のCOC管理を行う。	
	RA	立木での販売または県森連の市場で丸太での販売を行っている。 Standing trees are sold, and logs are sold at the log yard of the Federation of Forestry Associations of Yamanashi Prefecture.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

8.3.3		Invoices issued for certified timber sales specify: - The source of the certified timber - the date of sale - the quantity of certified timber sold - the specifications (species, dimensions, quality) of certified timber sold - the point at which the buyer shall take control of the chain of custody of the certified timber - certificate code - correspond to details on delivery documents	
8.3.3		認証木材の販売の伝票は以下の事項を明記する: - 認証木材の供給源 - 販売日 - 販売された認証木材の材積量 - 販売された認証木材の仕様(樹種、直径、品質) - 購入者が認証木材のCOC管理を引き継ぐ時点	

	RA	FSC認証材出荷証明を出している。2012年2月10日に発行された山梨県県有林認証材証明にはFSC100%と認証番号が含まれていなかった。FSC認証材出荷証明にはFSC100%と認証番号を記載しなければならない。 Certificates of shipping FSC certified material have been issued. There was no FSC100% claim and the certification number in the certificate of shipping which Yamanashi Prefectural Forest's certified material issued on February 10th, 2012. It is required to include FSC100% claim and the certification number in the certificate of shipping FSC certified material.	×	条件 C2012.6
	S1			
	S2			
	S3			
	S4			

8.4		The results of monitoring shall be incorporated into the implementation and revision of the management plan. モニタリング結果は、管理計画の実行及び改訂に反映されなければならない。	4	
8.4.1		There is a system that demonstrates how the results of monitoring are incorporated into the revision of management plans. モニタリングの結果が更新された管理計画に反映される方法を示すシステムがある。		
	RA	第2次県有林管理計画を策定するにあたり、実施していたモニタリング結果を受け、今後のモニタリング計画を修正した。また経済林から公益林への切り替えや獣害対策について、県森林総研の調査研究結果を反映している。 The plan for future monitoring was modified given the result of the monitoring conducted to develop Second Prefectural Forest Management Plan. Also, the result of research by Yamanashi Forest Research Institute was reflected into switching of economic forests to common welfare forests, and measures against animal damage.	✓	
	S1			
	S2			
	S3			
	S4			

8.5		While respecting the confidentiality of information, forest managers shall make publicly available a summary of the results of monitoring indicators, including those listed in Criterion 8.2. 情報の秘密性を尊重する範囲内で、森林管理者は、規準8.2の事項を含むモニタリング結果についての概要を公開しなければならない。	4	
8.5.1		Forest managers agree to make the results and/or a summary of the monitoring programmes available to all interested parties, within the accepted norms of commercial confidentiality, on request 森林管理者は、許容される商業的機密の範囲内で、モニタリングの結果を要求に応じ関心のある者に対して提供することに同意する。		
	RA	森林生態系モニタリング調査について、H9からH18までの10か年の調査結果をまとめ、各都道府県、研究機関に送付した。 県森林総研で行っている調査・モニタリングの結果はホームページで公開している。 Results of forest ecosystems monitoring survey for 10 years (from 1997 to 2006) were summarised and sent to each prefecture and research institutes. The results of the research and monitoring conducted by Yamanashi Forest Research Institute are publicized in its website.	✓	
	S1			
	S2			
	S3			
	S4			

9		FSC PRINCIPLE #9: MAINTENANCE OF HIGH CONSERVATION VALUE FORESTS Management activities in high conservation value forests shall maintain or enhance the attributes that define such forests. Decisions regarding high conservation value forests shall always be considered in the context of a precautionary approach.	4.0	
		FSC原則#9：保護価値の高い森林（HCVF）の保存 保護価値の高い森林の管理は、その森林の特質を維持、または高めるものでなければならない。保護価値の高い森林に関する決定は、常に慎重に行わなければならない。		

		<p>High Conservation Value Forests are those that possess one or more of the following attributes:</p> <p>a) forest areas containing globally, regionally or nationally significant : - concentrations of biodiversity values (e.g. endemism, endangered species, refugia); and/or - large landscape level forests, contained within, or containing the management unit, where viable populations of most if not all naturally occurring species exist in natural patterns of distribution and abundance</p> <p>b) forest areas that are in or contain rare, threatened or endangered ecosystems</p> <p>c) forest areas that provide basic services of nature in critical situations (e.g. watershed protection, erosion control)</p> <p>d) forest areas fundamental to meeting basic needs of local communities (e.g. subsistence, health) and/or critical to local communities' traditional cultural identity (areas of cultural, ecological, economic or religious significance identified in co-operation with such local communities).</p>	
		<p>保護価値の高い森林とは、以下の特長を1つ以上持ち合わせている森林である:</p> <p>a) 森林には、世界的あるいは地域的、国家的にみて以下の意味で重要である: 1.生物多様性の観点から、価値が高い(固有性、絶滅危惧種、保護主など)かつ、(または) 2.自然派生種の多く、または全てが自然の状態の分布と量で存在するような、管理区域内あるいは、管理区域にまたがる景観レベルの大面積の森林</p> <p>b) 希少種、絶滅危惧種やその心配のある種が存在する森林地</p> <p>c) その存在がなくなれば危機的な状態を引き起こす森林(流域保全、侵食保護など)</p> <p>d) 地域社会の基本的ニーズ(生存、健康など)を満たすために、重要な機能を提供している、あるいは地域社会の伝統文化やアイデンティティー(地域社会と協力して特定される文化的、生態的、経済的あるいは宗教的重要性など)にとって重要な森林</p>	
9.1		Assessment to determine the presence of the attributes consistent with High Conservation Value Forests will be completed, appropriate to scale and intensity of forest management.	4
		保護価値の高い森林の特質を判断する際、森林管理の規模および内容に応じた評価が不備なく行われるものとする。	
9.1.1		Forest managers are able to provide a definition of High Conservation Value Forest for their region.	
		森林管理者はその地域における保護価値の高い森林の定義を提出することができる。	
	RA	管理計画P242、243に保護林の記載がある。これを保護価値の高い森林とする。これは上記の保護価値の高い森林の定義のうち、a)にあてはまる。 Protected forest is described in p242 and 243 of the management plan. Other than this, there are academic reference forests. Both kinds of forest are designated as HCVF. These forests are classified a) and/or b) of definition of HCVF mentioned above.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		
9.1.2		Forest managers have assessed whether High Conservation Value Forests is present in the area under their control.	
		森林管理者は保護価値の高い森林が管理地内に存在するかどうか評価している。	
	RA	9.1.1と同。 Same as 9.1.1	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		
9.1.3		Areas identified as High Conservation Value Forests are marked on maps.	
		保護価値の高い森林として特定された地域は地図に明記されている。	
	RA	地図化されている。 Mapped.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		
9.2		The consultative portion of the certification process must place emphasis on the identified conservation attributes, and options for the maintenance thereof.	4
		認証過程においては、保護すべき特質の維持のための諸手法について、重点的に聞き取りがなされなければならない。	
9.2.1		Forest managers should consult with relevant stakeholders on the identification of High Conservation Values and management options for any High Conservation attributes identified.	
		森林管理者は高い保護価値の特定および特定された高い保護の特徴の管理手法について関係者に聞き取りを行わなければならない。	

	RA	保護林は地元からの要望に基づき設定された。また第2次県有林管理計画を策定するにあたり、市町村、保護団体、学識有識者へ再度意見募集を行った。特に新しく保護価値が高いと認められた森林はなかった。 Protected forest was designated based on the local request. They invited opinions of the local municipalities, tenure groups, citizens of the prefecture, and academic experts again before formulating the second prefectural forest operational plan. There was no forest that was additionally considered as a HCVF.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

9.3		The management plan shall include and implement specific measures that ensure the maintenance and/or enhancement of the applicable conservation attributes consistent with the precautionary approach. These measures shall be specifically included in the publicly available management plan summary.	4
		管理計画は、特質が確実に維持され高められるよう、慎重な措置を盛り込むとともに、実施されなければならない。この措置は、公開される管理計画の概要文書に具体的に明示されなければならない。	
9.3.1		Specific protection measures are detailed and implemented for identified High Conservation Value areas and/or attributes.	
		高保護価値森林と特定された地区には特別な保護手法が定められ、適用される。	
	RA	禁伐として保護する。 Protected by prohibit harvesting.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

9.3.2		The identified protection measures adopt a precautionary approach.	
		定められた保護手法は予防手段を用いている。	
	RA	禁伐として保護する。 Protected by prohibit harvesting.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

9.3.3		The identified protection measures are included in the publicly available management plan.	
		定められた保護手法は公開された管理計画に含まれている。	
	RA	管理計画書に記載されている。 Written in the management plan	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

9.4		Annual monitoring shall be conducted to assess the effectiveness of the measures employed to maintain or enhance the applicable conservation attributes.	4
		年に一度はモニタリングが実施され、保護特質が維持され高めるように取られている措置が効果的なものであるかどうかの評価されなければならない。	
9.4.1		A programme of at least annual monitoring, appropriate to the size and vulnerability of the conservation attributes, is documented and implemented.	
		保護すべき特徴の規模と脆弱性に相応して、少なくとも年に1度はモニタリングを行う計画が文書化され実行されている。	
	RA	山岳レンジャーなどが通常のモニタリングのシステム内で行っていることをインタビューで確認した。 It was confirmed through interview that the forest manager has conducted monitoring within the whole monitoring system of forest renger.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10		FSC PRINCIPLE #10: PLANTATIONS Plantations shall be planned and managed in accordance with Principles and Criteria 1 - 9, and Principle 10 and its Criteria. While plantations can provide an array of social and economic benefits, and can contribute to satisfying the world's needs for forest products, they should complement the management of, reduce pressures on, and promote the restoration and conservation of natural forests.	4.0
----	--	--	-----

		FSC原則 #10 : 植林 植林は、原則の1から9及び原則10とその規準とに従って計画および管理されるものとする。植林は、社会的、そして経済的便益を提供し、世界の林産物需要を満たすとともに、自然林の管理を補助し、自然林への利用圧を軽減し、その復元および保全を推進するものであること。		
10.1		The management objectives of the plantation, including natural forest conservation and restoration objectives, shall be explicitly stated in the management plan, and clearly demonstrated in the implementation of the plan.	4	
		自然林の保全及び復元の目的を含む植林の管理目的が、管理計画に明確に述べられるとともに、それが確実に実行されなければならない。		
10.1.1		Natural forest conservation and restoration are explicitly included within the objectives of plantation management.		
		自然林保護と回復は植林管理の目的に明確に含まれる。		
	RA	第2次県有林管理計画では、従来の循環林のなかで地位の低い場所や道から遠い場所をより生態重視の積極的な針広混交林化をすすめている。 The second prefectural forest operational plan states that the forest manager will actively convert some rotation forests which are low in productivity and far from work roads/forest roads to mixed forests of coniferous and broadleaf trees where ecosystem conservation is highly valued.	✓	
	S1			
	S2			
	S3			
	S4			

10.1.2		Strategies and procedures for achieving these objectives are effectively implemented. これらの目的を達成するための戦略と手順は効果的に導入されている。		
	RA	管理計画書に記載されている。 これまで約40haの演習場周辺の被弾した森林を回復するため、伐採し、前生樹種を植林している。 Described in the management plan. In order to recover 40ha of damaged forest around exercise area of Self-Defence Forces, they have been cut and planted with native species.	✓	
	S1			
	S2			
	S3			
	S4			

10.2a		The design and layout of plantations should promote the protection, restoration and conservation of natural forests, and not increase pressures on natural forests.	4	
		植林の計画と配置は、自然林の保護、復元そして保全を促進するものでなければならず、自然林への利用圧を増加するものであってはならない。		
10.2.1		Plantation management is designed to maintain or enhance characteristics of adjacent natural forest		
		植林管理は、隣接する自然林の特徴を保つまたは拡大するよう計画される。		
	RA	間伐により林内の照度を高め下草の繁茂を促す。 Illuminance level is enhanced and understory vegetation is promoted by thinning.	✓	
	S1			
	S2			
	S3			
	S4			

10.2b		Wildlife corridors, streamside zones and a mosaic of stands of different ages and rotation periods, shall be used in the layout of the plantation, consistent with the scale of the operation.	4	
		植林地の配置は、森林施業の規模にあわせ、野生生物のコリドー、河岸地帯、異なった林齢・伐期のモザイク的な配置がとり入れられなければならない。		
10.2.2		There are documented policies and procedures which ensure that: - a mosaic of stand ages and rotations are created and maintained; - wildlife corridors are provided; - where there are corridors of natural vegetation by streamside or in gullies these are protected from planting and harvesting operations, and developed into streamside reserved areas; (see 6.2 and 6.3 for other norms)		
		以下の事項を確実にする文書化された方針と手段がある: ・異なる林齢や伐期齢のモザイクが形成され維持されている。 ・野生動物のコリドーが形成されている。 ・河川・溪流の側や谷間に自然植生のコリドーがあれば、これらは植林・伐採作業から守られ、河川・溪流沿いの保護区として設定する。 (他の規準について6.2と6.3を参照)		

	RA	尾根、溪流・沢筋沿いには保護樹帯を片側概ね25m設け保護しつつある。 About 25m of buffer zones in each side of areas along ridges, rivers and watercourses has been established.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.2c		The scale and layout of plantation blocks shall be consistent with the patterns of forest stands found within the natural landscape.	3.5
		植林区画の規模と配置は、当該する自然景観内で見られる林分パターンと整合したものでなければならない。	
10.2.3		Both general siting and internal design of plantations are in harmony with the landscape of the area.	
		植木の配置と林分構造双方ともその地区の景観と調和する。	
	RA	人工林と広葉樹林が適度に混ざり地域の景観と調和している。 Plantations and broadleaf forests are mixed appropriately and in harmony with the local landscape.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.3		Diversity in the composition of plantations is preferred, so as to enhance economic, ecological and social stability. Such diversity may include the size and spatial distribution of management units within the landscape, number and genetic composition of species, age classes and structures.	4
		経済的、生態的、社会的安定性を高めるように、植木の構成は多様であることが望まれる。このような多様性には、その景観内での管理区画の規模や配置、種の数と種の遺伝的構成、林齢及び構成があげられる。	
10.3.1		Management planning includes evaluation of economic, ecological and social stability.	
		管理計画には経済、環境および社会の安定性の評価が含まれている。	
	RA	経済面、環境面及び社会面の評価が含まれている。 Evaluation of economic, ecological and social aspects are included.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.3.2		Management promotes diversity of plantation size and distribution in the landscape.	
		景観レベルでの植林地の大きさおよび分布の多様性が促進されている。	
	RA	管理計画p282「ランドスケープ管理の概念」での管理について言及した。厳正保全地域に隣接する施業予定地では、緩衝帯を設ける等施業指針に従い施業を行う。図面とリストを準備している。 Land scape level management is mentioned in the management plan p282 'Landscape management'. Operations are conducted in accordance with the operational policy, e.g. buffer zone should be set in operational area adjacent to strictly-protected area. There is maps and lists.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.3.3		Management makes provision for the use of a variety of tree species and provenances or other plants.	
		多様な樹種、起源、その他の植物の利用の機会が提供されている。	
	RA	地域で求められる樹種として、カラマツ、ヒノキ、アカマツ、シラベ、スギなどが植林されている。また将来の有用材となる広葉樹も一部植林されている。第2次県有林管理計画の中で、山梨県の落葉広葉樹における生息適地がまとめられた。また樹種別苗木所有量がまとめられ、今後5年間の新植量が示された。広葉樹の植栽量が大幅に増えている。 Karamatsu, Hinoki, Akamatsu, Shirabe and Sugi are planted as required species by local people. Some broadleaf trees which will be useful in the future are also planted. They compiled suitable habitats for the species of deciduous broadleaf trees seen in the prefecture in the second prefectural forest operational plan. The plan also shows the amount of seedlings they own for each tree species and expected amounts of seedlings to be planted over the next 5 years. The number of broadleaf trees they plant is increasing dramatically.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.3.4		Management makes provision for age and structural diversity of plantation in the landscape.	
--------	--	--	--

		景観レベルでの植林地の林齢および構造の多様性が形成されている。	
	RA	管理計画p282「ランドスケープ管理の概念」での管理について言及している。厳正保全地域に隣接する施業予定地では、緩衝帯を設ける等施業指針に従い施業を行う。 Landscape level management is mentioned in the management plan p282 'Landscape management'. Operations are conducted in accordance with the operational policy, e.g. buffer zone should be set in operational area adjacent to strictly-protected area.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.4		The selection of species for planting shall be based on their overall suitability for the site and their appropriateness to the management objectives. In order to enhance the conservation of biological diversity, native species are preferred over exotic species in the establishment of plantations and the restoration of degraded ecosystems. Exotic species, which shall be used only when their performance is greater than that of native species, shall be carefully monitored to detect unusual mortality, disease, or insect outbreaks and adverse ecological impacts.	3.5
		植林のための樹種の選択は、その場所への総合的な適合性及び管理目的に合致しているかの判断に基づいて行わなければならない。生物の多様性をより保全していくためには、植林及び劣化した生態系の復元においては、外来種よりも在来種の方が好ましい。外来種は、在来種の果たす役割を上回るときに限り導入するものとし、導入した場合は、通常ではまれである大量枯損、病虫害の発生及び生態系への悪影響の発生について注意深くモニタリングしなければならない。	
10.4.1		There is a clear justification for the choice of species and genotypes chosen for the plantation, which takes into account the objectives of the plantation, and the climate, geology and soils at the planting sites.	
		植林の目的、植林地の気候、地質、土壌などを考慮した、植林のための樹種や遺伝子型の選択の明快な理由がある。	
	RA	土地、気候条件にあった樹種が植林されている。 Species which are suitable for the land and the climate is planted.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.4.2		Where an exotic species has been selected this choice must be explicitly justified. The best alternative native species must have been identified, and reasons be given for its rejection.	
		外来種が選ばれる場合、その選択には明快な理由が必要である。その代わりになりうる最適な在来種を特定し、その種が却下される理由を挙げなければならない。	
	RA	外来種の植林はない。 No use of exotic tree species.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.4.3		Before any exotic species is planted an assessment must have been carried out as to the risk that it will become invasive in the surrounding area. Invasive exotics are not planted.	
		いかなる外来種が植林される前にも、その種が周辺地域へ侵略する危険性を評価しなければならない。侵略的な外来種は植林されていない。	
	RA	外来種の植林はない。 No use of exotic tree species.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.5		A proportion of the overall forest management area, appropriate to the scale of the plantation and to be determined in regional standards, shall be managed so as to restore the site to a natural forest cover.	4.5
		森林管理区域全体のバランスは、植林の規模に対して適切であるとともに地域の基準により決められるが、その区域が自然状態での森林被覆へと復元されるように管理されなければならない。	
10.5.1		Consistent with Criterion 6.2b, at least 10% of the area of the plantation must be managed to enhance its natural characteristics and with biodiversity as a major objective.	

		規準 6. 2 b のとおり、植林地の少なくとも 10% 以上は、その自然の特徴を促進するよう管理され、生物多様性を主な目的にしなくてはならない。	
	RA	10%以上が確保されている。6.2b参照。 More than 10% is secured. See 6.2b.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.5.2		Consistent with Criterion 6.2b, at least 5% of the area of the plantation must be managed to restore the area ultimately to a natural forest cover.	
		規準 6. 2 b のとおり、植林地の少なくとも 5% 以上は、究極的に自然林の林相に回復するよう管理されなくてはならない。	
	RA	5%以上が確保されている。6.2b参照。 More than 5% is secured. See 6.2b.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.6		Measures shall be taken to maintain or improve soil structure, fertility, and biological activity. The techniques and rate of harvesting, road and trail construction and maintenance, and the choice of species shall not result in long term soil degradation or adverse impacts on water quality, quantity or substantial deviation from stream course drainage patterns.	4
		土壌状態、土壌産出力そして生物学的活動を維持あるいは高めるための手段が講じられなければならない。伐採の技術やその割合、林道の建設と維持管理、そして樹種の選択により、長期的な土壌の劣化、水・水量への悪影響あるいは流路の大幅な逸脱がもたらされてはならない。	

10.6.1		Means to protect soils are explicitly detailed in management plans or supporting documents	
		土壌の保全方法が管理計画または関連書類において明確に詳述されている。	
	RA	仕様書で求めている。 現地でも問題は見られなかった。 Required in specifications. There was no problem on site.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.6.2		Plans and procedures for reforestation after harvesting are designed to minimise exposure of bare soil, and to ensure that trees are re-established as rapidly as possible.	
		収穫後の森林更新の計画と手順は、裸出土壌を最小限に抑え、樹木が可能な限り早く再生するようにしなくてはならない。	
	RA	収穫後は速やかに植林を行っている。 Regeneration is conducted promptly after harvesting.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.6.3		There is no evidence of site degradation in the field.	
		現地において土地が劣化している証拠はない。	
	RA	ない。 None	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.7		Measures shall be taken to prevent and minimise outbreaks of pests, diseases, fire and invasive plant introductions. Integrated pest management shall form an essential part of the management plan, with primary reliance on prevention and biological control methods rather than chemical pesticides and fertilisers. Plantation management should make every effort to move away from chemical pesticides and fertilisers, including their use in nurseries. The use of chemicals is also covered in Criteria 6.6 and 6.7.	4
------	--	---	---

		病虫害の発生、火災、あるいは植物の移入を防ぐための手段が講じられなければならない。統合的な病虫害管理が管理計画の基礎部分を形作るものであるが、化学的薬物や化学肥料の使用よりも、まずは予防を行い生物的防除手段を用いなければならない。苗畑も含め、植林管理では、科学的薬物や化学肥料の使用を極力避けなければならない。化学物質の使用については、規準6.6と6.7でも触れられている。	
10.7.1		There is a documented integrated pest management strategy. (see 6.6a, b and c for further norms related to chemical use)	
		統合害虫管理戦略の文書がある。（さらなる化学薬品使用に関する規準について6.6 a, b, cを参照）	
	RA	「県有林施業における農薬使用要領」を定めている。6.6参照。 'Procedure on use of agricultural chemicals in the prefectural forest' is made. See 6.6.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.7.2		The need for fire management and control has been evaluated and is documented (see 7.1f).	
		火災管理と消火の必要性は適切に評価され文書化される（7.1 f 参照）。	
	RA	山梨県地域防災計画で森林火災の予防計画を立てている。7.1f参照。 Forest fire prevention plan is made in the Yamanashi prefecture's regional disaster prevention plan. See 7.1f.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.7.3		Measures are taken to control or eradicate exotic invasive plants.	
		外来の侵略的な植物を管理し根絶するための方法が取られている。	
	RA	林道法面に外来牧草が必要最低限使用されており、使用後のモニタリングを行っている。6.9参照。 Exotic grass is used on forest road slopes at minimum level, and monitored after used. See 6.9.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.7.4		There is a strategy to minimise use of chemical pesticides and fertilisers in plantations and nurseries.	
		植林地および苗畑において化学殺虫剤および化学肥料の使用を最小限にする戦略がある。	
	RA	肥料は使用していない。 Fertiliser is not used.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.8		Appropriate to the scale and diversity of the operation, monitoring of plantations shall include regular assessment of potential on-site and off-site ecological and social impacts, (e.g. natural regeneration, effects on water resources and soil fertility, and impacts on local welfare and social well-being), in addition to those elements addressed in principles 8, 6 and 4. No species should be planted on a large scale until local trials and/or experience have shown that they are ecologically well-adapted to the site, are not invasive, and do not have significant negative ecological impacts on other ecosystems. Special attention will be paid to social issues of land acquisition for plantations, especially the protection of local rights of ownership, use or access.	4
		施業の規模と多様性により、植林についてのモニタリングには、規準8.6と4で扱われている内容に加え、現場内外における潜在的な生態学的社会的影響（例えば、天然更新、水資源と土壌生産力への影響、地域生活と社会福祉への影響など）についての定期的な評価が含まれなければならない。どのような樹種であっても、その樹種が、その地域に生態学的に適合し、ほかを侵略するものでなく、他の生態系に深刻な悪影響を及ぼさないものであるという、地域的試験や実勢が示されない限り、大規模な植林を行ってはならない。植林のための土地取引に関する社会的問題、特に土地の所有、利用、アクセスに関する地域住民の権利の保護については、特別の注意を払わなければならない。	
10.8.1		There is no large scale planting of species that have not been shown to be appropriate to the site on the basis of local trials or experience.	

		地元の試みや経験から、その場所にふさわしくない樹種の大規模な植林は行われていない。	
	RA	行われていない。 Not conducted	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.8.2		Plantations are not established on sites of important or sensitive ecosystems; areas of high or unique biological diversity; planned conservation or protection areas or where there are possible adverse effects on an important water catchment area.	
		重要または繊細な生態系を有する地区、生物多様性が高いまたは特殊である地区、保全または保護地区、重要な集水域に悪影響を及ぼす地区で植林は行わない。	
	RA	重要な地域は保護されている。 Important area is protected.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.8.3		All new plantations or new plantings greater than 5 000 ha are subject to a formal environmental and social impact assessment. (See Criterion 4.4 for related norms)	
		5,000ha以上の全ての新しい植林や植え付けは、正式な環境的社会的影響評価の対象になっている。（関連規準について規準4.4参照）	
	RA	5,000ha以上の新規の植林は行わない。 No new plantation over 5,000ha is conducted.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

10.9		Plantations established in areas converted from natural forests after November 1994 normally shall not qualify for certification. Certification may be allowed in circumstances where sufficient evidence is submitted to the certification body that the manager/owner is not responsible directly or indirectly for such conversion.	4
		1994年11月以降に自然林から転換された植林は、通常、認証の対象とはならない。植林への転換に関し、森林の管理者／所有者に直接あるいは間接的責任が無いという十分な証拠が認証機関に提出される場合は、認証の対象となることがある。	
10.9.1		The plantation is not established on land converted from natural forest after November 1st 1994 (but see 6.10 and 10.9), unless there is clear evidence that the current owner(s) and manager(s) were not directly or indirectly responsible for the conversion.	
		1994年11月1日以降、自然林地から転換された土地における植林は行っていないこと（但し、6.10と10.9参照）。但し、現在の所有者や管理者が直接的・間接的にもその転換に責任がないという明確な証拠がある場合はこの限りではない。	
	RA	行っていない。 Not conducted.	✓
	S1		
	S2		
	S3		
	S4		

付属文書2 利害関係者への聞き取りの結果

氏名	組織	連絡方法	連絡日時	第1回年次 監査	第2回年次 監査	第3回年次 監査	第4回年次 監査
天野 立実	大月市森林組合	手紙	2012/8/28				
有泉 義雄	山梨県恩賜林保護組合連合会	手紙	2012/8/28				
飯島 一省	飯島製材所	手紙	2012/8/28				
今福 正胤	有限会社今福林業	手紙	2012/8/28				
金子 景一	山梨県森林インストラクター会	手紙	2012/8/28				
小沢 茂	北杜市須玉町増富財産区	手紙	2012/8/28				
小俣 滋	大月市役所産業観光課	手紙	2012/8/28				
望月 隆	財団法人山梨県林業公社	手紙	2012/8/28				
加藤 志穂子	環境省自然環境局富士五湖自然保護官事務所	手紙	2012/8/28				
深谷 孝司	山梨県緑化推進機構	手紙	2012/8/28				
川上 寛	山梨県木材協同組合連合会	手紙	2012/8/28				
川端 道雄	富士河口湖町公認ネイチャーガイド協議会	手紙	2012/8/28				
木村 靖郎	山梨県森林組合連合会	手紙	2012/8/28				
久根口 潔	大月地区恩賜県有財産保護団体連合会	手紙	2012/8/28				
輿水 英文	有限会社輿水造林	手紙	2012/8/28				
ご担当者	環境省自然環境局生物多様性センター	手紙	2012/8/28				
小林 東	株式会社小林林業土木	手紙	2012/8/28				
小林 忠次	有限会社小林製材所	手紙	2012/8/28				
天野 昌明	峡東森林組合	手紙	2012/8/28				
篠原 滋美	河口湖フィールドセンター	手紙	2012/8/28				
清水 博	上野原市経済課	手紙	2012/8/28				
杉本 貴美雄	都留市役所産業観光課	手紙	2012/8/28				
杉山 弘樹	湯澤工業株式会社	手紙	2012/8/28				
寺沢 恵治	社団法人治山林道協会	手紙	2012/8/28				
中嶋 克司	西小尾林業企業組合	手紙	2012/8/28				
中原 功	甲斐東部材製材協同組合	手紙	2012/8/28				
中村 司	山梨県自然保護教育振興会	手紙	2012/8/28				
平野 達也	ホールアース自然学校	手紙	2012/8/28				
深沢 倭	株式会社フカサワ	手紙	2012/8/28				
藤原 忠直	みずがき山自然公園	手紙	2012/8/28				
藤原 政輝	有限会社藤原林業	手紙	2012/8/28				
藤原 祐示	山梨市役所農林課(牧丘庁舎)	手紙	2012/8/28				
古屋 茂富	北奥仙丈外二恩賜県有財産保護組合	手紙	2012/8/28				
重森 正	西桂町企業振興課	手紙	2012/8/28				
牧村 隆幸	財団法人山梨県森林土木コンサルタント	手紙	2012/8/28				
三浦 勝一	鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合	手紙	2012/8/28				
三浦 信久	富士河口湖町農林課	手紙	2012/8/28				
水越 彦蔵	南都留森林組合	手紙	2012/8/28				
三井 正彦	山梨県森林整備生産事業協同組合	手紙	2012/8/28				
宮崎 淳	緑資源機構 甲府水源林整備事務所	手紙	2012/8/28				
望月 忠重	有限会社望月造林	手紙	2012/8/28				
望月 肇	望月林業有限会社	手紙	2012/8/28				
許山敏	山梨県森林組合連合会	手紙	2012/8/28				
矢川 満	南部町森林組合	手紙	2012/8/28				
山崎 茂	山中湖村産業振興課	手紙	2012/8/28				
藤原 優男	増富特産品出荷組合	手紙	2012/8/28				
山田 元次	富士吉田市農林課	手紙	2012/8/28				
山本 俊郎	山梨県山林種苗緑化木協同組合	手紙	2012/8/28				
梶原 拓也	鳴沢村振興課	手紙	2012/8/28				
古屋 茂富	富士吉田市外2村恩賜県有財産保護組合	手紙	2012/8/28				
渡辺 美男	富士北麓森林組合	手紙	2012/8/28				

付属文書3 樹種のリスト

樹種名

学名

針葉樹

カラマツ

Larix kaempferi

ヒノキ

Chamaecyparis obtusa

アカマツ

Pinus densiflora

シラベ

Abies veitchii

スギ

Cryptomeria japonica

モミ

Abies firma

ウラジロモミ

Abies homolepis

イチョウ

Ginkgo biloba

オオシラビソ

Abies mariesii

ツガ

Tsuga sieboldii

コメツガ

Tsuga diversifolia

ハリモミ

Picea polita

広葉樹

ケヤキ

Zelkova serrata

キリ

Paulownia tomentosa

ヤマザクラ

Prunus jamasakura

クリ

Castanea crenata

クヌギ

Quercus acutissima

コナラ

Quercus serrata

ミズナラ

Quercus mongolica

シラカシ

Quercus myrsinaefolia

ブナ

Fagus crenata

付属文書4 ワシントン条約付属書記載樹種リスト

該当樹種なし

付属文書5 ウッドマークにより保管される追加情報

認証登録証のコピー及び関連日程

機密商用情報

利害関係者のリスト及びウッドマークに寄せられた意見

森林資源を示した地図

管理計画のコピー